

8つのアート 1つのハート

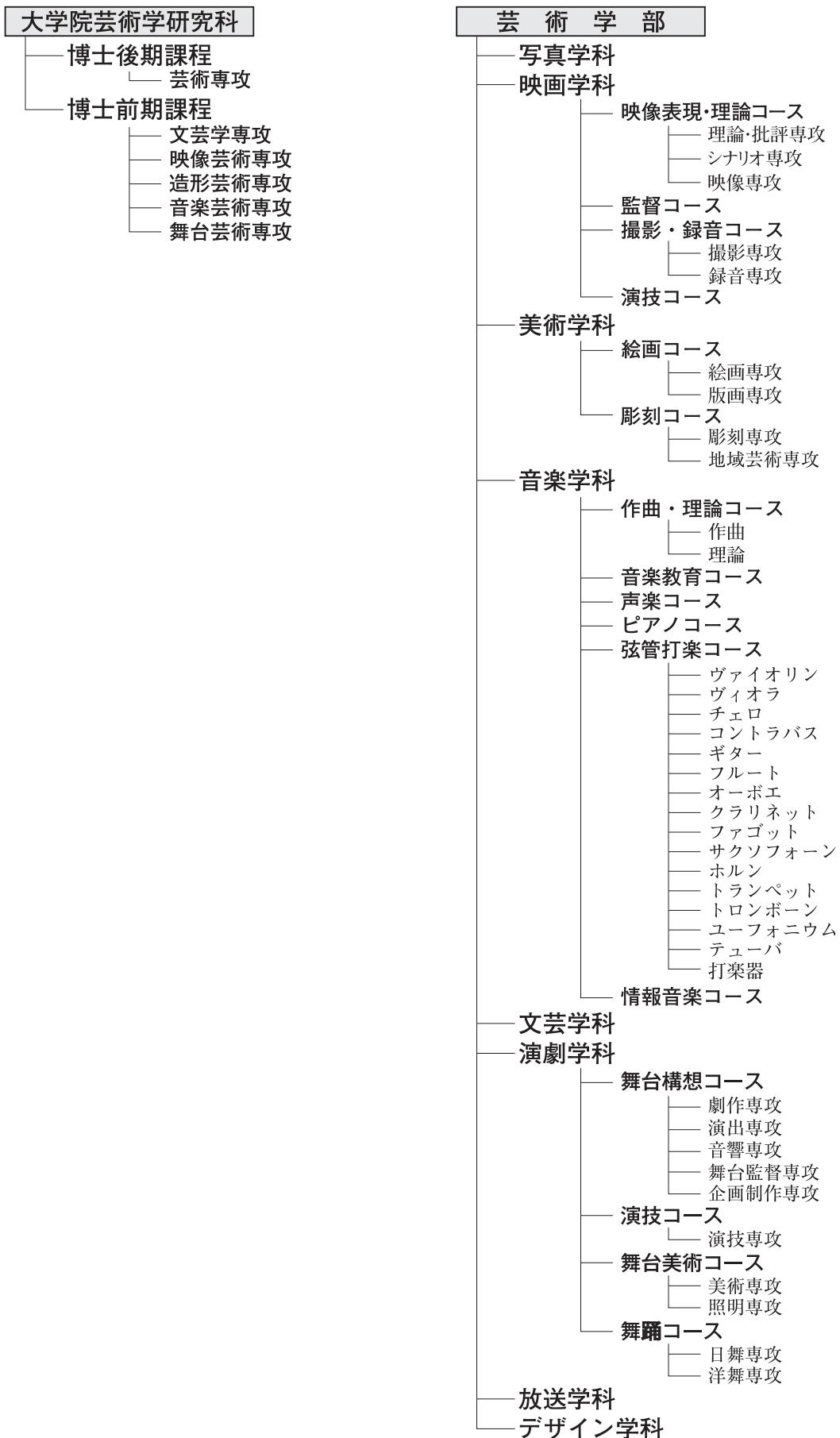
日本大学藝術学部



2021年度 受験用 入試案内



日本大学芸術学部教育体系





日本大学芸術学部 2021年度受験用入試案内

CONTENTS

一般選抜

総合型選抜

学校推薦型選抜

各種選抜等

学実部Q&A

学部概要

掲載内容について

2020年4月現在の情報を掲載しています。
今後、内容に変更等が発生した場合には、
本学部ホームページにてお知らせします。

入学者選抜等に関するお問い合わせは…

- ・入学者選抜に関する質問
- ・学部資料請求
- ・キャンパス見学（69ページ参照）

等については、入試係までお願いします。
また、入学者選抜情報等については、ホームページでもご覧いただけます。

日本大学芸術学部 入試係

03-5995-8282

〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1

（事務取扱時間）

月曜日～金曜日

9:00～17:00

土曜日

9:00～12:00

日本大学芸術学部ホームページ
<http://www.art.nihon-u.ac.jp/>



日本大学ホームページ
<http://www.nihon-u.ac.jp/>



日本大学芸術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）— 2

一般選抜

2021年度	一般選抜について	4
2021年度	一般選抜A個別方式（第1期）概要	5
2021年度	一般選抜A個別方式（第1期）専門試験実施内容	8
2020年度	一般入学試験 A方式（第1期）結果	9
2020年度	一般入学試験 A方式（第1期）小論文・作文課題一覧	10
2020年度	一般入学試験 A方式（第1期）実技科目（課題）一覧	11
2021年度	一般選抜A個別方式（第2期）概要	14
2021年度	一般選抜A個別方式（第2期）専門試験 実施内容	16
2020年度	一般入学試験 A方式（第2期）結果	17
2020年度	一般入学試験 A方式（第2期）小論文・作文課題一覧	18
2020年度	一般入学試験 A方式（第2期）実技科目（課題）一覧	19
2021年度	一般選抜N全学統一方式（第1期）概要	21
2020年度	一般入学試験 N方式（第1期）結果	22

総合型選抜

2021年度	総合型選抜について	23
2021年度	総合型選抜概要	24
2020年度	日藝オーディション（AO入学試験）結果	28
2020年度	日藝オーディション（AO入学試験）科目（課題）一覧	29

学校推薦型選抜（公募制）

2021年度	学校推薦型選抜（公募制）について	35
2021年度	学校推薦型選抜（公募制）概要	36
2020年度	一般推薦（公募制）入学試験結果	39
2020年度	一般推薦（公募制）入学試験小論文・作文課題一覧	40
2020年度	一般推薦（公募制）入学試験実技科目（課題）一覧	41

2021年度 その他の入学者選抜

外国人留学生・帰国生選抜、校友子女選抜	43
編入学・転部試験／2020年度 編入学・転部試験結果	44

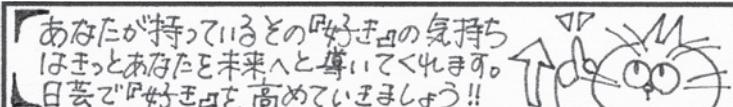
2021年度 音楽学科実技課題曲案内

学部Q & A

学部概要

授業等について	58
入学金・授業料等納入金について [昨年度参考]	59
2020年度 授業科目一覧	60
卒業制作等、学生の作品発表を見るには…	66
入学後のキャリア形成について ~卒業後の「職」を考える~	68
校舎案内／キャンパス見学について	69
外部進学相談会について	70

表紙デザイン 横山菜奈さん（デザイン学科4年生）のコメント



日本大学芸術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

日本大学芸術学部では、本学の教育理念である「自主創造」のもと、自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく能力を持つ人材を育成します。そのため、8つの芸術分野それぞれを強く志す人、創造性が豊かでコミュニケーション能力に富み、芸術全般にわたり強い関心を持つ人、自らが芸術家、クリエイターになることを真剣に考えている人を求めます。

選抜方法として、学部実施の入学者選抜においては、各学科の特性に基づき、小論文、作文や実技等による専門試験及び面接試験を実施して、受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査するよう心掛けています。

以上を踏まえた、各学科における受入れ方針は以下のとおりです。

写真学科では、写真における芸術表現を中心に学習を行うため、写真の歴史や理論を学び、写真表現の技法について考え、報道、広告、ポートレート、芸術等の多様な分野に対応し、それぞれの専門とする写真表現を創造できる人材を求めます。

映画学科では、映画・映像における芸術表現を中心に学習を行うため、映画・映像の歴史や理論を学び、映画・映像表現の技法について考え、それぞれの専門とする映画・映像表現を創造できる人材を求めます。

美術学科では、美術における芸術表現を中心に学習を行うため、美術の歴史や理論を学び、美術表現の技法や活動の在り方について考え、それぞれの専門とする美術表現を創造できる人材を求めます。

音楽学科では、西洋音楽を中心に学習を行うため、音楽の歴史や理論及び技法を学び、音楽表現について考え、それぞれの専門とする音楽表現を創造できる人材を求めます。

文芸学科では、創作、研究、ジャーナリズムにわたる多様な表現活動の学習を行うため、文芸の歴史や理論を基礎教養として学び、文芸史の意義や現代文学の表現方法について考え、次世代を担う文芸表現を創造できる人材を求めます。

演劇学科では、グローバルな視野から、劇場芸術及びそれに関連する実践について学習を行うため、演劇と舞踊の理論や歴史を現代社会とのつながりの中で学び、その技法についても考え、各自の専門とする領域を研究、創造できる人材を求めます。

放送学科では、情報時代の中心的役割を果たす「放送」を深く認識させる学習を行うため、放送に関する歴史や理論を学び、映像や音響、CMの表現について考え、放送を担うにふさわしい自由で豊かな表現を創造できる人材を求めます。

デザイン学科では、デザインにおける思考及び表現を中心に学習を行うため、デザインの歴史や理論を学び、デザイン手法について考え、それぞれの専門とする分野で新たなデザイン表現を創造できる人材を求めます。

日本大学芸術学部では、上記の学部及び学科における入学者受入れ方針に基づき、入学者選抜においては、試験区分により以下のとおり審査し、評価します。

1 一般選抜（全学科共通）

一般選抜では、A個別方式及びN全学統一方式においては、学力検査により大学生としての基礎学力到達度を審査します。また、A個別方式においては、学力検査とともに各学科の特性に基づいた専門試験及び面接試験等を実施して、受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査し、評価します。

2 そのほかの入学者選抜

本学部では、一般選抜のほかにも、出願資格の異なる多様な入学者選抜を実施しますが、なかでも総合型選抜は、学科ごとに求める学生像を示し、特色ある人材を受入れるよう心掛けています。試験科目については、原則として各入学者選抜共通のものですが、総合型選抜については、学科によりほかの入学者選抜とは異なる選考方法で審査、評価しています。

①写真学科

小論文・作文試験では発想力、論理性、鑑賞力及び考察力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では写真への情熱、写真を学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては実技試験、プレゼンテーション、小論文試験を実施します。実技試験では観察力、発想力及び対応力を、プレゼンテーションでは自己表現力、伝達能力を、小論文試験では論理性、鑑賞力及び考察力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では写真への情熱、写真を学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

②映画学科

小論文試験または実技試験（演技コースのみ）を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を、実技試験では資質、技術及び表現力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では映画を学ぶ意欲、適性

及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、小論文試験及び面接試験に加え、実技試験、記述試験、ディベートなどのコース別試験を実施して、各コースに応じた能力を審査し、その創造性を評価します。

③美術学科

実技試験・小論文試験ではこれまでの美術経験、表現力及び発想力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では美術学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、実技試験または小論文試験及び面接試験を実施して、各コース・専攻に応じた能力や適性を審査し、その創造性を評価します。

④音楽学科

実技試験ではこれまでの音楽経験及び表現力を、またコースにより併せて実施する音楽に関する小論文試験では論理性及び発想力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では音楽学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

⑤芸術学科

想像力と思考力を必要とする出題方法で小論文・作文試験を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を、作文試験では語彙力及び表現力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では志望動機及び適性を審査し、評価します。

⑥演劇学科

コースごとに実技試験と面接試験を実施します。実技試験ではこれまでに培ってきた技術や経験のみならず、表現力と伝達力を、また、面接試験では劇場芸術を学ぶ意欲、適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、他の入学者選抜で実施する実技試験・面接試験に加えて、作文試験を実施します。作文試験では課題に対する着眼点と表現力を審査し、その創造性を評価します。

⑦放送学科

作文試験では与えられた課題に対する着眼点、構成力及び表現力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では放送分野を学ぶ上での意欲、適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、実技試験、小論文・作文試験及び面接試験を実施します。実技試験では将来アナウンサー及び放送分野で活躍できる者となる適性を、小論文試験では主として時事問題についての自分の考え方をそれぞれ審査します。また、面接試験では将来アナウンサー及び放送分野で活躍できる者となる上で求められる適性、人間性及び将来性を審査し、評価します。

⑧デザイン学科

実技試験では観察力、表現力及び発想力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験ではデザイン学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、小論文試験、実技試験、プレゼンテーション及び面接試験を実施します。小論文試験では論理性及び思考力を、実技試験では観察力、表現力及び発想力を、プレゼンテーションでは自己表現力及び伝達力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験ではデザインへの情熱、デザインを学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

以上



2021年度 一般選抜について

2月・3月で3回入学者選抜を実施します！

芸術学部独自に実施する2回の入学者選抜（A個別方式）と日本大学の統一入学者選抜（N全学統一方式）があり、一般選抜は、2月にN全学統一方式（第1期）とA個別方式（第1期）、3月にA個別方式（第2期）と、3回実施します。



A個別方式(第1期・第2期)とN全学統一方式(第1期)の違いについて

比較項目	A個別方式(第1期・第2期)	N全学統一方式(第1期)
方 式	芸術学部が独自に実施する試験です。 学科により試験期日が設定されます。	日本大学が同一試験日に実施する試験です。 ※実施学科(コース)については、21ページ参照
試験会場	芸術学部校舎で実施します。	全国各地の会場で実施します。
併 願	第1期は、受験学科により併願が可能です(5ページ参照)。 第2期は、全学科同一日程のため併願できません。	日本大学の複数学部(学科)や、本学部内の複数学科の併願が可能です。
試験科目	学力検査(外国語・国語)及び各学科の専門試験(学科・コースにより科目は異なります)を実施します。	学科指定の試験科目(学力検査)のみ実施します。 各学科の専門試験は実施しません。

一般選抜の流れ

【一般選抜募集要項の入手】

2020年10月頃に日本大学ホームページ上で公開する予定です。

【出願】

2021年1月5日(火)より、日本大学入試センターで郵送受付を開始します(試験により出願締切日は異なります)。

【一般選抜 N全学統一方式(第1期)】

2021年2月1日(月)

全学科で実施

ただし、音楽学科は作曲・理論、弦管打楽、情報音楽コースのみ、演劇学科は舞台構想コースのみ実施

【一般選抜 A個別方式(第1期)】

第1週：2021年2月9日(火)・10日(水)

写真、美術(2月9日・10日試験)、音楽、演劇、放送の5学科

第2週：2021年2月16日(火)・17日(水)

映画、美術(2月16日・17日試験)、文芸、デザインの4学科

【一般選抜 A個別方式(第2期)】

2021年3月9日(火)・10日(水)

全学科で実施

【合格発表】

N全学統一方式(第1期)・
A個別方式(第1期 [第1週])
2021年2月19日(金)

【合格発表】

A個別方式(第1期 [第2週])
2021年2月26日(金)

【合格発表】

A個別方式(第2期)
2021年3月19日(金)

2021年度 一般選抜 A個別方式(第1期)概要

(期日はすべて2021年となります)

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
【第1週】 [写真, 美術(2月9日・10日試験), 音楽, 演劇, 放送]	1月5日(火)～1月30日(土)
【第2週】 [映画, 美術(2月16日・17日試験), 文芸, デザイン]	1月5日(火)～2月6日(土)

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください。

※ 出願方法, 提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください。

《併願について》

上の表のように、第1週・第2週と、2ブロックに分けて実施、別のブロックであれば併願も可能です。ただし、同一ブロック（同じ週に試験が実施される学科・コース）内での併願はできません。

- 併願が可能な例：演劇学科と映画学科, 放送学科と文芸学科, 美術学科の「2月9日・10日試験」と「2月16日・17日試験」等（ブロックが別で試験を実施する場合）
- ✗ 併願ができない例：写真学科と放送学科, 映画学科と文芸学科等（同じブロックで試験を実施する場合）

2 試験期日及び試験科目

1 試験会場

すべて芸術学部校舎で実施します。

2 学力検査及び専門試験

①学力検査科目は、外国語（英語）及び国語の2科目で、いずれの科目も全問マークシート方式です。

教 科	科 目	時 間	配 点
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」	60 分	100 点
国 語	「国語総合」(漢文を除く)	60 分	100 点

②専門試験

学力検査当日の午後から引き続き専門試験を実施します。

試験科目は、小論文、作文、実技、面接等で、学科・コースにより実施内容は異なります。実施科目の詳細については、6ページの「3 学科(コース)別試験科目一覧」を参照してください。

3 学科（コース）別試験科目一覧

【第1週】写真、美術（2月9日・10日試験）、音楽、演劇、放送学科

学科	募集人員	コース	学力検査			試験期日	専門試験					総合点
			試験期日	外国語	国語		小論文	作文	実技	面接	配点	
写真	30	—					●			●	200点	
美術 (2月9日・10日 試験)	10	絵画				2月9日 (火)		● ※	●	300点	※レポートを含む	500点
		彫刻					● ※	● ※	●	300点	※彫刻専攻は実技（レポートを含む）、地域芸術専攻は小論文	500点
音楽	33	作曲・ 理論				2月9・10日 (火・水)	●	●	●	300点	※小論文は理論のみ	500点
		音楽 教育					●	●	●	300点		500点
		声楽						●	●	300点		500点
		ピアノ						●	●	300点		500点
		弦管 打楽						●	●	300点		500点
		情報 音楽						●	●	300点		500点
		舞台 構想						●	●	200点		400点
演劇	43	演技				2月9・10日 (火・水)		●	●	200点		400点
		舞台 美術						●	●	200点		400点
		舞踊						●	●	200点	実技は日舞・洋舞のいづれかを選択	400点
		放送						●	●	200点		400点

【第2週】映画、美術（2月16日・17日試験）、文芸、デザイン学科

学科	募集人員	コース	学力検査			試験期日	専門試験					総合点
			試験期日	外国語	国語		小論文	作文	実技	面接	配点	
映画	62	映像表現 ・理論				2月16日 (火)	●			●	150点	
		監督					●			●	150点	
		撮影・ 録音					●			●	150点	
		演技						●	●	●	150点	
美術 (2月16日・17日 試験)	10	絵画				2月16・17日 (火・水)		● ※	●	●	300点	※レポートを含む
		彫刻					● ※	● ※	●	●	300点	※彫刻専攻は実技、地域芸術専攻は小論文
文芸	35	—					●			●	100点	小論文または作文と面接
デザイン	20	—							●	●	300点	実技は科目を選択

美術学科の試験について

第1週に「2月9日・10日試験」、第2週に「2月16日・17日試験」として実施し、「2月9日・10日試験」と「2月16日・17日試験」は、併願が可能です。

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査及び専門試験の総合得点により合格判定を行いますが、学力検査の合計得点が200点満点中60点未満の場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格となります。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

「インターネットによる合否案内」を実施します。

各期日については、下表を参照してください。

入学手続については、所定の手続を行うことにより、3月18日（木）まで入学手続を延期することができます（二段階手続方式）。

なお、本試験については、追加合格を出す場合があります。

学 科	合格発表期日	入学手続期限
写真、美術（2月9日・10日試験）、音楽、演劇、放送	2月19日（金）13時	3月5日（金）
映画、美術（2月16日・17日試験）、文芸、デザイン	2月26日（金）13時	3月12日（金）

2021年度 一般選抜A個別方式(第1期) 専門試験実施内容

学科	科目
写 真	①小論文 (60分・600字) ②面 接
映 画	①小論文あるいは実技 映像表現・理論、監督、撮影・録音コース：小論文（80分・800字程度） 演技コース：実技（基礎的な音声及び身体表現） ※服装については、動きやすい普段着とします ②面 接
美 術 <small>2月9日・10日試験、 2月16日・17日試験 共通</small>	①小論文あるいは実技及び実技に関するレポート 絵画コース：絵画 - (1)実技（油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、人物を描く [5時間30分]） (2)実技に関するレポート [30分・400字以内] ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンバス(F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル等は大学で用意します 版画 - (1)実技（デッサン・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く [5時間30分]） (2)実技に関するレポート [30分・400字以内] ※鉛筆、木炭、消しゴム等を持参してください ※画用紙、木炭紙、カルトン、イーゼル等は大学で用意します 彫刻コース：彫刻 - (1)実技（デッサン・鉛筆、木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く [5時間30分]） (2)実技に関するレポート [30分・400字以内] ※鉛筆、木炭、消しゴム等を持参してください ※画用紙、木炭紙、カルトン、イーゼル等は大学で用意します 地域芸術 - 小論文 (60分・800字以内) ②面 接 ※両コースとも、出願後すみやかに、受験する専攻を選択してください（詳細は『一般選抜募集要項』で指示します）
音 楽	①実技（一部のコースで小論文も実施） 作曲・理論コース：作曲 - (1)作曲 (2)和声または楽典 (3)ピアノ 理論 - (1)小論文 (80分・1,000字程度) (2)楽典 (3)演奏 音楽教育コース：(1)小論文 (60分・800字程度) (2)楽典 (3)ピアノ (4)声楽 声楽コース：(1)声楽（声楽曲及びコールユーブンゲン） (2)楽典 (3)ピアノ ピアノコース：(1)ピアノ (2)楽典 弦管打楽コース：(1)それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 (2)楽典 (3)ピアノ 情報音楽コース：プレゼンテーション（演奏及び演奏解説） ②面 接 ※課題曲等の詳細については、45~49ページの『2021年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください（詳細は『一般選抜募集要項』で指示します）
文 芸	①小論文または作文 (60分・800字以内) ②面 接
演 劇	①作文あるいは実技 舞台構想コース：作文 (60分・600字) 演技コース：実技（演技、音感・リズム感） ※体操着及び上履きを持参してください 舞台美術コース：実技（プレゼンテーション） ※舞台美術コース志願者は、入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります 舞踊コース：日舞 - 実技（各自所属流派修得の任意の曲目を踊る） ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください 洋舞 - 実技（リズム運動、舞踊の身体運動及びイメージ表現） ※稽古着（タイツ、レオタード、シューズ）を持参してください ※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する専攻の試験内容（日舞または洋舞）を演劇学科へ郵送してください（詳細は『一般選抜募集要項』で指示します） ②面 接
放 送	①作文 (時間・字数は当日指定) ②面 接
デザイン	①実技 鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択 ※実技試験科目は事前の選択が必要です（受験票備考欄の記載に従って入力していただきます。詳細は『一般選抜募集要項』で指示します） ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム（練ゴム）、カッターナイフ等を持参してください（デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可） ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ②面 接

持参作品等

演劇学科舞台美術コース志願者及びデザイン学科志願者は、面接試験の参考資料とするため、自作作品を専門試験日当日に持参してください（下表参照）。

学科	持参作品等
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）、あるいは石膏像デッサン及び水彩画等（いずれもA2サイズ）を専門試験当日持参すること
デザイン	作品5点。なお、映像作品については、タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品については、面接試験終了後に返却します

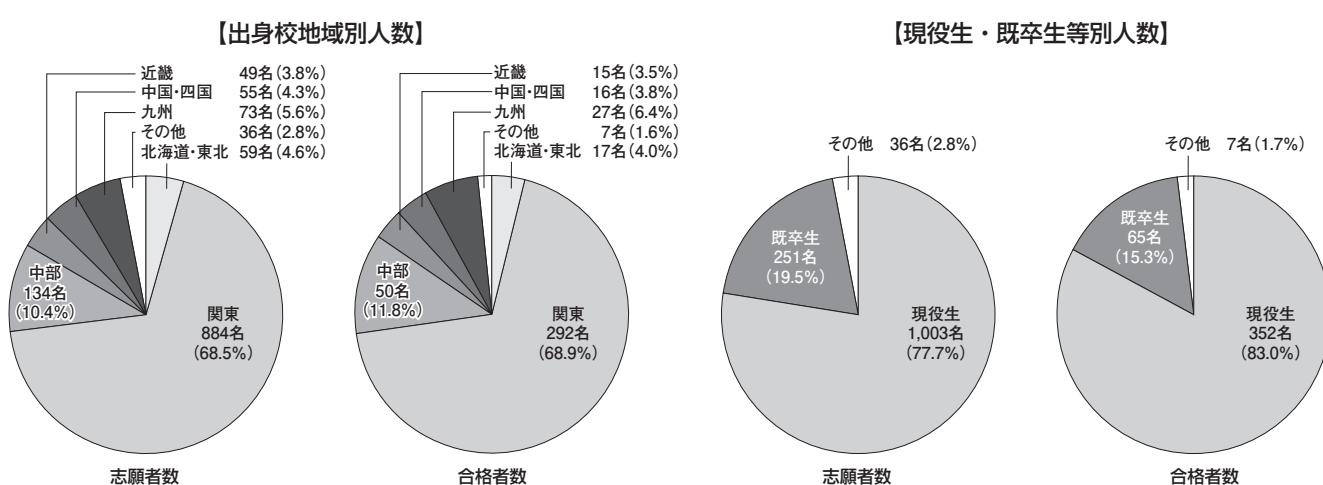
2020年度(昨年度) 一般入学試験 A方式(第1期) 結果

学科・コース	項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A)/(B)	2019年度 競争率	総点	合格者最低点	
								2020年度	2019年度
写真学科	30	82 (33)	77 (30)	41 (19)	1.9倍	1.4倍	400	284	254
映画学科	映像表現・理論コース 監督コース 撮影・録音コース 演技コース	62	119 (71)	111 (68)	35 (24)	3.2倍	2.6倍	350	233 237 203 270
			71 (21)	65 (19)	20 (7)	3.3倍	3.2倍		224 230 217 267
			44 (21)	41 (19)	25 (11)	1.6倍	2.4倍		
			63 (40)	55 (33)	4 (3)	13.8倍	12.2倍		
	計	62	297 (153)	272 (139)	84 (45)	—	—	—	—
美術学科	(2/4・5試験) 絵画コース (2/11・12試験) コース計	20*	29 (15)	27 (14)	10 (6)	2.7倍	1.8倍	500	326 326 — —
			32 (19)	29 (18)	13 (10)	2.2倍	2.1倍		346 373 — —
			61 (34)	56 (32)	23 (16)	2.4倍	—		
			6 (4)	5 (4)	5 (4)	1.0倍	5.0倍		298 302 — —
彫刻 (2/4・5試験) (2/11・12試験) コース計	コース計	15 (9)	9 (5)	9 (5)	6 (5)	1.5倍	1.4倍	500	326 298 — —
			15 (9)	14 (9)	11 (9)	1.3倍	—		
			20	76 (43)	70 (41)	34 (25)	—		—
			76 (43)	70 (41)	34 (25)	—	—		—
音楽学科	作曲・理論コース 音楽教育コース 声楽コース ピアノコース 弦管打楽コース 情報音楽コース	35	4 (3)	4 (3)	3 (3)	1.3倍	1.0倍	500	316 317 304 383 336 367
			9 (8)	9 (8)	7 (7)	1.3倍	1.1倍		376 340 317 332
			7 (7)	7 (7)	7 (7)	1.0倍	1.0倍		
			4 (4)	4 (4)	4 (4)	1.0倍	1.0倍		
			13 (8)	13 (8)	9 (5)	1.4倍	1.0倍		338
			58 (29)	55 (29)	15 (11)	3.7倍	2.5倍		366
	計	35	95 (59)	92 (59)	45 (37)	—	—	—	—
文芸学科	38	170 (92)	163 (88)	43 (27)	3.8倍	2.8倍	300	203	194
演劇学科	舞台構想コース 演技コース 舞台美術コース 舞踊コース	43	72 (56)	71 (55)	21 (20)	3.4倍	※	400	267 258 286 275
			106 (74)	103 (73)	17 (13)	6.1倍	9.8倍		258 258
			14 (12)	14 (12)	10 (8)	1.4倍	※		286
			21 (20)	21 (20)	8 (8)	2.6倍	※		275
	計	43	213 (162)	209 (160)	56 (49)	—	—	—	—
放送学科	59	249 (149)	243 (144)	77 (54)	3.2倍	3.3倍	300	200	198
デザイン学科	30	108 (55)	87 (52)	44 (29)	2.0倍	1.9倍	500	350	338
合 計	317	1,290 (746)	1,213 (713)	424 (285)	—	—	—	—	—

※美術学科の募集人員は、2/4・5試験：10名、2/11・12試験：10名

() 内は女子内数

※演劇学科演技コース以外のコースは、2020年度コース改変のため、2019年度競争率及び合格者最低点は掲載していません。



2020年度(昨年度) 一般入学試験 A方式(第1期) 小論文・作文課題一覧

学科・コース	時間	字数	課題
写 真	60分	600字	<p><小論文> これは写真家・高橋智史氏が2013年にカンボジアで撮影した作品です。この写真を見てあなたが読みとったこと、感じたこと、考えたことを述べなさい。 ※高橋智史「RESISTANCE カンボジア 届せざる人々の願い」秋田魁新報社、2018年、11ページ</p>
映 画 (演技を除く)	80分	800字以内	<p><小論文> 次の文章を読み、あなたの考えを述べなさい。 ※早川タダノリ「生き方縛る「団欒の食卓」」『朝日新聞』記事より抜粋、朝日新聞社、2019年9月25日</p>
美 術 (地域芸術) (2月4日・5日試験)	60分	800字以内	<p><小論文> 過疎化地域における芸術祭の可能性を述べなさい。</p>
美 術 (地域芸術) (2月11日・12日試験)	60分	800字以内	<p><小論文> 過疎化地域におけるアートの可能性について述べなさい。</p>
作曲・理論 (理論)	60分	800字程度	<p><小論文> 次の三つのテーマの中から一つを選び、800字程度の小論文を書きなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 音楽と私 2 私が好きな作曲家 3 理論コースで研究したいこと
音 楽	60分	800字程度	<p><小論文> 次のテーマから1つを選び、800字程度の小論文を書きなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 多様化する児童生徒に対して音楽教員が配慮すること 2 音楽教員になるために本学で学ぶべきことと自分の努力目標 3 音楽教員の志望動機
情報音楽	60分	800字程度	<p><小論文> 下記の題目から1題選択し、あなたの考えを800字程度で記述してください。記述の際には、そう考える理由や根拠も必ず述べてください。 解答用紙の題目欄には、論ずる内容を踏まえて、自由に題目をつけて記載してください。 例：「1.人工知能の限界について」、「2.世界で活躍する音楽家になるために」等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 昨年末のNHK紅白歌合戦でAIによる美空ひばりのステージが披露されたが、この「AI美空ひばり」と「VOCALOID初音ミク」の表現の違いについて、あなたの意見を記述してください。 2 大学で何を学び、10年後、どこでどんな仕事をしているか、あなたの展望を記述してください。
文 芸	60分	800字以内	<p><小論文または作文> 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「大切な人」が登場する作文を書いてください。 ②「常識」について自由に論じてください。
演 戯 (舞台構想)	60分	600字	<p><作文> これまでの学校生活で、最も他者を意識した出来事について書きなさい。</p>
放 送	60分	600字	<p><作文> 「桜」</p>

※上記は、昨年度試験内容であるため、2021年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2020年度(昨年度) 一般入学試験 A方式(第1期) 実技科目(課題) 一覧

学科・コース	科 目 ・ 課 題								
映 画 (演技)	<p>基礎的な音声及び身体表現</p> <p>発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号（　　）番、（氏名）です。出身は（都道府県名）で、学校は（学校名）高校を卒業する予定です。年齢は、（　　）歳です。</p> <p>発声2 次の文章を朗読してください。</p> <p style="text-align: right;">※朝日新聞「天声人語」より抜粋、朝日新聞社、2019年10月29日</p> <p>動 作 次の内容をしぐさのみで表現してください。</p> <p>〔設定〕 雨と風の強い朝。早足に登校してきて建物に入る。昇降口は生徒でごった返している。</p> <p>傘の雨を落とす。 ホッと一安心して、服などをハンカチで拭う。 上履きに履き替えようと、靴を脱ぐ。 靴下がびしょ濡れだ。気持ち悪いので脱いでしまう。 教室に行こうと一步踏み出した時、滑りそうになる。 必死にこらえて転ばずに済むが、カバンを離してしまう。 中身が散らばってしまった。 慌てて拾ってカバンに入れ、教室へ向かう。 (そのまま退場してください)</p>								
美 術 (2月4日・5日試験)	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>絵 画 (絵画)</p> <p>油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く。 (6時間) 『キャンバスはF15号、他の支持体は65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] 人物 (コスチューム) コスチューム: シャツ、パンツ、スリッポン 椅子 × 1 布を敷いたモデル台 × 1</p> </td> <td style="vertical-align: top; text-align: center;">  </td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>絵 画 (版画)</p> <p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 (6時間) 『画用紙または木炭紙 65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] クリスマスローズ × 1 りんご × 2 布 × 1</p> </td> <td style="vertical-align: top; text-align: center;">  </td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>彫 刻 (彫刻)</p> <p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く。 (6時間) 『画用紙または木炭紙 65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] 角椅子 × 48個</p> </td> <td style="vertical-align: top; text-align: center;">  </td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>絵 画 (絵画)</p> <p>油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く。 (6時間) 『キャンバスはF15号、他の支持体は65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] 人物 (コスチューム) コスチューム: シャツ、カーディガン、スカート、スリッポン 布を巻いた角椅子 × 1 布を敷いたモデル台 × 1</p> </td> <td style="vertical-align: top; text-align: center;">  </td> </tr> </table>	<p>絵 画 (絵画)</p> <p>油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く。 (6時間) 『キャンバスはF15号、他の支持体は65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] 人物 (コスチューム) コスチューム: シャツ、パンツ、スリッポン 椅子 × 1 布を敷いたモデル台 × 1</p>		<p>絵 画 (版画)</p> <p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 (6時間) 『画用紙または木炭紙 65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] クリスマスローズ × 1 りんご × 2 布 × 1</p>		<p>彫 刻 (彫刻)</p> <p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く。 (6時間) 『画用紙または木炭紙 65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] 角椅子 × 48個</p>		<p>絵 画 (絵画)</p> <p>油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く。 (6時間) 『キャンバスはF15号、他の支持体は65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] 人物 (コスチューム) コスチューム: シャツ、カーディガン、スカート、スリッポン 布を巻いた角椅子 × 1 布を敷いたモデル台 × 1</p>	
<p>絵 画 (絵画)</p> <p>油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く。 (6時間) 『キャンバスはF15号、他の支持体は65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] 人物 (コスチューム) コスチューム: シャツ、パンツ、スリッポン 椅子 × 1 布を敷いたモデル台 × 1</p>									
<p>絵 画 (版画)</p> <p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 (6時間) 『画用紙または木炭紙 65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] クリスマスローズ × 1 りんご × 2 布 × 1</p>									
<p>彫 刻 (彫刻)</p> <p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く。 (6時間) 『画用紙または木炭紙 65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] 角椅子 × 48個</p>									
<p>絵 画 (絵画)</p> <p>油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く。 (6時間) 『キャンバスはF15号、他の支持体は65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] 人物 (コスチューム) コスチューム: シャツ、カーディガン、スカート、スリッポン 布を巻いた角椅子 × 1 布を敷いたモデル台 × 1</p>									

学科・コース		科目・課題
美術 (2月11日・12日試験)	絵画 (版画)	<p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 (6時間) 『画用紙または木炭紙 65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] ポインセチア × 1 レモン × 1 布 × 1</p> 
	彫刻 (彫刻)	<p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く。 (6時間) 『画用紙または木炭紙 65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ] ブルーシート × 1</p> 
音楽	作曲・理論 (作曲)	①作曲 (100分) ②和声または楽典 (80分) ③ピアノ ④ソルフェージュ
	作曲・理論 (理論)	①楽典 (80分) ②ピアノ ③ソルフェージュ
	音楽教育	①楽典 (60分) ②ピアノ ③声楽 ④ソルフェージュ
	声楽	①声楽 ②楽典 (60分) ③ピアノ ④ソルフェージュ
	ピアノ	①ピアノ ②楽典 (60分) ③ソルフェージュ
	弦管打楽	①それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 ②楽典 (60分) ③ピアノ ④ソルフェージュ
	情報音楽	演奏またはソルフェージュ
演技	<p>演技 (音感・リズム感を含む)</p> <p>①演技 (1)台詞表現 (『俳優についての逆説』より抜粋) ※宮本研『俳優についての逆説』『宮本研戯曲集2』白水社, 1989年, 192ページ (2)エチュード 上記の台詞は、ディドロ『逆説、俳優について』をモチーフに書かれた戯曲です。ディドロが同書の中で述べた一節を踏まえ、あなた自身の演技に対する考えを自分の言葉で伝えてください。(1分間) ※青山昌文『美学・芸術学研究』放送大学教育振興会, 2013年, 268ページ</p> <p>②音感・リズム感 (1)ウォーキング 5分 (2)裏カウント取り 1人=8カウント (3)一人ずつ歌の試験</p>	
	<p>プレゼンテーション</p> <p>次の文章を発想の起点として、上演を想定した作品の舞台空間について自らのデザインをまとめ、指定の用紙にまとめなさい。</p> <p>作業時間は60分です。用紙の裏面も使用しても構いません。</p> <p>作業終了後に用紙は回収し、口頭発表時に返却します。(口頭発表5分)</p> <p>※アラン・エイクボーン『こちらがあたしのお父さん』『アラン・エイクボーン戯曲集』出戸一幸訳、新水社, 2001年, 7ページ</p>	
	舞台美術	各自所属流派修得の任意の曲目を踊る
演劇	<p>リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現</p> <p>①基本運動 (1)バレエ・テクニック (2)ジャズ・テクニック (3)モダンダンス・テクニック</p> <p>②イメージによる動き 題『○, △, □を体で表現する』 ◆動きのデザイン ◆内容と共に表現する</p>	
	舞踊 (洋舞)	

学科・コース	科 目 ・ 課 題						
デザイン	<p>鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択。</p> <p>①鉛筆によるデッサン（4時間）＜B3画用紙＞ 与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可。</p> <p>[モチーフ]</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>ジョウロ</td><td>× 1</td></tr> <tr><td>穴あけパンチ</td><td>× 1</td></tr> <tr><td>水張りテープ</td><td>× 1</td></tr> </table> <p>条件 (1)机の上に置いてあるジョウロ、水張りテープ、2穴パンチをすべて組み合わせること。水張りテープはそのままではなく形を変えること。 (2)台紙は描かなくともよい。 (3)用紙は横位置で使用すること。 (4)A3の上質紙はエスキース（下書き）用として使用してもしなくともどちらでも構わない。 *水張りテープの形を保持しにくい場合はネリゴム等で固定してください。</p> <p>②デザインプレゼンテーション（4時間）＜B3ケント紙+PMパッド1枚＞ 私たちの生活に関わる「食品ロス（食料廃棄）」に関する問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。 この「食品ロス」に対してデザインでどのような問題を解決できるのか具体的に提案してください。 もしくは、気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。 例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点を知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。</p> <p>条件 (1)用紙は2枚あります。PMパッド（薄い紙）1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由（持参した鉛筆、および配布された色鉛筆を使用すること） (3)用紙は横位置にて使用すること。 (4)用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。 (5)定規・コンパスは使用不可。</p> 	ジョウロ	× 1	穴あけパンチ	× 1	水張りテープ	× 1
ジョウロ	× 1						
穴あけパンチ	× 1						
水張りテープ	× 1						

※上記は、昨年度試験内容であるため、2021年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2021年度 一般選抜 A個別方式(第2期)概要

(期日はすべて2021年となります)

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
全 学 科 [写真, 映画, 美術, 音楽, 文芸, 演劇, 放送, デザイン]	1月5日(火)～3月2日(火)

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください。

※ 出願方法, 提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください。

《併願について》

全学科統一日程のため併願はできません。

2 試験期日及び試験科目

1 試験会場

すべて芸術学部校舎で実施します。

2 学力検査及び専門試験

①学力検査科目は、外国語（英語）及び国語の2科目で、いずれの科目も全問マークシート方式です。

教 科	科 目	時 間	配 点
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」	60分	100点
国 語	「国語総合」(漢文を除く)	60分	100点

②専門試験

学力検査当日の午後から引き続き専門試験を実施します。

試験科目は、小論文、作文、実技、面接等で、学科・コースにより実施内容は異なります。実施科目の詳細については、15ページの「3 学科(コース)別試験科目一覧」を参照してください。

3 学科（コース）別試験科目一覧

学科	募集人員	コース	学力検査			試験期日	専門試験					総合点
			試験期日	外国語	国語		小論文	作文	実技	面接	配点	
写真	5	—					●		●		200点	
映画	10	映像表現・理論				3月9日 (火)	●		●		150点	
		監督					●		●		150点	
		撮影・録音					●		●		150点	
		演技						●	●		150点	
美術	2	絵画				3月9・10日 (火・水)		●	●	●	300点	※レポートを含む
		彫刻					●	※	●	●	300点	※彫刻専攻は実技（レポートを含む）、地域芸術専攻は小論文
音楽	6	作曲・理論				3月9日 (火) 配点 100点	●	●	●	●	300点	※作曲専攻は実技のみ、理論専攻は小論文のみ
		音楽教育					●	※	●	●	300点	500点
		声楽						●	●	●	300点	
		ピアノ						●	●	●	300点	
		弦管打楽						●	●	●	300点	
		情報音楽						●	●	●	300点	
文芸	11	—					●	●	●	●	300点	
演劇	11	舞台構想				3月9日 (火) 配点 100点	●	●	●	●	200点	
		演技						●	●	●	200点	
		舞台美術						●	●	●	200点	
		舞踊						●	●	●	200点	実技は日舞・洋舞のいずれかを選択
放送	20	—					●		●	●	200点	
デザイン	5	—						●	●	●	300点	実技は科目を選択

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査及び専門試験の総合得点により合格判定を行いますが、学力検査の合計得点が200点満点中60点未満の場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格となります。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

「インターネットによる合否案内」を実施します。

各期日については、下表を参照してください。

入学手続については、二段階手続は行いません。

なお、本試験については、追加合格を出す場合があります。

学科	合格発表期日	入学手続期限
全学科	3月19日（金）13時	3月25日（木）

2021年度 一般選抜 A個別方式(第2期) 専門試験実施内容

学 科	科 目
写 真	①作文 (60分・600字) ②面接
映 画	①小論文あるいは実技 映像表現・理論、監督、撮影・録音コース：小論文 (80分・800字程度) 演技コース：実技（基礎的な音声及び身体表現） ※服装については、動きやすい普段着とします ②面接
美 術	①小論文あるいは実技及び実技に関するレポート 絵画コース：絵画 - (1) 実技（油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く [5時間30分]) (2) 実技に関するレポート [30分・400字以内] ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンバス(F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル等は大学で用意します 版画 - (1) 実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く [5時間30分]) (2) 実技に関するレポート [30分・400字以内] ※鉛筆、木炭、消しゴム等を持参してください ※画用紙、木炭紙、カルトン、イーゼル等は大学で用意します。 彫刻コース：彫刻 - (1) 実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く [5時間30分]) (2) 実技に関するレポート [30分・400字以内] ※鉛筆、木炭、消しゴム等を持参してください ※画用紙、木炭紙、カルトン、イーゼル等は大学で用意します。 地域芸術 - 小論文 (60分・800字以内) ②面接 ※両コースとも、出願後すみやかに、受験する専攻を選択してください（詳細は『一般選抜募集要項』で指示します）
音 楽	①実技（一部のコースで小論文も実施） 作曲・理論コース：作曲 - 作曲 理論 - 小論文 (80分・1,000字程度) 音楽教育コース：(1) 小論文 (60分・800字程度) (2) ピアノ (3) 声楽 声楽コース：声楽（声楽曲及びコーラス） ピアノコース：ピアノ 弦管打楽コース：それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 情報音楽コース：小論文 (80分・800字程度) ②面接 ※課題曲等の詳細については、45～49ページの『2021年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください（詳細は『一般選抜募集要項』で指示します）
文 芸	①小論文及び作文（各800字以内、合わせて120分） ※辞書持込み可（電子辞書不可）。また、学科指定施設内の資料の参照も可 ②面接
演 剧	①作文あるいは実技 舞台構想コース：作文 (60分・600字) 演技コース：実技（演技、音感・リズム感） ※体操着及び上履きを持参してください。 舞台美術コース：実技（プレゼンテーション） ※舞台美術コース志願者は、入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります 舞踊コース：日舞 - 実技（各自所属流派修得の任意の曲目を踊る） ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください 洋舞 - 実技（リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現） ※稽古着（タイツ、レオタード、シューズ）を持参してください ※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する専攻の試験内容（日舞または洋舞）を演劇学科へ郵送してください（詳細は『一般選抜募集要項』で指示します） ②面接
放 送	①小論文（時間・字数は当日指定） ②面接
デザイン	①実技 鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択 ※実技試験科目は事前の選択が必要です（受験票備考欄の記載に従って入力していただきます。詳細は『一般選抜募集要項』で指示します） ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム（練ゴム）、カッターナイフ等を持参してください（デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可） ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ②面接

持参作品等

演劇学科舞台美術コース志願者及びデザイン学科志願者は、面接試験の参考資料とするため、自作作品を専門試験日当日に持参してください。（下表参照）

学 科	持 参 作 品 等
演 剧	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ (A4サイズ)，あるいは石膏像デッサン及び水彩画等（いずれも A2サイズ）を専門試験当日持参すること
デザイン	作品5点。なお、映像作品については、タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

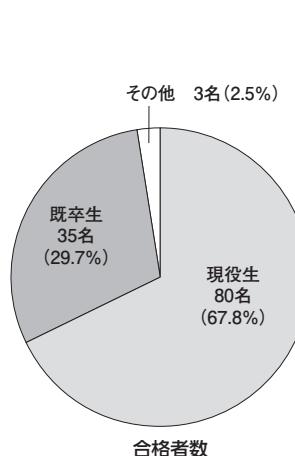
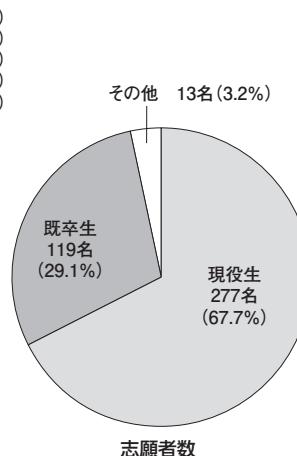
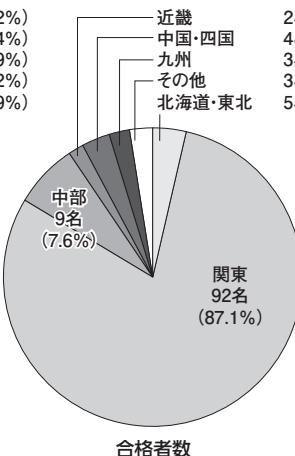
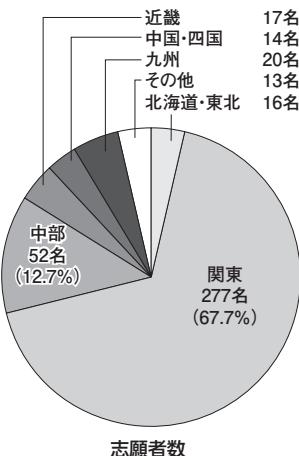
※持参作品については、面接試験終了後に返却します

2020年度(昨年度) 一般入学試験 A方式(第2期) 結果

学科・コース	項目 募集 人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A)/(B)	2019年度 競争率	総点	合格者最低点	
								2020年度	2019年度
写真学科	5	21 (6)	13 (4)	9 (4)	1.4倍	25.0倍	400	265	364
映画学科	10	映像表現・理論コース	31 (17)	26 (14)	9 (6)	2.9倍	6.6倍	350	236
		監督コース	17 (5)	15 (5)	6 (2)	2.5倍	5.7倍		218
		撮影・録音コース	11 (7)	8 (6)	2 (2)	4.0倍	2.8倍		267
		演技コース	29 (14)	27 (13)	2 (0)	13.5倍	13.5倍		311
計		10	88 (43)	76 (38)	19 (10)	4.0倍	—	—	—
美術学科	2	絵画コース	16 (7)	13 (5)	2 (1)	6.5倍	6.7倍	500	389
		彫刻コース	2 (0)	1 (0)	— (—)	—	2.0倍		376
	計	2	18 (7)	14 (5)	2 (1)	7.0倍	—	—	339
音楽学科	4	作曲・理論コース	3 (1)	2 (0)	1 (0)	2.0倍	—	500	412
		音楽教育コース	0 (0)	— (—)	— (—)	—	—		—
		声楽コース	1 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—		—
		ピアノコース	3 (3)	2 (2)	2 (2)	1.0倍	1.3倍		415
		弦管打楽コース	3 (2)	2 (1)	1 (1)	2.0倍	1.0倍		347
		情報音楽コース	18 (9)	13 (6)	9 (5)	1.4倍	—		265
計		4	28 (16)	19 (9)	13 (8)	1.5倍	—	—	—
文芸学科	15	66 (28)	54 (22)	22 (12)	2.5倍	4.5倍	500	315	321
演劇学科	11	舞台構想コース	34 (23)	30 (19)	8 (6)	3.8倍	※	400	278
		演技コース	28 (19)	22 (18)	7 (6)	3.1倍	58.0倍		243
		舞台美術コース	4 (4)	3 (3)	2 (2)	1.5倍	※		273
		舞踊コース	9 (7)	7 (6)	2 (2)	3.5倍	※		317
計		11	75 (53)	62 (46)	19 (16)	3.3倍	—	—	—
放送学科	20	77 (39)	67 (34)	24 (13)	2.8倍	4.9倍	300	194	210
デザイン学科	5	36 (15)	25 (9)	10 (6)	2.5倍	3.5倍	500	377	366
合 計		72	409 (207)	330 (167)	118 (70)	2.8倍	—	—	—

※演劇学科演技コース以外のコースは、2020年度コース改変のため、2019年度競争率及び合格者最低点は掲載していません

【出身校地域別人数】



2020年度(昨年度) 一般入学試験 A方式(第2期) 小論文・作文課題一覧

学科・コース	時間	字数	課題
映画 (演技を除く)	80分	800字以内	<p><小論文> 次の文章を読み、「言葉」について思うところを書きなさい。 ※寮美千子「あふれでたのはやしさしさだった 奈良少年刑務所 絵本と詩の教室」 西日本出版社、2019年、119～121ページ</p>
美術 (地域芸術)	60分	800字以内	<p><小論文> 芸術祭はなぜ行われるのか述べなさい。</p>
音楽	60分	800字程度	<p><小論文> 次の三つのテーマの中から一つを選び、800字程度の小論文を書きなさい。 1 芸術的な音楽とは 2 もっとも興味のある音楽 3 理論コースを選んだ理由</p>
	—	—	【当該コース志願者なし】
文芸	120分	各800字以内	<p><小論文> 「紙の本」について自由に論じてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。)</p>
			<p><作文> 「怒らない人」が登場する話を作文してください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。)</p>
演劇 (舞台構想)	60分	600字	<p><作文> 以下の課題をタイトルに作文してください。 作文課題：劇の始めかたと終わりかた</p>
放送	80分	800字	<p><小論文> 昨年のNHK紅白歌合戦に「A.I.美空ひばり」が登場した。過去の映像と音源をA.I.（人工知能）によって解析し、1989年に亡くなった昭和の大歌手美空ひばりを蘇らせて新曲を歌わせた。その声と姿に感動したという反響がある一方、「冒瀆である」と反発の声も強い。小説、絵画、音楽など表現の分野においてもA.I.技術が試されているが、あなたはこのことについてどう考えるか論じなさい。</p>

※上記は、昨年度試験内容であるため、2021年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2020年度(昨年度) 一般入学試験 A方式(第2期) 実技科目(課題) 一覧

学科・コース	科 目 ・ 課 題										
映 画 (演技)	<p>基礎的な音声及び身体表現</p> <p>発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号（　　）番、（ 氏名 ）です。出身は（ 都道府県名 ）で、学校は（ 学校名 ）高校を卒業する予定です。年齢は、（　　）歳です。</p> <p>発声2 次の文章を朗読してください。 ※『『音楽の力』は恥すべき言葉』『朝日新聞』記事より抜粋、朝日新聞社、2020年2月2日</p> <p>動 作 次の内容をしぐさのみで表現してください。</p> <p>〔設定〕 初めて海外旅行へ行く。空港に向かうために地元の駅まで車で送ってもらった。 車のトランクからスーツケースを出す。外は春の風が吹いている。</p> <p>大きなスーツケースの脇で、帰っていく車を見送る。 スーツケースがゆっくりと動き出す。慌てて抑える。 風が吹く。手で押さえるが、被っていた帽子が飛ばされる。 帽子を追いかけようとするが、スーツケースが気になって、取っ手を掴む。 帽子を探すが見つからない。 後ろから、帽子を拾ってくれた人が、手渡してくれる。 お辞儀をして、お礼を言おうとしたが、すでにいない。 ホッとして、スーツケースを引っ張りながら駅に入していく。 (そのまま、試験会場から退室してください)</p>										
美術	<p>油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く。 (6時間) 『キャンバスはF15号、その他の支持体は65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ]</p> <table> <tbody> <tr> <td>絵 画 (絵画)</td> <td>猫 (石膏) × 1</td> </tr> <tr> <td></td><td>木箱 × 1</td> </tr> <tr> <td></td><td>ロープ × 1</td> </tr> <tr> <td></td><td>ポット × 1</td> </tr> <tr> <td></td><td>布 (ピンク) × 1</td> </tr> </tbody> </table> 	絵 画 (絵画)	猫 (石膏) × 1		木箱 × 1		ロープ × 1		ポット × 1		布 (ピンク) × 1
絵 画 (絵画)	猫 (石膏) × 1										
	木箱 × 1										
	ロープ × 1										
	ポット × 1										
	布 (ピンク) × 1										
<p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 (6時間) 『画用紙または木炭紙 65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ]</p> <table> <tbody> <tr> <td>絵 画 (版画)</td> <td>植物 (ドライフラワー) × 1</td> </tr> <tr> <td></td><td>紫玉ねぎ × 1</td> </tr> <tr> <td></td><td>布 × 1</td> </tr> </tbody> </table> 	絵 画 (版画)	植物 (ドライフラワー) × 1		紫玉ねぎ × 1		布 × 1					
絵 画 (版画)	植物 (ドライフラワー) × 1										
	紫玉ねぎ × 1										
	布 × 1										
<p>彫 刻 (彫刻)</p> <p>【当該コース志願者なし】</p>											
音楽	<p>作曲・理論 (作曲)</p> <p>①作曲 ②ソルフェージュ</p>										
	<p>作曲・理論 (理論)</p> <p>ソルフェージュ</p>										
	<p>音楽教育</p> <p>【当該コース志願者なし】</p>										
	<p>声 楽</p> <p>①声楽 ②ソルフェージュ</p>										
	<p>ピアノ</p> <p>①ピアノ ②ソルフェージュ</p>										
	<p>弦管打楽</p> <p>①専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 ②ソルフェージュ</p>										
	<p>情報音楽</p> <p>プレゼンテーション</p>										

学科・コース	科目・課題
演劇	<p>演技（音感・リズム感を含む）</p> <p>問題1 次の台詞を、動かす、その場で読みなさい。 ※別役実「街と飛行船」、『別役実 第三戯曲集 そよそよ族の叛乱』1982年、264ページ</p> <p>問題2 上の台詞に、動きや身振りをつけて演じてください。</p>
	<p>プレゼンテーション</p> <p>次の文章を発想の起点として、上演を想定した作品の舞台空間について自らのデザインをまとめ、指定の用紙にまとめなさい。</p> <p>作業時間は60分です。用紙の裏面も使用しても構いません。</p> <p>作業終了後に用紙は回収し、口頭発表時に返却します。（口頭発表 5分）</p> <p>※アラン・エイクボーン「ゲームプラン」『アラン・エイクボーン最新戯曲集』 カモミール社、2005年、127～128ページ</p>
	<p>舞踊（日舞）</p> <p>各自所属流派修得の任意の曲目を踊る</p>
	<p>リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現</p> <p>①基本運動 (1)バレエ・テクニック (2)ジャズ・テクニック (3)モダンダンス・テクニック</p> <p>②イメージによる動き 題『圧力』 ◆身体外部からの圧を感じる（ポーズ約30秒） ◆次第に圧力の変化を感じる（状況の変化を伝える） (例えば、強い圧力、軽い圧力、無圧力など、状態の変化や状況の過程などイメージで自由に動く）</p>
デザイン	<p>鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択。</p> <p>①鉛筆によるデッサン（4時間） <B3用紙></p> <p>与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可。</p> <p>[モチーフ] 洗濯のり ×1 ブックエンド ×2 カウンタークロス ×1</p> <p>条件 (1)机の上に置いてある洗濯のり、カウンタークロス、ブックエンド（2個）をすべて組み合わせること。 カウンタークロスはそのままではなく形を変えること。 (2)台紙は描かなくてもよい。 (3)用紙は横位置で使用すること。 (4)A3の上質紙はエスキース（下書き）用として使用してもしなくともどちらでも構わない。 *カウンタークロスの形を保持しにくい場合はネリゴム等で固定してください。</p> <p>②デザインプレゼンテーション（4時間） <B3ケント紙+PMパッド1枚></p> <p>私たちの生活に関わる「女性の社会進出」に関わる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。</p> <p>この「女性の社会進出」に対してデザインでどのような問題を解決できるのか具体的に提案してください。 もしくは、気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。</p> <p>例えば、あたらしい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。</p> <p>条件 (1)用紙は2枚あります。PMパッド（薄い紙）1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由（デッサンで使用した鉛筆、および配布された色鉛筆を使用すること） (3)用紙は横位置にて使用すること。 (4)用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。 (5)定規・コンパスは使用不可。</p>
	

※上記は、昨年度試験内容であるため、2021年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2021年度 一般選抜 N全学統一方式(第1期)概要

(期日はすべて2021年となります)

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
写真・映画・美術・音楽(作曲・理論、弦管打楽、情報音楽コースのみ)・文芸・演劇(舞台構想コースのみ)・放送・デザイン	1月5日(火)～1月22日(金)

※ 映画、美術、音楽の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください

※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

2 試験期日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また、本試験では学科専門試験を実施しません。

試験 期日	学科 [コース]	募集 人員	教 科	科 目 ※1	時間	配 点
2月1日 (月)	写真	2	国語	「国語総合(漢文を除く)」	60分	100点
			外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
			地理歴史	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」のうちから1科目選択	60分	100点
			公民			
	映画 〔映像表現・理論 監督 撮影・録音 演技〕	2	国語	「国語総合(漢文を除く)」	60分	100点
			外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
			地理歴史	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」	60分	100点
			公民	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」		
			数学①	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから1科目選択 ※2		
			理科			
2月2日 (火)	美術 〔絵画 彫刻〕	2	国語	「国語総合(漢文を除く)」、「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」、「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」	各 60分	200点 (100点 ×2)
			外国語	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから2科目選択 ※2		
			地理歴史			
			公民			
	デザイン	2	数学①			
			数学②			
			理科			
	音楽 〔作曲・理論 弦管打楽 情報音楽〕	2	国語	「国語総合(漢文を除く)」	60分	100点
	文芸	6				
	演劇 〔舞台構想〕	2	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
	放送	2	国語	「国語総合(漢文を除く)」	60分	100点
			外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
			地理歴史	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」	60分	100点
			公民	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」		
			数学①	のうちから1科目選択		

※1 選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します

※2 「理科」については、医学部併願者は2科目選択、その他の出願者は1科目のみ選択となります。2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」「第2解答科目」に区分し、合否判定に使用する場合は、「第1解答科目」のみを使用します

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力試験の総合得点により合格判定を行います。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

各期日については、下表を参照してください。

入学手続については、所定の手続を行うことにより、3月18日（木）まで入学手続を延期することができます（二段階手続方式）。

合格発表期日	入学手続期限
2月19日（金）13時	3月5日（金）

-----本試験についての注意事項【重要】-----

各学科の試験教科及び科目については21ページに記載のとおりですが、同一時間割での実施の場合は、受験可能な科目が制限されます。また、併願する学部（学科）により受験教科及び科目が異なりますので、これらの点も含めた本試験の詳細については、日本大学ホームページ、一般選抜募集要項等で必ず確認してください。

2020年度(昨年度) 一般入学試験 N方式(第1期) 結果

学科・コース	項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A)/(B)	2019年度 競争率	総点	合格者最低点	
								2020年度	2019年度
写真学科	2	42 (25)	40 (24)	2 (0)	20.0倍	13.3倍	300	265	249
映画学科	映像表現・理論コース	66 (43)	60 (40)	1 (0)	60.0倍	55.0倍	300	274	264
	監督コース	27 (9)	26 (8)	1 (1)	26.0倍	22.0倍		255	274
	撮影・録音コース	25 (15)	23 (14)	1 (0)	23.0倍	6.0倍		247	253
	演技コース	21 (15)	21 (15)	1 (1)	21.0倍	—	—	259	—
計		139 (82)	130 (77)	4 (2)	32.5倍	—	—	—	—
美術学科	絵画コース	26 (15)	25 (14)	2 (1)	12.5倍	24.0倍	200	188	180
	彫刻コース	5 (2)	5 (2)	1 (1)	5.0倍	2.0倍		145	172
	計	31 (17)	30 (16)	3 (2)	10.0倍	—	—	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	18 (10)	18 (10)	1 (0)	18.0倍	※	200	168	※
	弦管打楽コース	9 (7)	9 (7)	2 (2)	4.5倍	※		155	※
	情報音楽コース	60 (33)	60 (33)	2 (1)	30.0倍	11.5倍		169	159
	計	87 (50)	87 (50)	5 (3)	17.4倍	—	—	—	—
文芸学科	6	135 (83)	134 (83)	6 (4)	22.3倍	6.8倍	200	164	158
演劇学科	舞台構想コース	79 (61)	78 (60)	5 (5)	15.6倍	※	200	165	※
	計	79 (61)	78 (60)	5 (5)	15.6倍	—	—	—	—
放送学科	2	116 (76)	111 (73)	2 (1)	55.5倍	53.0倍	200	267	266
デザイン学科	2	82 (40)	75 (37)	2 (1)	37.5倍	21.3倍	300	184	172
合 計	23	711 (434)	685 (420)	29 (18)	23.6倍	—	200	—	—

※ 2019年度音楽学科 作曲・理論コース、弦管打楽コースは実施しておりません

() 内は女子内数

※演劇学科舞台構想コースは、2020年度コース改変のため、2019年度競争率及び合格者最低点は掲載していません

2021年度 総合型選抜について

日本大学芸術学部らしい、総合型選抜は、芸術各分野における入学後の目的が明確であり、その目的を実現するのに十分な能力を持っていること、さらにその能力を具体的に表現できることを基本的な出願条件として、公募に基づき選抜する試験です。学力検査だけでは判定することができない、「あなた」を具体的に表現できるか、その適性を求める入学者選抜です。



総合型選抜

総合型選抜の流れ

(期日はすべて2020年となります)

総合型選抜

【エントリーシートのダウンロード】

もっとも興味・関心を持った学科の所定の「エントリーシート」を本学部ホームページからダウンロードしてください（6月上旬に掲載予定）。



【エントリー】

①エントリーシートの提出

受付期間：9月1日（火）～9月3日（木）（簡易書留郵便にて締切日必着）

②結果通知：9月17日（木）

エントリーシート等の内容により入学試験対象者を決定し、通過の可否にかかわらず全員に通知します。

なお、通過者には出願書類（「募集要項」等）を同封します。

※エントリーまでは、入学検定料は徴収しません。



【入学者選抜】

出願期間：9月25日（金）～10月1日（木）（簡易書留郵便にて締切日必着）

選考日：10月25日（日）

選考方法：学科・コースにより異なります。

合格発表期日：11月4日（水）

2021年度 総合型選抜概要

(期日はすべて2020年となります)

1 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		30名
映 画	映像表現・理論、監督、撮影・録音、演技	30名
美 術	絵画、彫刻	23名
音 楽	作曲・理論、音楽教育、声楽、ピアノ、弦管打楽、情報音楽	32名
文 芸		22名
演 劇	舞台構想、演技、舞台美術、舞踊	15名
放 送		7名
デザイン		20名

※映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する場合は、コースを1つだけ選択してください

※学科・コースの併願はできません

2 試験日程

内 容	
エントリーシート 受付期間	9月 1日(火)～9月 3日(木) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
出 願 期 間	9月 25日(金)～10月 1日(木) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
選 考 日	10月 25日(日)
合 格 発 表 期 日	11月 4日(水)
入 学 手 続 期 間	11月 4日(水)～11月 18日(水) ※入学時納入金は、入学手続期間内に一括納入となります

3 出願資格・出願要件

<出願資格>

高等学校または中等教育学校等を卒業した者あるいは2021年3月卒業見込みの者、及びそれと同等以上の学力があると認められる者。

<出願要件>

- ①試験の内容をよく理解した上で、エントリーを経て審査を通過した者。
- ②下表に示した、各学科が求める学生像をよく理解し、本学部を第一志望とする者。

学 科	求める学生像
写 真	次のいずれかに該当する者を求めます a 写真に関する明確な将来の志望を持っている者 b 写真に特に強い興味・関心を持っている者 c 写真の関連分野について顕著な成果をあげている者
映 画	芸術分野に対する豊かな感受性を有し、映像表現分野における創作活動、あるいは映像理論分野における研究活動に対する能力が認められる者を求めます
美 術	芸術領域において創造的・積極的な姿勢を持っている者で次のいずれかの分野に関する能力が認められる者を求めます a 絵画・版画・彫刻における創作活動 b 社会と芸術に関わる創作活動 c 美術に関する理論的研究活動
音 楽	次のいずれかに該当し、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a 音楽学科各コースの教育内容を理解し、考・動・創・力に富み、芸術、とりわけ音楽の素質豊かな潜在能力を有し、創作力、実技演奏力、論文表現力等に秀で、豊かな人間性を感じさせる者 b 音楽活動（オーケストラ、吹奏楽、合唱、各種演奏オーディション、コンクール等）に積極的に参加し、実績をあげた者
文 芸	次のいずれかに該当する者を求めます a 創作、評論を問わず、文芸表現を第一義にめざす者 b 文芸表現分野において顕著な成果をあげている者
演 劇	大学で舞台芸術を学ぶことについて積極的な動機を持ち、次のいずれかに該当する者を求めます a 演劇・舞踊に特別な可能性を見いだす者 b 学力試験的な方法以外で実力をアピールしたい者 c 一回限りの面接ではなく段階的また多面的に自己をアピールしたい者 d 調査書にあらわれない学業的成果をもって自己をアピールしたい者 e その他の、意外なまたは例外的な経験・個性あるいは「力」をアピールしたい者
放 送	次のいずれかに該当する者を求めます a 放送学科のカリキュラムを理解し、将来アナウンサーを志す者 b 放送学科のカリキュラムを理解し、将来放送分野での活躍を志す者
デザイン	次のいずれかに該当し、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a デザインに関する明確な将来の志望を持っている者 b デザインを通じて社会・文化に貢献したいと考えている者 c デザインを通じて新たなものごとやシステムを考え、論理的な視点から創作することをめざす者 d デザインに関わる新技術に興味を持ち、新たな「表現」や「ものづくり」に関心がある者 e デザインにおいて顕著な成果を上げた者

※出願に先立ち、「エントリー」を行っていただきます

4 エントリー

本学部に興味や関心を持っていただいた方は、以下の要領に従ってエントリーをしてください。

(1) エントリーシートの入手方法

芸術学部ホームページから「もっとも興味・関心を持った学科」のエントリーシート（学部統一書式）及び宛名シートをダウンロードし、必要事項を記入の上、本学部入試係あてに提出してください（複数学科の提出は不可）。

(2) エントリーシート受付期間

9月1日（火）～9月3日（木） 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

(3) 提出書類

①エントリーシート（写真1枚貼付）

ここでは、「あなた」が「日藝」で学びたいことをテーマとして、表現していただきます。

②宛名シート

③学科指定の提出物

音楽学科、文芸学科及びデザイン学科については、別途指定の提出物を提出してください（下表参照）。

なお、以下の学科以外でも、学科指定の提出物が課される場合があります。

学 科	学科指定の提出物
音 楽	各種芸術活動を証明する書類の写し
文 芸	文芸表現分野での実績がある者は、各種文芸賞または作文コンクール等の受賞や文芸活動を証明する書類の写し
デザイン	作品ポートフォリオ（A4サイズ以上）

(4) 審査及び審査結果通知日

提出されたエントリーシート（学科指定の提出物を含む）をもとに審査を行い、試験対象者を決定します。審査結果は、9月17日（木）に通過の可否にかかわらず全員に通知します。

5 入学者選抜

(1) 出願期間

9月25日（金）～10月1日（木） 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

(2) 試験会場 芸術学部校舎

(3) 出願書類

①出願確認表

②出身学校調査書等

※音楽学科志願者は、受験曲目等を学科サイトより別途入力すること（詳細は「募集要項」で指示します）。

(4) 出願者に対する課題等

①事前提出物のある学科及び課題内容

学 科	課 題
映 画	コースによりレポートを課す場合がある
音 楽	作曲・理論コース（作曲）志願者は、自作曲の楽譜（編成・長さは自由、最大3曲） 作曲・理論コース（理論）志願者は、音楽に関するレポート（書式・長さは自由、最大2点）を出願期間内に提出すること

②選考日当日に持参作品等のある学科及び課題内容

学 科	課 題
写 真	①小論文 ②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4） (写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写しき〕を加える)
美 術	作品のポートフォリオ（A4サイズ。また、彫刻コース地域芸術専攻の志願者は、芸術活動報告をまとめたものでも可） ※作成時の注意事項等は、6月上旬にホームページで公開します
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）、あるいは石膏像のデッサン及び水彩画等（いずれもA2サイズ）
デザイン	事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード（A2サイズ）1～2枚 ※課題については事前に説明会を開催。また当該年度の課題の内容は9月1日以降ホームページ上で公開します

6 試験科目

学 科	科 目
写 真	①実技（写真撮影及び撮影した中から提出作品としてセレクト） ②プレゼンテーション（指定された分數でプレゼンテーションを行う） ③面接
映 画	①小論文（コース共通） ②コース別試験 ③面接
美 術	①小論文あるいは実技及び実技に関するレポート 絵画コース：絵画 – (1) 実技（油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く[5時間30分]） (2) 実技に関するレポート（30分・400字以内） 版画 – (1) 実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く[5時間30分]） (2) 実技に関するレポート（30分・400字以内） 彫刻コース：彫刻 – (1) 実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く[5時間30分]） (2) 実技に関するレポート（30分・400字以内） 地域芸術 – 小論文（60分・800字以内） ②面接
音 楽	①実技（一部のコースで小論文も実施） 作曲・理論コース：作曲 – (1) 自作品の審査及び口頭試問 (2) 作曲 理論 – (1) 音楽に関するレポートの審査及び口頭試問 (2) 実技（任意の器楽曲または声楽曲の演奏） 音楽教育コース：(1) 小論文（60分・800字程度） (2) ピアノ (3) 声楽 声楽コース：声楽（声楽曲及びコールユーブンゲン） ピアノコース：ピアノ 弦管打楽コース：それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 情報音楽コース：プレゼンテーション（演奏及び演奏解説） ②面接 ※課題曲等の詳細については、45～49ページの『2021年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください。 ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください（詳細は「募集要項」で指示します）。
文 芸	①小論文または作文（180分・3,200字以内） ②面接
演 劇	①作文（60分・800字程度） ②実技 舞台構想コース：実技（グループディスカッション） 演技コース：実技（演技にかかるもの） 舞台美術コース：実技（グループディスカッション） 舞踊コース：日舞 – 実技 洋舞 – 実技 ※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する試験内容（日舞または洋舞）を演劇学科へ郵送してください（詳細は「募集要項」で指示します）。 ③面接
放 送	①適性をみる課題 ②小論文または作文（時間・文字数は当日指定） ③面接
デザイン	①小論文 ②実技 ③面接（プレゼンテーションを含む）

2020年度(昨年度) 日藝オーディション<AO入学試験>結果

項目 学科・コース		募集 人員	エントリー 者数	試験 (一次選考) 対象者数	試験 (一次選考) 志願者数	一次選考 受験者数 (A)	二次選考 対象者数	試験 (二次選考) 受験者数 (B)	合格者数 (C)	競争率 (A)/(B) または (B)/(C)	2019 年度 競争率
写 真 学 科		30	79 (39)	57 (30)	55 (29)	—	—	55 (29)	31 (25)	1.8倍	2.0倍
映 画 学 科	映像表現・理論 コース	30	54 (29)	44 (27)	42 (25)	42 (25)	17 (13)	17 (13)	8 (8)	5.3倍	3.5倍
	監 督 コース		33 (11)	14 (7)	14 (7)	14 (7)	6 (5)	6 (5)	6 (5)	2.3倍	3.8倍
	撮影・録音 コース		40 (19)	26 (14)	26 (14)	26 (14)	13 (8)	13 (8)	11 (7)	2.4倍	2.0倍
	演 技 コース		85 (62)	26 (19)	26 (19)	26 (19)	9 (8)	9 (8)	6 (5)	4.3倍	5.3倍
	計	30	212 (121)	110 (67)	108 (65)	108 (65)	45 (34)	45 (34)	31 (25)	—	—
美 術 学 科	絵 画 コース	22	41 (25)	41 (25)	36 (22)	—	—	36 (22)	21 (13)	1.7倍	1.1倍
	彫 刻 コース		11 (6)	11 (6)	9 (5)	—	—	9 (5)	5 (3)	1.8倍	1.0倍
	計	22	52 (31)	52 (31)	45 (27)	—	—	45 (27)	26 (16)	—	—
音 楽 学 科	作曲・理論 コース	20	9 (5)	9 (5)	9 (5)	—	—	9 (5)	6 (3)	1.5倍	1.0倍
	音楽教育 コース		8 (8)	7 (7)	7 (7)	—	—	7 (7)	5 (5)	1.4倍	2.2倍
	声 楽 コース		9 (8)	9 (8)	8 (7)	—	—	8 (7)	7 (6)	1.1倍	1.0倍
	ピ ア ノ コース		4 (4)	4 (4)	4 (4)	—	—	4 (4)	4 (4)	1.0倍	1.4倍
	弦管打楽 コース		14 (11)	14 (11)	14 (11)	—	—	14 (11)	9 (7)	1.6倍	1.3倍
	情報音楽 コース		67 (30)	15 (10)	15 (10)	—	—	15 (10)	4 (4)	3.8倍	2.4倍
	計	20	111 (66)	58 (45)	57 (44)	—	—	57 (44)	35 (29)	—	—
文 芸 学 科		18	93 (57)	93 (57)	92 (56)	92 (56)	45 (30)	45 (30)	28 (20)	3.3倍	2.0倍
演 劇 学 科	舞台構想 コース	15	53 (43)	25 (18)	25 (18)	25 (18)	6 (5)	6 (5)	5 (4)	5.0倍	※
	演 技 コース		120 (86)	25 (20)	24 (19)	24 (19)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	12.0倍	12.7倍
	舞台美術 コース		24 (20)	20 (17)	19 (17)	18 (16)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	6.0倍	※
	舞 蹴 コース		23 (17)	20 (15)	19 (15)	19 (15)	6 (4)	6 (4)	5 (3)	3.8倍	※
	計	15	220 (166)	90 (70)	87 (69)	86 (68)	17 (14)	17 (14)	15 (12)	—	—
放 送 学 科		5	26 (17)	11 (9)	11 (9)	—	—	11 (9)	2 (1)	5.5倍	11.5倍
デ ザ イ ン 学 科		16	71 (47)	38 (29)	36 (27)	—	—	36 (27)	20 (19)	1.8倍	1.6倍
	合 計	156	864 (544)	509 (338)	491 (326)	286 (189)	107 (78)	311 (214)	188 (147)	—	—

※演劇学科演技コース以外のコースは2020年度コース改変のため、2019年度競争率は掲載していません。 () 内は女子内数

2020年度(昨年度) 日藝オーディション<AO入学試験>科目(課題)一覧

学科・コース	科 目 ・ 課 題
写 真	<p>①事前小論文課題（試験当日持参） 写真という静止画の是非を考察し、なぜ写真を学ぼうとするのか述べなさい。(1,000字程度)</p> <p>②実 技（1日目） 「こちらで用意した機材のみを使って撮影する」 ・江古田校舎校地内における写真撮影。(60分間) ・デジタル一眼レフカメラを貸与し、使用方法を説明後撮影。こちらで用意した機材のみを使って撮影する。 また、三脚、撮影用被写体・小道具等は持参不可。 ・5枚の写真を提出する。</p> <p>③プレゼンテーション（1日目） プレゼンテーション及び質疑応答(10分程度) ・実技試験で、自分が撮影した作品（5枚）を通してプレゼンテーションする。</p> <p>④面 接（自作作品持参可）（2日目）</p>
映像表現・理論	<p>一次選考</p> <p>①記述試験 (1)上映する作品は、アラン・レネ監督の短編映画「世界の全ての記憶」(1956年作)である。この作品を観て、あなたが感じたことを書きなさい。(60分・800字以内) ※アラン・レネ「世界の全ての記憶」『アラン・レネ／ジャン＝リュック・ゴダール短編傑作選』1956年 (2)次の条件に従い、ストーリーを作りなさい。(60分・a,bの文章を含め800字以内) a 冒頭の文章 今日はピクニックだ。(10文字) b 最後の文章 夕立に降られたが、なんとか戻って来られた。それにしても、あれはいったい何だったのだろう。(44文字) c 題名をつけること</p> <p>②面 接</p> <p>二次選考</p> <p>①「映画観客とは何か」についてあなたの考えを書きなさい。これまで、現在、未来についても十分に考察すること。(80分・1,000字以内) ②明日からインターネットが使えなくなったとしたら、あなたの生活はどう変わりますか。不便になりますが、良いことはありますか。 * 10分間で発表準備をし、各自2分間のプレゼンテーションをしてください。 * 各自分がプレゼンテーションを終えた後に、複数名で約5分間のディベートを行います。</p>
映 画	<p>一次選考</p> <p>①レポート課題（事前に郵送により提出） あなたの好きな最近の日本映画について好きな理由を2,000字程度でまとめてください。 (必ず、終わりまで書き上げること)</p> <p>②レポート課題（60分・800字以内） 短編映画2作品を鑑賞し、その内1作品の感想と批評をレポートにまとめなさい。 その際、レポートには必ず題名を付け題名欄に記入すること。</p> <p style="text-align: right;">※平成30年度映画学科卒業制作作品</p> <p>③面 接</p> <p>二次選考（事前に課題を通知）</p> <p>ショート・シチュエーションを演出・撮影していただきます。</p> <p>【試験方法】</p> <p>(1) 4ショットの作品を創っていただきます。 (2)撮影機材は、ビデオカメラ（大学所有）を使用します。 (3)出演俳優は本学部の在学生に依頼しますので、試験当日、演技内容を指示してください。 (4)編集は本学部の教職員が行います。 (5)全員で完成試写を行います。</p> <p>【創作主題】 「待つ」 約束の場所で友達と待ち合わせをしているが、なかなか待ち人が来ない。待っている人の心境を表現してください。</p> <p>【創作条件】</p> <p>(1)登場人物は1名です。なお、あなたと異性で考えてください。 (2)撮影場所は、好天の場合は学校構内の屋上とし、雨天の場合は廊下または教室とします。 なお、撮影場所は当日の状況により判断します。どこでも表現できるように考えておいてください。 (3)俳優は本学部在学生が行います。 (4)完成作品の時間は60秒程度、70秒以内とします。 (5)台詞（独り言）の有無はどちらでも構いませんが、音楽や効果音は考慮しない内容にしてください。アフレコ作業などは行いません。</p> <p>【当日持参するもの】 上記4ショットの画コンテを用意して下さい。台詞がある場合はシナリオを書いて持参して下さい。</p> <p>【参考】</p> <p>(1)カメラは簡単な機材を用意します。当日の説明で十分理解できますので、操作については心配しなくて結構です。 (2)打ち合わせ時間は機材の取扱い説明等も含め、全体で1時間程度です。 (3)撮影時間は1人30分程度です。 (4)編集終了後、口頭試問を行います。</p>

学科・コース	科目・課題
撮影・録音 映画	<p>一次選考</p> <p>①記述試験1 (60分・600字以内) あなたがドキュメンタリー映画を作るとしたら、どのような事柄をテーマに取り上げたいか書きなさい。</p> <p>②記述試験2 (60分・600字以内) (1)これから映画を上映します。観客の一人として素直な気持ちで鑑賞してください。上映時間は10分です。 (2)同じ作品をもう1回上映します。今度は「あなたがこの作品の撮影監督だったら」または「あなたがこの作品の録音技師だったら」のどちらかを想定し、そういう意識をしながら鑑賞してください。 (3)上映が終了したら、(2)のどちらかの立場で、「この作品のクオリティをもっと上げるには、どのような技術が具体的に必要か」をテーマに記述してください。記述時間は60分です。600字で記述してください。タイトルは自由に考えて結構です。</p> <p style="text-align: right;">※平成30年度映画演出Ⅲ・映画技術Ⅲ実習作品</p> <p>③面接</p> <p>二次選考</p> <p>① (1)「デジタルカメラでの写真撮影」 (2)「撮影した写真についてのプレゼンテーション」</p> <p>撮影場所 撮影スタジオ1 被写体 撮影スタジオ1に用意してある静物（自由に選んでください） ・撮影時間は60分とします（試験官の合図で始めます） ・撮影終了後、教室で「記録メディア」と「試験問題用紙」を提出していただきます。その後カメラを返却してください。 ・撮影した写真データは試験官及び補助係員が教室でノートパソコンにデータを取り込みます。その後、撮影した写真の中から3枚選んでください。再集合時（※再集合の時間は別途指示します）に選んだ写真について工夫した点を試験官に説明していただきます。写真はプロジェクターで大きなスクリーンに映写します。</p> <p>②8種類の写真と音の組み合わせから一つだけ選んでください。 あなたの選んだ写真と音からイメージしてください。 (1)季節はいつですか？時間は何時頃ですか？場所はどこですか？ (2)あなたなら何の音を足したい（または削除したい）ですか？それはなぜですか？ (3)この写真にストーリーがあるとしたらどんなものですか？</p> <p>を一人ずつプレゼンテーションしていただきます。 プレゼンテーション原稿を考えている間は、いつでもあなたが選んだ写真を見ながらヘッドフォンで音を聴くことができます。 プレゼンテーション用の用紙と、この問題用紙はプレゼンテーション終了後に回収します。</p>
演技	<p>一次選考</p> <p>①レポート課題（事前に郵送により提出） 最近の作品で一番感動した演技（映画・演劇・TVドラマ・CM・アニメ（声優）・ドキュメンタリー（ナレーション））について800字程度で何故かを述べてください。</p> <p>②レポート課題（60分・800字） 短編映画を鑑賞し、主要登場人物一人を選び、その役作りについて800字でまとめてください。 レポートには必ず題名を付け題名欄に記入すること。</p> <p style="text-align: right;">※平成30年度映画学科卒業制作作品</p> <p>③実技</p> <p>発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号（　　）番、（　氏名　）です。出身は（　都道府県名　）で、学校は（　学校名　）高校を卒業する予定です。年齢は、（　　）歳です。</p> <p>発声2 次の文章を朗読してください。 ※「マリコのゲストコレクション 内田也哉子」週刊朝日9月20日号、朝日新聞出版、2019年、102ページ</p> <p>動作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 【設定】居残り補習が終わり、グッタリして帰る。夜でもないので外は暗くなり、雷が鳴り出している。 下駄箱で靴に履き替えていると、稲光がしている。 玄関を出て、外に手を差し出す。雨がポツポツと当たる。傘は持っていない。 まだそんなに降っていないので走って外に出る。 雷が鳴り、急に雨足が強くなる。ずぶ濡れになると思い、玄関まで戻る。 外の気配を伺っていると土砂降りになってきた。冷たい風と雨が玄関まで入ってくる。 止みそうもないで、諦めて校内に戻って行く。 (そのまま退出してください)</p> <p>④面接</p>

学科・コース	科目・課題												
映画	<p>二次選考</p> <p>①ショート・シチュエーションを演技していただきます。</p> <p>【試験前準備】</p> <p>(1)以下の設定から自分の希望の設定を選び、2人の芝居を考えてきてください。 1)口喧嘩 2)世間話 3)内緒話 なお、相手役の設定は、あなたと同性で考えてください。</p> <p>(2)台詞の入った脚本を書いてきてください。</p> <p>(3)自分が演じる役の台詞を覚えてきてください。</p> <p>(4)60秒以上、90秒以内の時間で収まるようにしてください。</p> <p>【試験方法】</p> <p>(1)本学部の在学生を相手役として、他の方々の前で芝居を演じていただきます。</p> <p>(2)2人の芝居を、教職員が撮影します。</p> <p>(3)作品は最終的に上映し、採点します。</p> <p>(4)上記課題の終了後、口頭試問を行います。</p> <p>②あなたの決意を宣言していただきます。</p> <p>【試験前準備】</p> <p>(1)宣言にタイトルをつけてきてください。(「～宣言」)</p> <p>(2)下記の例に捕らわれずに、自らが映画学科演技コースで学ぶ決意を述べてください。</p> <p>(3)20秒以上、30秒以内でまとめてください。 例：「世界人権宣言」</p> <p>【試験方法】</p> <p>カメラに向かって宣言していただきます。</p>												
絵画 (絵画専攻)	<p>①実技（6時間） 油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 『キャンバスはF15号、その他の支持体は65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ]</p> <table> <tbody> <tr> <td>布</td> <td>× 1</td> </tr> <tr> <td>アバタのヴィーナス</td> <td>× 1</td> </tr> <tr> <td>リンゴ</td> <td>× 1</td> </tr> <tr> <td>レモン</td> <td>× 1</td> </tr> <tr> <td>レンガ</td> <td>× 1</td> </tr> <tr> <td>瓶</td> <td>× 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>②面接</p> 	布	× 1	アバタのヴィーナス	× 1	リンゴ	× 1	レモン	× 1	レンガ	× 1	瓶	× 1
布	× 1												
アバタのヴィーナス	× 1												
リンゴ	× 1												
レモン	× 1												
レンガ	× 1												
瓶	× 1												
美術	<p>①実技（6時間） 静物画：鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 『キャンバスはF15号、その他の支持体は65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ]</p> <table> <tbody> <tr> <td>パイナップル</td> <td>× 3</td> </tr> </tbody> </table> <p>②面接</p> 	パイナップル	× 3										
パイナップル	× 3												
彫刻 (彫刻専攻)	<p>①実技（6時間） デッサン：鉛筆・木炭のいずれかを選択して、モノと空間を描く。 『木炭紙または画用紙 65cm×50cm』</p> <p>[モチーフ]</p> <table> <tbody> <tr> <td>大型クランプ</td> <td>× 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>②面接</p> 	大型クランプ	× 1										
大型クランプ	× 1												
彫刻 (地域芸術専攻)	<p>①小論文（60分・800字以内） あなたが考える地域における活動において、アートの可能性を述べてください。</p> <p>②面接</p>												

学科・コース	科目・課題
音 樂	作曲 ①実技（1日目） (1)自作品（当日持参）の審査ならびに口述試問 (2)作曲試験：指定した旋律を冒頭におき、オーボエ独奏（ピアノ伴奏なし）のための小品を作りなさい。 (120分) 理論 ②面接（2日目） ①実技（1日目） (1)音楽に関するレポート（当日持参）の審査ならびに口述試問 (2)任意の器楽曲または声楽曲の演奏 ②面接（2日目）
	①実技（1日目） (1)小論文 次のテーマから1つを選び800字程度の小論文を書きなさい。（60分） 1.音楽教員に必要な音楽の知識と技能について 2.音楽教員の志望動機と本学で学びたいこと 3.高齢者や障がい児者など社会福祉での音楽活動について (2)ピアノ：任意のピアノ曲 (3)声楽：任意の声楽曲 ②面接（2日目）
	①実技（1日目） 声楽（＊） （＊）『2020年度音楽学科入学試験実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択 ②面接（2日目）
	①実技（1日目） (1)練習曲またはバッハ（＊） (2)ソナタ（＊） （＊）『2020年度音楽学科入学試験実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択 (3)任意のピアノ曲 ②面接（2日目）
	①実技（1日目） 任意の楽曲または練習曲（自分の能力を最大限アピールできる楽曲を選曲のこと） ②面接（2日目）
	①実技（1日目） プレゼンテーション 任意の楽曲を演奏（5分程度）及び演奏楽曲にまつわる口頭発表（3分程度） ②面接（2日目）
文芸	一次選考 作文または小論文（180分・3,200字以内） 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。 （タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください） ①「理不尽な状況」が現れる話を作文してください。 ②「真実」について自由に論じてください。 二次選考 面接

学科・コース	科目・課題
全コース共通	<p>一次選考</p> <p>作文（60分・800字） 「社会における劇場の役割について」をタイトルにして、あなたの考えを述べよ。</p> <p>二次選考</p> <p>面接</p> <p>※面接の参考資料を事前に郵送により提出すること。</p> <p>【必須】自己をアピールするチラシ（A4片面）を1部（作成手段は自由）</p> <p>【任意】面接時に用いたい資料（集）（二次元のものに限る）</p> <p>※舞台美術コース志願者は、石膏像デッサン、水彩画等を試験当日に持参してかまわない。</p>
舞台構想	<p>一次選考</p> <p>ワークショップ（グループワーク） 3篇の詩を読んでください。</p> <p>①3篇の詩から自由に発想を得て、どんな演劇の場面や作品が創作できるかをまずひとりひとりが考えてみてください。個人のメモには手元のA3の用紙を使ってください。（名前・番号記入）（20分）</p> <p>②それぞれのイメージを持ち寄って、同じグループの人たちが共同して、ひとつの演劇の場面や作品のあらすじや主要な人物のイメージを創作してみてください。それらを模造紙にまとめてみてください。（残り55分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短いひとつの場面でも、壮大な演劇作品でも構いません。 ・想像力を自由にはばたかせてください。 ・詩の一言一句にこだわりすぎる必要はありません。 <p>※林美美子「現代詩文庫1026 林美美子詩集」思潮社、2018年、41～42、105ページより抜粋</p>
演技	<p>一次選考</p> <p>実技</p> <p>①身体表現（30分） 床に寝転がり、目を閉じる。自分の身体に意識を向ける。 シンプルな動きから始めて、少しづつ動きを拡大。次第に他者と交わる。</p> <p>※Joni Mitchell「Blue」1971年</p> <p>②台詞を読む（ひとり1分） ひとりずつ指定のテキストを読む。</p> <p>※ウィリアム・シェイクスピア著、小田島雄志訳「お気に召すまま」『シェイクスピア全集IV』白水社、1981年、287～288ページ</p>
舞台美術	<p>一次選考</p> <p>ワークショップ（グループワーク） ①以下の英文を発想の起点として、上演を想定した作品の舞台空間について話し合いなさい（35分間） ※ウィリアム・シェイクスピア「The Oxford Shakespeare As You Like It」Oxford University Press、1993年、150～151ページ</p> <p>②話し合いを以下の余白を利用して各自まとめなさい（20分間） ③②でまとめたものを他のメンバーに発表しなさい（20分間）（注：一人3分程度）</p>
舞踊	<p>一次選考（日舞、洋舞のいずれかを選択）</p> <p>[日舞]</p> <p>実技</p> <p>①あらかじめ学科で用意した分数の短い試験課題曲（長唄「松の緑」の前弾き）を一度聞く（1分23秒） ②試験課題曲について、自分のイメージしたテーマを構想し、制限時間内に振付する（30分） 音源は5分ごとに一箇所から出力する。 ③振付した試験課題曲について、まず自分が構想したイメージとテーマについて口頭で発表（一人最大3分以内） ④振付した試験課題曲を実際に踊る。 ⑤質疑応答</p> <p>[洋舞]</p> <p>実技</p> <p>①リズム運動、舞踊的身体運動 ②イメージによる動き 題「○、△、□の内から1つ图形を選び、それをモチーフにして音に合わせての創作作品」</p>
放送	<p>①小論文（80分・800字）（1日目） 2020年、東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。しかしオリンピック等の開催には、メリット、デメリットを含めさまざまな問題が伴うと言われています。あなたの考えるメリット、デメリットをそれぞれ挙げ、その理由とともに論じなさい。</p> <p>②適性をみる課題（1日目） テレビスタジオで音声・カメラテストを行う。 2分程度の自己紹介を考え、指定の原稿を読む。</p> <p>③面接（2日目）</p>

学科・コース	科目・課題
デザイン	<p>①予備課題 「私」を代表する作品1点を発表用にわかりやすくまとめてくる。</p> <p>②持参作品 予備課題以外に作品3点以内を試験1日目に持参してください。なお、映像作品については、タブレット端末またはノートPCの持参による発表を認めます。</p> <p>③実技（1日目）</p> <p>(1)デザイン（5時間／昼食1時間）（1日目） テーマ：「ボランティア（奉仕、チャリティーを含む）についてのデザイン提案 日本において、ボランティアとは一般的に、自発的に他人・社会に奉仕する人または活動を指す。ボランティア活動の basic 理念は、公共性、自発性、無償性、先駆性である。（wikipediaより） この現象に対してデザインでどのような問題を解決できるのか具体的に提案してください。もしくは問題点を抽出して知らしめるための提案でも構いません。例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題を知つてもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。</p> <p>2枚のPMパッド（薄い紙）にはそのアイデアに至った経緯を書き、ケント紙には最終案一案を示し、デザインのポイントを明示してください。 ・与えられた画材以外はデッサンで使用した鉛筆のみを使用可とする ・着彩は自由 ・使用画材：色鉛筆、デッサンで使用するデッサン道具</p> <p>(2)面接及びプレゼンテーション（約10分程度） 予備課題、持参作品を発表する。</p> <p>④実技（2日目）</p> <p>(1)ドローイング（4時間） 「あなたの頭の中をみせてください」 自画像とともにあなたの頭の中で考えていることを想定し、画用紙に鉛筆でデッサンしてください。 構図、背景は自由に設定してください。ただし、考えている内容と関連させたあなたの表情は必ず書き込んでください。 ※鏡 자체は描いても描かなくてもどちらでも構いません。 ・はかり棒は使用してもよい</p> <p>(2)グループ面接及びプレゼンテーション（約1時間半程度） 前日作品（デザイン）の発表及び質疑応答</p>

※上記は、昨年度試験内容であるため、2021年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2021年度 学校推薦型選抜（公募制）について

全国から意欲ある受験生を求めます！

学校推薦型選抜（公募制）は、学校推薦型選抜（指定校制）とは異なり、広く全国の高等学校あるいは中等教育学校等の現役生を対象にした推薦入学試験です。皆さんの学力は、出身学校の調査書をもとに判断し、小論文、作文、面接、実技等の学科別試験によって適性を判定します。

※放送学科は募集していません。



学校推薦型選抜（公募制）の流れ

(期日はすべて2020年となります)

【募集要項の入手】

公開時期：9月上旬を予定

※請求方法については、本学部ホームページにて確認してください



【出願】

出願期間：11月4日（水）～11月11日（水）（簡易書留郵便に限る・締切日必着）



【入学者選抜】

試験期日：11月22日（日）

選考方法：学科・コースにより異なります。



【合格発表】

発表期日：12月1日（火）

2021年度 学校推薦型選抜（公募制）概要

(期日はすべて2020年となります)

1 募集方法

公募制

2 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		21名
映 画	映像表現・理論、監督、撮影・録音、演技	8名
美 術	絵画、彫刻	3名
音 楽	作曲・理論、音楽教育、声楽、ピアノ、弦管打楽、情報音楽	5名
文 芸		17名
演 劇	舞台構想、演技、舞台美術、舞踊	27名
デザイン		18名

※映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する場合は、コースを1つだけ選択してください

※学科・コースの併願はできません。また、放送学科は募集しません

3 試験日程

内 容	
出願期間及び方法	11月4日(水)～11日(水)（簡易書留郵便に限る・締切日必着）
選考日	11月22日(日)
合格発表期日	12月1日(火)
入学手続き期間	12月1日(火)～12月14日(月) ※入学時納入金は、入学手続き期間内に一括納入となります

※ 出願方法、提出書類等の詳細は「募集要項」を確認してください

4 出願資格・出願要件

- ①学業・人物が優秀で、高等学校または中等教育学校等を2021年3月卒業見込みの者。
ただし、本学付属高等学校等（26校）に在学の者は除きます。
- ②それぞれの分野に対する強い情熱を有し、芸術的資質に恵まれていて、将来性のある者。かつ合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。
- ③下記の学科で定めた資格を有する者（調査書には必ず学年ごとに学習成績の状況が記載されていること）。

学 科	学科別の詳細
写 真	全体の学習成績の状況が3.0以上の者。
映 画	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
美 術	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 美術・デザイン・造形に関する専門科目を24単位以上修得見込みの者で、全体の学習成績の状況が3.0以上の者。 B 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
音 楽	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 学校長が認めた音楽活動を行い、全体の学習成績の状況が4.0以上の者。 B 音楽の単位を6単位以上修得見込みの者で、全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
文 芸	全体の学習成績の状況が4.0以上の者。
演 劇	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
デザイン	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。

5 推薦者

在学する高等（中等教育）学校長

6 試験科目

学 科	科 目
写 真	<p>①書類選考 ②小論文（60分・800～1,000字） ③面 接</p>
映 画	<p>①書類選考 ②小論文あるいは実技 映像表現・理論、監督、撮影・録音コース：小論文（100分・1,000字程度） 演技コース：実技（基礎的な音声及び身体表現） ※服装については、動きやすい普段着とします ③面 接</p>
美 術	<p>①書類選考 ②小論文あるいは実技 絵画コース：絵 画－実技（油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く [6時間]) ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンバス（F15号）、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル等は大学で用意します 版 画－実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く [6時間]) ※鉛筆、木炭、消しゴム等を持参してください ※画用紙、木炭紙、カルトン、イーゼル等は大学で用意します 彫刻コース：彫 刻－実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く [6時間]) ※鉛筆、木炭、消しゴム等を持参してください ※画用紙、木炭紙、カルトン、イーゼル等は大学で用意します 地域芸術－小論文（60分・800字以内） ③面 接 ※両コースとも、出願後すみやかに、受験する専攻を選択してください（詳細は『募集要項』で指示します）</p>
音 楽	<p>①書類選考 ②実 技（一部のコースで小論文も実施） 作曲・理論コース：作曲－ (1) 作曲 (2) ピアノ 理論－ (1) 小論文（80分・1,000字程度） (2) 演奏 音楽教育コース：(1) 小論文（60分・800字程度） (2) ピアノ (3) 声楽 声 楽 コ ー ス：声楽（声楽曲及びコールユーブンゲン） ピアノコース：ピアノ 弦管打楽コース：それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 情報音楽コース：(1) 口頭試問 (2) 小論文（60分・800字程度） ③面 接 ※課題曲等の詳細については、45～49ページ『2021年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください。詳細は『募集要項』で指示します。</p>
文 芸	<p>①書類選考 ②小論文または作文（60分・800字以内） ③面 接</p>
演 戯	<p>①書類選考 ②実 技 舞台構想コース：ワークショップ 演技コース：(1)演技 (2)音感・リズム感 ※体操着及び上履きを持参してください。 舞台美術コース：プレゼンテーション ※舞台美術コース志願者は、入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります。 舞 踊 コ ー ス：日舞－各自所属流派修得の任意の曲目を踊る ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください 洋舞－リズム運動、舞踊の身体運動及びイメージ表現 ※稽古着（タイツ、レオタード、シューズ）を持参してください ※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する専攻の試験内容（日舞または洋舞）を演劇学科へ郵送してください（詳細は『募集要項』で指示します） ③面 接</p>
デザイン	<p>①書類選考 ②実 技 鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択 ※実技試験科目は事前の選択が必要です（受験票備考欄の記載に従って入力していただきます。詳細は『募集要項』で指示します）。 ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム（練ゴム）、カッターナイフ等を持参してください（デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可） ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ③面 接</p>

7 試験会場

本学部校舎

8 出願者に対する課題等

音楽学科作曲・理論コース志願者は、面接試験の参考資料とするため、自作作品等を出願期間内に提出してください。
(下表参照)

学 科	作 品 等
音 楽	作曲・理論コース（作曲）志願者は、自作曲の楽譜（編成・長さは自由、1曲） 作曲・理論コース（理論）志願者は、音楽に関するレポート（書式・長さは自由、1点）

写真学科、音楽学科情報音楽コース、演劇学科舞台美術コース及びデザイン学科志願者は、面接試験の参考資料とするため、自作作品等を選考日当日に持参してください。(下表参照)

学 科	持 参 作 品 等
写 真	学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4） (写真関連分野における実績のある場合は、関連資料【写し可】を加えてください)
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください（口頭試問で参考にします）
演 剧	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）、あるいは石膏像デッサンおよび水彩画等（いずれもA2サイズ）を選考日当日持参すること
デザイン	自作作品5点。 なお、映像作品についてはタブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

*持参作品等については、面接試験終了後に返却します。

9 募集要項

募集要項は9月上旬より公開予定です。詳細については、本学部ホームページにて確認してください。

10 出願資格確認等のための提出物

音楽学科志願者のうちAの条件で出願する者は、出願資格の確認及び面接の参考とするため、「学校長が認めた音楽活動」を証明する資料を提出してください。審査の結果、条件を満たさないと判断された場合は、出願資格を充足しないことになり、出願書類は受理できません。

*証明する資料は出願期間内に提出してください（詳細は「募集要項」にてお知らせします）。

2020年度(昨年度) 一般推薦(公募制) 入学試験結果

項目 学科・コース	募集 人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A)/(B)	2019年度 競争率
写 真 学 科	21	19 (13)	18 (13)	15 (12)	1.2倍	1.2倍
映 画 学 科	映像表現・理論 コース	8	4 (2)	4 (2)	2 (2)	3.5倍
	監 督 コース		8 (3)	8 (3)	2 (1)	4.0倍
	撮影・録音 コース		3 (3)	3 (3)	2 (2)	1.5倍
	演 技 コース		13 (9)	11 (7)	2 (1)	5.5倍
	計	8	28 (17)	26 (15)	8 (6)	—
美 術 学 科	絵 画 コース	3	6 (4)	6 (4)	2 (2)	3.0倍
	彫 刻 コース		2 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0倍
	計	3	8 (5)	7 (5)	3 (3)	—
音 樂 学 科	作曲・理論 コース	14	2 (1)	2 (1)	1 (1)	2.0倍
	音楽教育 コース		2 (2)	2 (2)	1 (1)	2.0倍
	声 楽 コース		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	ピ ア ノ コース		3 (3)	3 (3)	3 (3)	1.0倍
	弦管打楽 コース		2 (2)	2 (2)	2 (2)	1.0倍
	情報音楽 コース		5 (3)	5 (3)	0 (0)	—
	計	14	14 (11)	14 (11)	7 (7)	—
文 芸 学 科	17	24 (11)	24 (11)	17 (9)	1.4倍	1.1倍
演 剧 学 科	舞台構想 コース	27	28 (22)	26 (21)	7 (5)	3.7倍
	演 技 コース		51 (41)	51 (41)	9 (7)	5.7倍
	舞台美術 コース		7 (7)	6 (6)	4 (4)	1.5倍
	舞 踊 コース		5 (5)	5 (5)	4 (4)	1.3倍
	計	27	91 (75)	88 (73)	24 (20)	—
デ ザ イ ン 学 科	15	31 (24)	30 (24)	18 (15)	1.7倍	1.1倍
合 計	105	215 (156)	207 (152)	92 (72)	—	—

※演劇学科演技コース以外のコースは2020年度コース改編のため、2019年度競争率は掲載していません。 () 内は女子内数
 ※放送学科は募集していません。

2020年度(昨年度) 一般推薦(公募制) 入学試験小論文・作文課題一覧

学科・コース	時間	字数	課題
写真	60分	800~1,000字	<p><小論文> スマートフォン等で簡単に写真が撮れるいま、あなたはなぜ大学で写真を学ぼうとするのか、将来どのように写真と関わろうと考えるのかを述べなさい。</p>
映画 (演技を除く)	100分	1,000字程度	<p><小論文> 以下の文章を読み、あなたが感じたことを述べよ。 ※山口真美「赤ちゃんは世界をどう見ているのか」平凡社、2006年、12~14ページ</p>
美術 (彫刻コース 地域芸術専攻)	60分	800字以内	<p><小論文> 日本における芸術祭の可能性を述べなさい。</p>
音楽	60分	800字程度	<p><小論文> 次の三つのテーマの中から一つを選び、800字程度の小論文を書きなさい。 1 もっとも興味のある音楽作品 2 クラシック音楽の魅力を伝えるために必要なこと 3 理論コースで研究したいこと</p>
	60分	800字程度	<p><小論文> 次のテーマから1つを選び800字程度の小論文を書きなさい。 1 多様化する児童生徒に対応するために、音楽の授業や学級指導で配慮すべき事項を述べなさい。 2 音楽教員を目指す動機となった音楽体験について述べなさい。 3 学校での音楽活動が児童生徒に与える影響について述べなさい。</p>
	60分	800字程度	<p><小論文> 下記の題目から1題選択し、あなたの考えを800字程度で記述してください。記述の際には、どのように考える根拠を必ず述べてください。 解答用紙の題目欄には、論ずる内容を踏まえて、自由に題をつけて記載してください。 例:「1.仮想現実空間での音について」「2.発展途上国におけるライブ活動について」等 1 電子音響の今後の発展について。 2 あなたが持っている能力を、今後どのように活かしていくと考えているか。</p>
文芸	60分	800字以内	<p><小論文または作文> 次の二つのうち一つを選んで、文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください) 1 「何かにつまずいた人」が登場する作文を書いてください。 2 「嘘」について自由に論じてください。</p>

※上記は、昨年度試験内容であるため、2021年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。
 ※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2020年度(昨年度) 一般推薦(公募制) 入学試験実技科目(課題) 一覧

学科・コース	科 目 ・ 課 題
映 画 (演技)	<p>基礎的な音声及び身体表現</p> <p>発声 1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号（　　）番、（　氏名　）です。出身は（　都道府県名　）で、学校は（　学校名　）高校を卒業する予定です。年齢は、（　　）歳です。</p> <p>発声 2 次の文章を朗読してください。 ※嶋崎信房「小説 高倉健 孤高の生涯（下・流離編）」音羽出版、2015年、101ページ</p> <p>動 作 次の内容をしぐさのみで表現してください。</p> <p>〔設定〕高校生対象の映像作品コンテストの最終結果発表。入選校の部長は舞台上に並んで最終結果を待っている。 いよいよ金賞の発表。</p> <p>緊張して発表を聞いている。 自分の高校の名が発表された。 観客席にいる仲間と喜びを分かち合う。 賞状を受け取る。 すぐに観客席に行こうとする。 トロフィーの授与があるので戻るように促される。 トロフィーを受け取り、観客席へ戻る。 (そのまま退場してください)</p>
美 術	<p>実 技 油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 (6時間) <F15号キャンバス、画用紙または木炭紙 65cm×50cm></p> <p>[モチーフ] 牛骨 × 1 本 × 1 りんご × 1 パブリカ × 1 瓶 × 1 布 × 1</p>
	絵 画 (版画) 【当該専攻志願者なし】
	彫 刻 (彫刻) 【当該専攻志願者なし】
音 樂	作曲・理論 (作曲) ①作曲 ②ピアノ
	作曲・理論 (理論) ピアノ
	音楽教育 ①ピアノ ②声楽
	声 樂 【当該コース志願者なし】
	ピアノ ピアノ
	弦管打楽 ①それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 ②ピアノ
	情報音楽 演奏
演 劇	<p>ワークショップ テーマ：観客が0人、舞台上演をする？しない？</p> <p>1 ウォーミングアップ 10分 (シアターゲーム)</p> <p>2 ディスカッション 40分</p> <p>3 まとめ資料作成 20分</p>

学科・コース		科目・課題
		<p>1.演技 2.音感・リズム感</p> <p>①演技 (1)次の台詞を読みなさい。 ※ハイナー・ミュラー著、岩淵達治・谷川道子訳「ハムレットマシーン—シェイクスピア・ファクトリー」 『ハイナー・ミュラー・テクスト集1』未來社、1996年、6ページ</p> <p>(2)上記の台詞は、シェイクスピア『ハムレット』を解体し、再構成したものです。あなた自身を素材に1分程度のモノローグ（独白）を演じてください。 ただし、「私は○○だった。」（※○○には自分の名前が入る）で始めること。</p> <p>②音感・リズム感 (1)アカペラで一人ずつ歌う（自由課題） (2)パンプーダンスを用いたリズム表現</p>
演劇	舞台美術	<p>プレゼンテーション</p> <p>次の文章を発想の起点として、上演を想定した作品の舞台空間について自らのデザインをまとめ、指定の用紙にまとめなさい。用紙の裏面も使用しても構いません。作業時間は60分です。作業終了後に用紙は回収し、口頭発表時に返却します。（口頭発表 5分） ※清水邦夫「清水邦夫全仕事 1981～1991 上」河出書房新社、1992年、319～320ページ</p>
	舞踊 (日舞)	各自所属流派習得の任意の曲目を踊る
	舞踊 (洋舞)	<p>リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現</p> <p>①基本運動 ストレッチ ムーブメント</p> <p>②イメージによる動き 題『浮力』 ◆身体外部から水流を感じる（ポーズ約30秒） ◆水流水位の変化により次第に浮力を感じながら体で表現する。 (状況の変化を伝える。例えば、無重力、浮遊感、不安定感など、状態の変化や状況の過程などイメージで自由に動く）</p>
		<p>鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択</p> <p>①鉛筆によるデッサン（4時間）< B3画用紙></p> <p>与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可</p> <p>[モチーフ] スプレー式洗剤（液体入り） ×1 革手袋 ×1 電球 ×1</p> <p>条件 (1)机の上に置いてある「スプレー式洗剤（液体入り）」と「革手袋」「電球」をセットする。 固定にはねりゴムを使用してもよい。 (2)台紙は描かなくてもよい。 (3)配布したコピー用紙（A3）は下書きに使ってもよい。 (4)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。</p> <p>②デザインプレゼンテーション（4時間）< B3ケント紙+PMパッド1枚></p> <p>私たちの生活に関わる「通勤・通学」に関わる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。 この「通勤・通学」に対してデザインでどのような問題を解決できるのか具体的に提案してください。 もしくは、気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。 例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。</p> <p>条件 (1)用紙は2枚あります。PMパッド（薄い紙）1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由（持参した鉛筆、および配布された色鉛筆のみを使用すること） (3)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。 (4)用紙は2枚とも提出とし、2枚の総合評価とする。 (5)定規・コンパスは使用不可。</p>

※上記は、昨年度試験内容であるため、2021年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。
※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。



2021年度 その他の入学者選抜

●外国人留学生・帰国生選抜

出願資格・出願方法等の詳細は、日本大学ホームページを確認してください。

なお、出願受付は日本大学本部学務部入学課にて行います。

●校友子女選抜

出願資格・出願方法等の詳細は、9月上旬頃より頒布予定の「校友子女選抜要項」で確認してください。

なお、出願受付は本学部入試係にて行います（事前に日本大学校友会本部事務局にて、校友の子女であることの確認手続が必要となります）。

1 募集学科・コース及び募集人員

学科	コース	募集人員			
		外国人留学生	帰国生	校友子女	
写 真		各学科 2名	若干名	若干名	
映 画	映像表現・理論、監督、撮影・録音、演技				
美 術	絵画、彫刻	3名			
音 楽	作曲・理論、音楽教育、声楽、ピアノ、弦管打楽、情報音楽	若干名	若干名		
文 芸		3名			
演 劇	舞台構想、演技、舞台美術、舞踊	若干名	若干名		
放 送					
デザイン				15名	

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください

なお、学科・コースの併願はできません

※ 外国人留学生・帰国生入学試験の美術学科及びデザイン学科募集人員は、両方の入学試験の合計数となります

2 試験諸日程

内 容		期 日
出 願 期 間	校友子女	2020年11月27日(金)～12月4日(金)
	外国人留学生・帰国生	～2020年10月23日(金) ※1
試 験 期 日	校友子女	2020年12月13日(日)
	外国人留学生・帰国生	2020年12月13日(日)
合 格 発 表 期 日	校友子女	2020年12月22日(火)
	外国人留学生・帰国生	2020年12月22日(火)
入 学 手 続 期 間	校友子女	2020年12月22日(火)～2021年1月15日(金) ※2
	外国人留学生・帰国生	2020年12月22日(火)～2021年1月15日(金) ※2

※1 出願受付開始日については、日本大学ホームページを確認してください

※2 入学時納入金の納入については、校友子女選抜は入学手続期間内に一括納入となります。外国人留学生・帰国生選抜は、所定の手続を行うことにより、2021年3月18日(木)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)

●編入学・転部試験

本学部では、「欠員補充」という形で編入学試験（2年次、3年次）及び本学学部在学生を対象とした転部試験（2年次）を実施しています。

募集人員はいずれも若干名で、募集する学科・コースは年度により異なる場合があります。

なお、編入学試験（2年次）及び転部試験については、過去3年間において全学科・コースでの募集を行っています。

また、編入学試験（3年次）の過去3年間の募集状況については、下表を参照してください。

2021年度の募集については、5月頃に公開する予定です。詳細については、本学部ホームページを確認いただくか、本学部入試係までお問い合わせください。

なお、編入学試験（3年次）における美術学科及び演劇学科は、旧コース（専攻）に基づく試験を実施します。

【参考】編入学試験（3年次） 過去3年間の募集学科（コース）

年 度	募集学科（コース）
2018	美術学科（全コース）、音楽学科（全コース）、文芸学科、デザイン学科
2019	
2020	美術学科（全コース）、音楽学科（全コース）、デザイン学科

2020年度（昨年度） 編入学・転部試験結果

※募集人員は、各学科すべて若干名

学科・コース	編入学試験（2年次）			転部試験（2年次）			編入学試験（3年次）		
	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
写真学科	8(4)	8(4)	2(1)	1(0)	1(0)	0(0)	実施せず		
映画学科	映像表現・理論コース	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	実施せず		
	監督コース	3(1)	3(1)	1(1)	1(0)	0(0)			
	撮影・録音コース	3(0)	3(0)	1(0)	0(0)	0(0)			
	演技コース	4(3)	4(3)	1(1)	1(0)	0(0)			
	計	11(4)	11(4)	4(2)	3(0)	0(0)			
美術学科	絵画コース	2(2)	2(2)	2(2)	3(2)	3(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	彫刻コース	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	1(0)
	計	2(2)	2(2)	2(2)	3(2)	3(2)	1(0)	1(0)	1(0)
音楽学科	作曲・理論コース	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	音楽教育コース	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	声楽コース	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	ピアノコース	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	1(1)	1(1)
	弦管打楽コース	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	情報音楽コース	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	計	1(0)	1(0)	1(0)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
文芸学科	5(2)	5(2)	5(2)	2(0)	2(0)	0(0)	実施せず		
演劇学科	劇作コース	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	実施せず		
	演出コース	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)			
	演技コース	2(1)	2(1)	0(0)	1(1)	1(1)			
	装置コース	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	1(1)			
	照明コース	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)			
	日舞コース	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)			
	洋舞コース	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)			
	企画制作コース	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)			
放送学科	10(5)	10(5)	2(2)	4(2)	4(2)	0(0)	実施せず		
デザイン学科	3(0)	3(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	2(2)	2(2)
合 計	43(19)	43(19)	18(10)	16(7)	16(7)	5(4)	4(3)	4(3)	4(3)

() 内は女子内数

2021年度 音楽学科実技課題曲案内

(実技試験科目・課題曲及び注意事項)

作曲・理論コース

総合型選抜

a. 作曲志願者

①実 技

(1) 自作品の審査及び口頭試問

自作曲の楽譜(編成・長さは自由、最大3曲)を事前提出

(2) 作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

②面 接

b. 理論志願者

①実 技

(1) 音楽に関するレポートの審査及び口頭試問

音楽に関するレポート(書式・長さは自由、手書きに限る、最大2点)を事前提出

(2) 実技

任意の器楽曲または声楽曲の演奏

(暗譜が望ましい、繰り返しなし、器楽曲は伴奏なし、声楽曲の伴奏譜については、P.47を参照)

②面 接

学校推薦型選抜(公募制) / 学校推薦型選抜(付属高等学校等)

a. 作曲志願者

①実 技

(1) 作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

(2) ピアノ

任意のピアノ曲の演奏(暗譜が望ましい、繰り返しなし)

②面 接

※公募制受験者は自作曲の楽譜(編成・長さは自由、1曲)を出願期間内に提出してください。

b. 理論志願者

①実技及び小論文

(1) 小論文(80分・1,000字程度)

音楽に関する小論文

(2) 演奏

任意の器楽曲または声楽曲の演奏

(暗譜が望ましい、繰り返しなし、器楽曲は伴奏なし、声楽曲の伴奏譜については、P.47を参照)

②面 接

※公募制受験者は音楽に関するレポート(書式・長さは自由、手書きに限る、1点)を出願期間内に提出してください。

一般選抜A個別方式(第1期) / 外国人留学生・帰国情生選抜/校友子女選抜

a. 作曲志願者

①実 技

(1) 作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

(2) 和声または楽典(80分)

和声はソプラノとバスによる課題(転調を含む)を1題

(3) ピアノ

任意のピアノ曲の演奏(暗譜が望ましい、繰り返しなし)

②面 接

b. 理論志願者

①実技及び小論文

(1) 小論文(80分・1,000字程度)

音楽に関する小論文

(2) 楽典(80分)

任意の器楽曲または声楽曲の演奏
(暗譜が望ましい、繰り返しなし、器楽曲は伴奏なし、声楽曲の伴奏譜については、P.47を参照)

②面 接

一般選抜A個別方式(第2期)

a. 作曲志願者

①実 技

作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

②面 接

b. 理論志願者

①小論文(80分・1,000字程度)

音楽に関する小論文

②面 接

編入学試験(含む転部試験) 2年次

a. 作曲志願者

①書類選考

②実 技

(1) 作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

(2) 和声または楽典(80分)

和声はソプラノとバスによる課題(転調を含む)を1題

(3) ピアノ

任意のピアノ曲の演奏(暗譜が望ましい、繰り返しなし)

(4) ソルフェージュ

次のイ、ロのどちらかを選択してください。

イ. 聴音旋律書き取りを2題

ロ. 新曲視唱1題(8~12小節程度)

③面 接

b. 理論志願者

①書類選考

②実技及び小論文

(1) 小論文(60分・800字程度)

音楽に関する小論文

(2) 楽典(80分)

(3) ピアノ

任意のピアノ曲の演奏(暗譜が望ましい、繰り返しなし)

(4) ソルフェージュ

次のイ、ロのどちらかを選択してください。

イ. 聴音旋律書き取りを2題

ロ. 新曲視唱1題(8~12小節程度)

③面 接

編入学試験 3年次

a. 作曲志願者

①書類選考

②実技

持参作品に関する口頭試問

③面接

b. 理論志願者

①書類選考

②小論文 (60分・800字程度)

持参小論文に関する口頭試問

③面接

音楽教育コース

総合型選抜

①実技及び小論文

(1) 小論文 (60分・800字程度)

音楽に関する小論文

(2) ピアノ：任意のピアノ曲

(3) 声 楽：任意の声楽曲

伴奏楽譜については伴奏楽譜の提出について
(P.47を参照) の要領に従って郵送してください。

②面 接

学校推薦型選抜（公募制）/ 学校推薦型選抜（付属高等学校等）

①実技及び小論文

(1) 小論文 (60分・800字程度)

音楽に関する小論文

(2) ピアノ

W. A. Mozart または L. v. Beethoven のピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください（繰り返しなしで、暗譜とします）。

(3) 声楽

声楽コース実技共通課題の課題曲Aまたは課題曲Bの中から1曲を選び、暗譜で歌ってください。
伴奏楽譜については伴奏楽譜の提出について(P.47を参照) の要領に従って郵送してください。

②面 接

一般選抜A個別方式（第1期）/ 外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

①実技及び小論文

(1) 小論文 (60分・800字程度)

音楽に関する小論文

(2) 楽典 (60分)

(3) ピアノ

W. A. Mozart または L. v. Beethoven のピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください（繰り返しなしで、暗譜とします）。

(4) 声楽

声楽コース実技共通課題の課題曲Aまたは課題曲Bの中から1曲を選び、暗譜で歌ってください。
伴奏楽譜については伴奏楽譜の提出について(P.47を参照) の要領に従って郵送してください。

②面 接

一般選抜A個別方式（第2期）

①実技及び小論文

(1) 小論文 (60分・800字程度)

音楽に関する小論文

(2) ピアノ

W. A. Mozart または L. v. Beethoven のピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください（繰り返しなしで、暗譜とします）。

(3) 声楽

声楽コース実技共通課題の課題曲Aまたは課題曲Bの中から1曲を選び、暗譜で歌ってください。

伴奏楽譜については伴奏楽譜の提出について(P.47を参照) の要領に従って郵送してください。

②面 接

編入学試験（含む転部試験）2年次

①書類選考

②実技及び小論文

(1) 小論文 (60分・800字程度)

音楽に関する小論文

(2) 楽典 (60分)

(3) ピアノ

W. A. Mozart または L. v. Beethoven のピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください（繰り返しなしで、暗譜とします）。

(4) 声楽

声楽コース実技共通課題の課題曲Aまたは課題曲Bの中から1曲を選び、暗譜で歌ってください。
伴奏楽譜については伴奏楽譜の提出について(P.47を参照) の要領に従って郵送してください。

(5) ソルフェージュ
聴音旋律書き取りを2題

③面 接

編入学試験 3年次

①書類選考

②小 論 文 (60分・800字程度)

音楽に関する小論文

③面 接

声楽コース

総合型選抜

①実 技

声楽（声楽曲及びコールユーブンゲン）
声楽コース実技共通課題に準じる。

②面 接

学校推薦型選抜（公募制）/ 学校推薦型選抜（付属高等学校等）

①実 技

声楽（声楽曲及びコールユーブンゲン）
声楽コース実技共通課題に準じる。

②面 接

一般選抜A個別方式（第1期）/ 外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

①実 技

声楽（声楽曲及びコールユーブンゲン）
声楽コース実技共通課題に準じる。

(2) 楽典 (60分)

(3) ピアノ

任意のピアノ曲（ソナチネ程度以上：繰り返しなしで、暗譜が望ましい）

②面 接

一般選抜A個別方式（第2期）

①実 技

声楽（声楽曲及びコールユーブンゲン）
声楽コース実技共通課題に準じる。

②面 接

編入学試験（含む転部試験） 2年次

①書類選考

②実 技

(1) 声楽

声楽コース実技共通課題に準じる。

(2) 楽典 (60分)

(3) ピアノ

任意のピアノ曲（ソナチネ程度以上：繰り返しなしで、暗譜が望ましい）

(4) ソルフェージュ

F. Wüllner コールユーブンゲン（全訳版）第1巻48番～85番より2曲指定した中から1曲を選んで歌ってください。

③面 接

編入学試験 3年次

①書類選考

②実 技

声楽

自由曲（歌曲1曲及びオペラ・アリア1曲）

③面 接

【声楽コース実技共通課題】

次の課題曲A・課題曲Bより各2曲ずつ選曲してください。当日は選曲した課題曲A・課題曲Bより1曲ずつ指定しますので、課題曲に続けて自由曲1曲を歌ってください。自由曲は課題曲Aまたは課題曲Bより選曲しても構いませんが、選択した4曲と重複してはいけません。いずれも原語で暗譜とします。また、各曲の調性は任意とします。

伴奏楽譜（全5曲）については伴奏楽譜の提出について（右欄を参照）の要領に従って郵送してください。

また、F. Wüllner コールユーブンゲン（全訳版）第1巻48番～85番より2曲指定した中から1曲を選んで歌ってください。

課題曲A イタリア歌曲

1 MANCIA, L.	Star vicino
2 SCARLATTI, A.	Già il sole dal Gange
3 SCARLATTI, A.	Sento nel core
4 BONONCINI, G. B.	Per la gloria d'adorarvi
5 GASPARINI, F.	Lasciar d'amarti
6 DURANTE, F.	Vergin, tutto amor
7 作者不詳	Nina
8 GASPARINI, F	Caro laccio
9 PAISIELLO, G.	Nel cor più non mi sento
10 GIORDANI, T.	Caro mio ben

※作曲者は全音楽譜出版社のイタリア歌曲集〔新版〕による
課題曲B 日本歌曲

1 土井晩翠 作詞	滝廉太郎 作曲	荒城の月
2 武島羽衣 作詞	滝廉太郎 作曲	花
3 吉丸一昌 作詞	中田章 作曲	早春賦
4 勝田香月 作詞	杉山長谷夫 作曲	出船
5 鹿島鳴秋 作詞	弘田竜太郎 作曲	浜千鳥
6 林古溪 作詞	成田為三 作曲	浜辺の歌
7 北原百秋 作詞	山田耕筰 作曲	鐘が鳴ります
8 北原百秋 作詞	山田耕筰 作曲	この道
9 清水重道 作詞	信時潔 作曲	行々子
10 北見志保子 作詞	平井康三郎 作曲	平城山

楽譜は下記の出版社のものを使用してください。

●A. イタリア歌曲

全音楽譜出版社 イタリア歌曲集〔新版〕

●B. 日本歌曲

全音楽譜出版社 日本名歌110曲集

●自由曲

オペラ・アリアを歌う場合、作曲者、オペラの題名、ア

リアの題名を明記し、原語・原調で歌うこと。（ただし、習慣的に認められている歌劇「連隊の娘」をイタリア語版で歌うことや、歌劇「セビリアの理髪師」より「今の歌声は」をへ長調で歌うことは認める。わからないことがある場合は必ず確認すること。）

オペラ・アリア集、または絶譜（スコア）として出版されている楽譜をコピーして提出すること。

伴奏楽譜の提出について

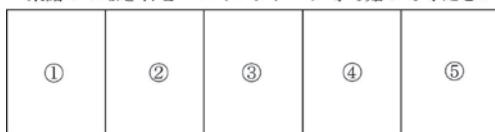
●伴奏楽譜は、演奏の都合上、ヨコ22cm、タテ30cmの台紙に、楽譜を貼付してください。楽譜が2ページ以上のときは、全ページに台紙を貼りテープ等で折本仕立てに製本してください（図を参照）。ページの欠損に注意して、当日演奏できる完成品を送付してください。

なお、表紙に志望コース、受験番号（事前に分かっているとき）、氏名、曲名、調性を必ず記入してください。

※移調などの理由で楽譜を自作する場合は、指定する出版社のものに準じ、鮮明な自筆又はコンピュータ静書のものを製本してください。

製本の仕方（5ページの場合）

- ・表紙裏を楽譜1ページ目にしてください。
- ・楽譜のつなぎ目をマスキングテープ等で貼ってください。



●郵送先 〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1
日本大学芸術学部音楽学科入試伴奏譜係

ピアノコース

総合型選抜

①実 技

ピアノ

課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる（P.48を参照）

②面 接

学校推薦型選抜（公募制） / 学校推薦型選抜（付属高等学校等）

①実 技

ピアノ

課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる（P.48を参照）

②面 接

一般選抜A個別方式（第1期）/ 外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

①実 技

(1) ピアノ

課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる（P.48を参照）

(2) 楽典 (60分)

②面 接

一般選抜A個別方式（第2期）

①実 技

ピアノ

任意のピアノ曲

②面 接

編入学試験（含む転部試験）2年次

①書類選考

②実 技

(1)ピアノ

課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる（下欄を参照）

(2)楽典（60分）

(3)ソルフェージュ

聴音旋律書き取りを2題

③面 接

編入学試験 3年次

①書類選考

②実 技

ピアノ

8分以上の自由曲

③面 接

【ピアノコース実技共通課題】

次のA、B群より各1曲を選び、合計2曲を演奏してください（いずれも繰り返しなしで、暗譜とします）。

A 練習曲またはJ.S.Bach 平均律ピアノ曲集

次に指定する（イ）～（ニ）より1曲を演奏してください。ペダルの使用は、任意とします。

- （イ）M. Moszkowski 15の練習曲（15 Études de Virtuosité Op.72）より任意の1曲
- （ロ）J. B. Cramer=Bülow 60練習曲（60 Ausgewählte Etüden）より任意の1曲
- （ハ）F. F. Chopinの練習曲Op.10またはOp.25より任意の1曲
- （ニ）J. S. Bach平均律ピアノ曲集第1巻または第2巻（Das Wohltemperierte Klavier Teil I, II）より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

B ソナタ

W. A. Mozart またはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください。

弦管打楽コース

総合型選抜

①実 技

それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器

任意の楽曲または練習曲（自分の能力を最大限アピールできる楽曲を選曲のこと）

②面 接

学校推薦型選抜（公募制）/

学校推薦型選抜（付属高等学校等）

①実 技

それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器

課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる。（右欄を参照）

②面 接

一般選抜A個別方式（第1期）/

外国人留学生・帰国情選抜/校友子女選抜

①実 技

(1) それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器

課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる。（右欄を参照）

(2) 楽典（60分）

(3) ピアノ

任意のピアノ曲（ソナチネ程度以上：繰り返しなしで、暗譜が望ましい）

②面 接

一般選抜A個別方式（第2期）

①実 技

それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器

課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる。（下欄を参照）

②面 接

編入学試験（含む転部試験）2年次

①書類選考

②実 技

(1) それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器

課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる。（下欄を参照）

(2) 楽典（60分）

(3) ピアノ

任意のピアノ曲（ソナチネ程度以上：繰り返しなしで、暗譜が望ましい）

(4) ソルフェージュ

次のイ、ロのどちらかを選択してください。

イ. 聽音旋律書き取りを2題

ロ. 新曲視唱1題（8～12小節程度）

③面 接

編入学試験 3年次

①書類選考

②実 技

それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器

8分以上の自由曲

③面 接

【弦管打楽コース実技共通課題】

弦楽器

各楽器の課題曲は次の通りです。（伴奏なし）すべて暗譜で演奏してください。

●ヴァイオリン

任意の楽曲または練習曲

●ヴィオラ

任意の楽曲または練習曲

●チェロ

任意の楽曲または練習曲

●コントラバス

任意の楽曲または練習曲

●ギター

F. Sor または M. Giuliani または F. Tárrega のいずれかの独奏曲

管楽器

各楽器の課題曲は次の通りです。（伴奏なし）

●フルート

次の[1]～[3]よりいずれか1つを選択し、演奏してください

[1] W. A. Mozart : Concerto in G major K. 313 より第1楽章（カデンツァを除く）

[2] W. A. Mozart : Concerto in D major K. 314 より第1楽章（カデンツァを除く）

[3] 任意の楽曲または練習曲

●オーボエ

W. Ferling:48 Etudes または L. Wiedemann:45 Etudes より任意の1曲

●クラリネット

次の[1]または[2]を演奏してください。

[1] C. Rose:32 Etudes 1番～12番より当日指定します。

[2] C. M. v. Weber:Concertino Es dur Op. 26 (全曲)

演奏部分は当日指定します。

●ファゴット

J. Weissenborn:Fagott Studien Op. 8 第2巻のNo. 6, 8, 10, 13, 15 より当日指定します。

●サクソフォーン（アルトサクソフォーンで受験すること）

M. Mule:Quarante-Huit Études, d'après Ferling (A.

Leduc版)より任意の奇数番号1曲及び任意の偶数番号1曲(計2曲)

●ホルン

C.Kopprasch:60 Etudes for Horn(全音楽譜出版社No.3と9の計2曲)

●トランペット

次の4曲より任意の1曲

J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. 3 Fantaisie Brillante Var. Iまで

J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. 5 The Beautiful Snow(Variations on a song)Var. IIまで(くり返しなし)

J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. 11 Fantaisie and Variations on The Carnival of Venice Var. Iまで

G. F. Handel (Transcribed by Bernard Fitzgerald):Aria con Variazioni Var. IIIまで(くり返しなし)

●トロンボーン

次の[1]及び[2]を演奏してください。

[1] The Remington Warm-Up Studies (Donald Hunsberger編/Accura Music版) 31ページ Ex. 40 (リップスラー)

[2] C. Kopprasch:60 Etudes for Trombone(全音楽譜出版社)No. 3~12より当日指定します。(くり返しなし)

●ユーフォニウム

次の[1]及び[2]を演奏してください。

[1] The Remington Warm-Up Studies (Donald Hunsberger編/Accura Music版) 31ページ Ex. 40 (リップスラー)

[2] J. Rochut:Melodious Etudes for Trombone (Carl Fischer版) No. 2, 6, 8より当日指定します。

●テューバ

C. Kopprasch:Sixty Selected Studies For Tuba (Robert King版)のNo. 4, 7, 12, 14, 15より当日指定します。(くり返しなし)

打楽器

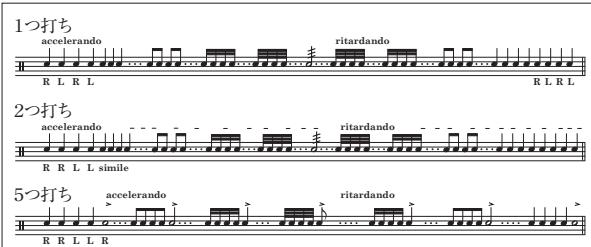
各楽器の課題曲は次の通りです。(伴奏なし)

a. 小太鼓受験者

次の[1]及び[2]を演奏してください。

[1] 基本奏法-1つ、2つ、5つ打ちより当日指定します(練習台を使用します)。

[2] M. Goldenberg:Modern School for Snare Drum (Alfred版)のRoll Exercise in 4/4(46ページ), Etude in 4/4(47ページ)より当日指定します。



b. マリンバ受験者

次の[1]及び[2]を演奏してください。

[1] 小太鼓の基本奏法-2つ打ち(練習台を使用します)

[2] 任意の楽曲または練習曲

情報音楽コース

総合型選抜

①実技

プレゼンテーション(演奏及び演奏解説)

任意の楽曲を演奏(5分程度)及び演奏楽曲にまつわる解説(3分程度)

演奏については、任意の楽器または歌唱によるもので、自由曲とします。使用する楽器は、各自持参していただきます。なお、エレクトーン、コントラバス、マリンバのような大型楽器は大学で用意することもできます。歌唱や演奏は、必ず自分自身でおこなってください。ただし、伴奏などの補助的な部分はCDなどの音源を用いても構いません。また、歌唱でピアノ伴奏を希望する場合は、その楽譜を「伴奏楽譜提出について」(P.47を参照)の要領に従って郵送してください。

用いても構いません。また、歌唱でピアノ伴奏を希望する場合は、その伴奏楽譜を「伴奏楽譜の提出について」(P.47を参照)の要領に従って郵送してください。

演奏解説では、コンピュータなどの機器の使用は認めません。

②面接

学校推薦型選抜(公募制) /
学校推薦型選抜(付属高等学校等)

①実技及び小論文

(1) 口頭試問

持参した演奏動画に対する口頭試問
自分が演奏している動画をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるように準備して持参してください。動画は演奏者の顔及び全身が確認できるものとします(P.52のサンプル画像を参照)。また、動画の音源は編集しないこと。

(2) 小論文(60分・800字程度)

②面接

一般選抜A個別方式(第1期)/
外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

①実技

(1) プrezentation(演奏及び演奏解説)

任意の楽曲を演奏(5分程度)及び演奏楽曲にまつわる解説(3分程度)
詳細については、上記「総合型選抜」と同様。

②面接

一般選抜A個別方式(第2期)

①小論文(80分・800字)

情報音楽に関する小論文

②面接

編入学試験(含む転部試験) 2年次

①書類選考

②実技及び小論文

(1) 小論文(60分・800字程度)

(2) 演奏またはソルフェージュ

【演奏で受験する者】

演奏は、任意の楽器または歌唱によるもので、自由曲とします。使用する楽器は、各自持参していただきます。なお、エレクトーン、コントラバス、マリンバのような大型楽器は大学で用意することもできます。歌唱や演奏は、必ず自分自身でおこなってください。ただし、伴奏などの補助的な部分はCDなどの音源を用いても構いません。また、歌唱でピアノ伴奏を希望する場合は、その楽譜を「伴奏楽譜提出について」(P.47を参照)の要領に従って郵送してください。

【ソルフェージュで受験する者】

次のイ、ロ、ハより2科目を選択してください。

イ. F. Wüllner コールユーブンゲン(全訳版) 第1巻 48番~85番より当日指定します。

ロ. 聴音 旋律書き取りを2題

ハ. 新曲視唱1題(8~12小節程度)

③面接

編入学試験 3年次

①書類選考

②小論文(60分・800字程度)

情報音楽に関する小論文

③面接

学部 Q & A

総合

Q 一般選抜 A個別方式の学力検査について教えてください。

A 一般選抜 A個別方式では、学力検査として外国語（英語）、国語の試験を課しています。いずれも全問マークシート方式で、60分、100点満点となっています。

英語の出題は、高等学校等まで教わる範囲内の長文読解力、会話表現能力、文法・語法の知識、及び語彙力を試す内容となっています。英語の試験を課しているのは、入学後の学習と卒業後の進路に英語力の有無が大きく影響するからです。皆さんもご承知のとおり、今の世の中はグローバル化が急速に進展し、どのような分野にあっても英語でのコミュニケーション能力が不可欠になっています。そのため本学部では、入学者に高等学校等卒業程度の英語力を要求し、入学後にさらにその能力に磨きをかけて、国際的にも活躍できる人材の育成をめざしているために必要な試験なのです。

国語の学力試験は、国語総合（漢文を除く）が出題範囲となっています。試験の特徴は、全学科の学生に古文や文学史の知識が要求されていることです。これは、本学部が芸術の総合学部であり、入学後の皆さんのが学科の枠を超えて勉強するときに必要となる基礎的な学力が求められているからです。日常的にどれだけ活字に触れているかが合否を大きく左右するのは言うまでもありません。

なお、学力試験（英語、国語）2科目の合計点が200点満点中60点未満の者は、総合点が合格最低点を超えていても自動的に不合格となります。

Q 一般選抜 A個別方式の場合、実技試験だけの基準点はありますか？

A 学力検査と専門試験を合わせた総合成績の上位から合格となるので、基準点はありません。

Q 小論文・作文試験について教えてください。

A 小論文は、与えられたテーマに対して、真正面から捉え、短時間に思考を整理し、与えられた字数の中で、自分の言葉で文章として論理的に表現できるか、ということが問われます。

作文は、与えられたテーマから受けたイメージを、決してテーマからそれることなく、自分の感性や創造力を十分に發揮しながら、文章を創作してゆくことを求められます。もちろん、自分が体験したことを率直に書いて構いません。

どちらも、自分らしく述べること（オリジナリティ）が必要ですし、原稿用紙の基本的な使い方も身につけておく必要があります。

Q 実技試験について教えてください。

A 映画学科演技コース、演劇学科演技、舞踊コース（他コースでは、一部入学試験で実施）と、美術学科、音楽学科、デザイン学科において実施しています。

このうち、演劇学科の舞踊コースと、美術学科、音楽学科、デザイン学科の実技については、ある程度の経験を必要とします。これまで全く経験のない方については、人一倍の努力が必要となるでしょう。

一方、映画学科、演劇学科の演技コースについては、全く経験のない方でも十分対応することが可能です。

両演技コースの試験では、役者としての「素質」があるかどうかを見ます。その際、映画学科では発声、表情、身体の表現力などについて、演劇学科では発声、音感、リズム感、観察力やしぐさの柔軟さ（舞台上における感覚の保ち方と表現に対する方向性）などの観点からそれぞれ見ています。

Q 面接試験について教えてください。

A 一般選抜 N全学統一方式（第1期）を除くすべての学科・コースで実施します。

形式は、学科・コースによって若干異なりますが、複数の面接官に対し受験生1人を基本としています。

1人あたりの面接時間はおよそ10分から15分、結果については点数化し、その他の試験との総合点で判定を行います。配点は学科・コースにより異なります。

原則として、専門知識は問いません。熱意や目的意識、すなわち大学で何をやりたいか、将来何をめざしているのか、などを聞くのがねらいです。

Q 総合型選抜を受験して不合格となった場合、学校推薦型選抜（公募制）や一般選抜を受験することは可能でしょうか？また、その場合の志望学科は同じでなければならないのでしょうか？

A 総合型選抜に不合格となった場合でも、学校推薦型選抜（公募制）や一般選抜を受験することは可能です。また、その際の志望学科が異なっても構いません。実際、総合型選抜で不合格になつても一般選抜等で合格している受験生も多くいます。

Q 単位制高校または通信制高校に所属しており、2年間で3年分の単位を修得したのですが、学校推薦型選抜（公募制）に出願することは可能ですか？

A 調査書に必ず学年ごとに評定が記載されていることが出願条件になるので、出願することはできません。

写真学科

Q 一般選抜に実技試験はないようですが、写真技術の経験などがなくても大丈夫ですか？

A 写真を一から学べるカリキュラムになっていますので、写真の技術的な経験はなくても大丈夫です。入学後に、しっかりと勉強して技術を習得すれば、写真を使いこなすことができます。ただし、ある程度の専門知識や技術を持っていることが望ましいことは言うまでもありません。

Q カメラなどの機材や制作施設は大学で借りられますか？

A 作品制作の中心となるデジタル一眼レフカメラ、プリンター、パソコン等は個人での所有をしていただきます。フィルム用一眼レフカメラ、大判カメラ、大型デジタルプリンターについては大学のものを利用できます。また、スタジオや暗室、デジタルフォトラボも貸し出しを行っています。

Q カメラなどの機材は、どの程度のものを持っていればよいのでしょうか？

A 写真を専門的に学ぶためには、現状主流のデジタル一眼レフカメラやプリンター、パソコンなどの機材は必須です。また、自分自身の表現や研究のための機材ですので、自分自身の制作傾向、将来の目的に合った機材が必要となります。さらに、フィルムによる写真制作をしたい場合は、フィルムカメラなどの機材もあるといいでしょう。必要な機材については、入学後の授業で詳しくご紹介します。

Q 写真学科が指定するポートフォリオについて教えてください。

A 写真学科が指定するポートフォリオは以下の通りです。「探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の活動、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。また、写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル（20ポケット・40頁以内）とする」

Q 学校推薦型選抜（公募制）の持参作品等について教えてください。

A 高等学校等で積極的な写真活動をしてきた方に、その成果を提示していただきます。コンクールで受賞や入選の実績がある場合は、作品とともに賞状または作品が掲載された印刷物を持参してください。受賞・入選作を含む持参作品は、A4からA3あるいは六つ切から四つ切の黑白あるいはカラープリント10点以上としてください。また、活動を客観的に説明できるものとして、展覧会の記録写真や作品の掲載された学校新聞などをお持ちいただいても結構です。

映画学科

Q 映画学科では、映画配給などの映像ビジネスについて、勉強することはできますか？

A 映像表現・理論コースでは、映画ビジネスやマネージメントに関する授業を開講します。特に理論・批評専攻では映像理論や映画史を学びながら、将来の映画ジャーナリストや映画研究者だけでなく、企画者や配給会社などの映画ビジネスに携わる人材の育成も目指しています。

Q 将来は脚本家をめざしているのですが、映画学科で脚本を学ぶには映像表現・理論コースを選択すればいいのですか？

A 映画学科では数多くシナリオに関連する講座を開講しています。映像表現・理論コースは2年次からシナリオ専攻があり、シナリオライターをめざした専門教育が用意されています。1年次は映像理論や創作研究と共にシナリオ執筆の基礎を学びます。

Q 映像表現・理論コースでは、2年次以降の専攻はどのように決めるのですか？

A 基本的には本人の希望を尊重しますが、1年次の授業出席や課題提出の期限厳守など、勉学に対する姿勢を鑑みながら、相談の上で決定します。

Q 映画学科の施設について教えてください。

A 同時録音可能な大・中撮影スタジオ、微速度撮影や顕微鏡撮影が可能な小撮影スタジオ、16mm、35mm映写機に加えDLPシネマプロジェクターを備えた上映施設、現像の基礎となる工学・化学の研究、分析、処理を行う総合ラボラトリ、大小7つの録音スタジオ、アニメーション室、ネガ・ポジ編集室、ビデオ編集室、ハイビジョン制作システム、映画美術制作室、照明特殊機材倉庫、映画メーキャップ室など、映画制作に必要な環境が整っています。

Q 総合型選抜映画学科の適性試験とはどのようなものを行うのですか？

A コースによって試験内容が変わりますが、作文、実技（撮影、身体表現、文章による創作、プレゼンテーションなど）、批評などを含みます。どのような適性試験になるかは、その時の映画や映像を取り巻く環境によって変化するでしょう。

Q 演劇学科の演技コースと授業内容はどう違いますか？

A 俳優として必要な演技の“基礎”は両学科に共通ですが、映像と舞台に関する学科内容の違いから、映画学科の場合は「発声」、「音楽」、「日舞」、「洋舞」など、幅広く科目を設置している点に特徴があります。

Q アニメーションを勉強したいのですが、どのコースが適していますか？

A アニメーション専門のコースはありませんが、複数のアニメーションの講座があります。アニメーションの作品創作の学習が目的なら、講座の中だけでなく、卒業のための作品としてアニメーション制作できる映像表現・理論コース、監督コース、撮影・録音コースが良いでしょう。

Q 演技コースの実技試験用に着替える部屋はありますか？

A 特に着替えは必要とせず、動きやすい普段着で構いません（更衣室は設けません）。

Q 実技試験に要する時間教えてください。

A 演技コースの受験生は、面接試験等の待ち時間も含め、ほぼ半日から一日の間拘束されます。一連の実技試験を同じ会場で通して行い、練習時間を最低10分設けています。試験の所要時間は5分以内です。

美術学科

55ページをご覧ください。

音楽学科

Q 受験曲目の届出は、いつ行うのですか？

A 音楽学科受験生は、全員、「受験曲目等」を指定された期日までに学科サイトより入力し、自分の受験曲目を届け出なければなりません。詳細については、各募集要項にて指示します。

Q 情報音楽コースについて教えてください。

A 情報音楽コースでは、プログラミングなどの情報処理技術とともに、音楽理論や音楽表現を十分に学習します。詳細については、情報音楽コースホームページをご覧ください（www.micnuart.com）。

Q 情報音楽コースの実技試験では、どのようなジャンルの楽器や歌が多く選ばれるでしょうか？また、電子楽器の使用はどの程度認められるのでしょうか？

A 情報音楽コースの「演奏」試験では、歌唱、クラシック楽器、ポピュラー楽器、尺八、笙などの邦楽器、民族楽器など多岐にわたっています。電子楽器では、エレキギター、エレクトーン、シンセサイザー、ターンテーブルなどで受験しています。演奏のジャンルや楽器によって得点に差が出ることはありませんが、自分の音楽性を十分に發揮できる楽器選択や曲目選択が重要です。

演奏については、基本的には独奏となります。ただし、歌唱の場合は大学で伴奏者を用意していますが、弾き語りも大歓迎です。

曲目に関しては、器楽ではソナタレベル、歌唱では歌曲、アリアが中心ですが、高等学校教材レベルの曲目やポピュラー音楽の演奏でも合格しています。中にはオリジナル曲で受験する人もいます。無理をして高いレベルの曲の演奏ができれば良いということではなく、あくまでも自分の音楽性を十分にアピールできる曲を選択すると良いでしょう。

時間については、これまでの平均では、歌唱では3～5分程度となっています。長い場合には途中で演奏を中止とすることがありますが、減点はされません。

Q 情報音楽コースの学校推薦型選抜における映像データはどのような形で提出しますか？また、どのような映像が好ましいですか？

A データの事前提出はありません。口頭試問の際に動画を見せていただきます。試験当日に自分のスマートフォンやタブレット端末、PCで再生できるようにしてください。また、バンド活動などの映像でも構いませんが、必ず本人と分かる映像で、顔ならびに全身が確認できるものとします（以下のサンプル画像を参考にしてください）。演奏時間は3分～5分程度で結構です。



学校推薦型選抜 演奏動画サンプル

Q 課題曲はいつごろ決まりますか？また講習会はありますか？

- A 課題曲については、45～49ページをご覧ください。また、音楽学科志望者を対象とした受験準備講習会を開催しています。毎年受験希望者の大半が参加しており、高校3年生だけでなく高校1・2年生の参加も可能です。なお、受講には事前の申込み及び受講料が必要になります（詳細は音楽学科ホームページにて発表します）。

参加希望者は、本学部音楽学科WEBサイトより申込みをしてください。

〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1 日本大学芸術学部音楽学科講習会係

☎ 03-5995-8240 ☎ 03-5995-8249 ☐ ongaku@nihon-u.ac.jp



Q 大学内に練習施設はありますか？

- A 練習室が30室程度、ピアノが40台程度設置されています。使用時間は9:00～21:00の間で利用できます。使用料は無料です。

Q ライブやコンサートの音響を学ぶことはできますか？

- A スタジオでの音楽制作が中心ですが、ライブやコンサートの音響技術者になる者も多数います。

文芸学科

Q 学生の作品発表の機会はありますか？

- A 授業の中で年1回ゼミ雑誌を作成・発行する機会があり、その中で各自の創作を発表することができます。さらに、文芸学科の学生は、入学と同時に江古田文学会（文芸学科学生、芸術学部校友により構成）の学生会員となり、文芸誌『江古田文学』（年3回発行、市販）において創作、批評などの執筆作品発表の機会があります。

Q 主な設備について教えてください。

- A 文芸学科には、パソコン（ネットワーク接続）を多数設置したコンピュータ室があります。DTP（パソコン画面上での編集・版下制作）に使用されるソフトウェア（InDesign等）もインストールされ、ゼミ雑誌作成のほか、学生個人の創作物等にも利用が可能です。また、多くの文芸関係専門書を取りそろえた文芸学科資料室があり、読書・自習の場として活用されています。

Q 他の大学の文学部と同じ内容でしょうか？

- A 文学部とは違います。文学を小説や批評といった創作活動、またジャーナリズムの幅広い表現活動の両面でとらえ、その養成を目的とした、文芸表現主体の学科です。

Q 文芸学科ではどのような資格を取得できますか？

- A 文芸学科では、中学校・高等学校の「国語」の教員免許状を取得するための科目を開講しています。また、図書館の司書資格、および学校図書館の司書教諭資格を取得するための課程も開かれており、文芸学科生も数多く履修しています。そのほか、博物館の学芸員資格を取得するための課程も設置されており、一部の文芸学科生は履修しています。これらの資格課程の履修には、追加の学費はかかりません。

Q 「学科指定施設内の資料の参考も可」と書いてある試験がありますが、どのような試験形式でしょうか。

- A 一般選抜A個別方式（第2期）の小論文・作文試験では、辞書の持ち込みが可能（電子辞書は不可）なほか、文芸学科資料室に所蔵されている図書や雑誌等を、自由に閲覧しながら解答することができます。試験会場も教室に受験番号順に座る形式ではなく、学科施設の多様な空間から、自由に好きな場所を選んで座ることができます。皆さんのが日常的に文章を書く時と近い環境で、日頃培ってきた執筆能力を發揮して頂ければと考えています。

演劇学科

Q 舞台構想コースの専攻と入学試験について教えてください。

- A 舞台構想コースには「劇作専攻」「演出専攻」「音響専攻」「舞台監督専攻」「企画制作専攻」の5専攻があります。1年次はこれらの分野を多角的に複数学び、2年次へ進級する際、学科へ志望専攻を申請してもらいます。入学試験では、将来どの専攻を志望するかによらず、全員同じ科目を受験します。

Q 舞台美術コースの専攻と入学試験について教えてください。

- A 舞台美術コースでは、4月の学科ガイダンス時に「美術（装置）専攻」「照明専攻」のどちらを志望するか学科に申請してもらいます。しかし、入学試験では、舞台美術コースを志願する受験生は、両専攻志望とも、同じ科目で受験します。実技試験（プレゼンテーション）は、資料作成（60分）とそれを用いた口頭発表（5分程度）を行う予定です。

Q 舞踊コースの実技試験について教えてください。

A 実技科目の「日舞」と「洋舞」から一つを選択してください。その際、志望する専攻に合わせた科目を選択してください。
また出願後、「募集要項」に従ってどちらを選択するかを郵送にてお知らせください。

Q 試験科目であるワークショップについて教えてください。

A 一般選抜及び総合型選抜を除き、舞台構想コースにおいて、複数人数でのグループワークを行います。個人の発想力、技術力ともに、グループでの協調性、コミュニケーション力に着目します。

放送学科

Q 情習施設にはどのようなものがありますか？また、その施設では実際にどのような授業が行われているのか、教えてください。

A 施設としてはデジタルハイビジョン・テレビスタジオ2つ、5.1chデジタル仕様などの録音スタジオ4つ、多数のビデオ編集室のほか、ビデオ収録車やCDライブラリーなどがあります。それぞれのスタジオは現在のテレビ局・ラジオ局とほぼ同じ機能を持っています。また、すべてをデジタルネットワークでつなぎ、多様な実習が行えるようになっています。

スタジオを使っての実習は、1年次から行われ、企画から番組完成までのプロセスをくり返し実作しながらトレーニングしていきます。さらには、受講生の個性的な企画を取り上げ、それぞれの創造力を引き出すよう配慮しています。また、テレビカメラをはじめとして、照明設備、音声調整卓の操作などの技術面の実習、屋外でのロケーションや取材・音楽録音の実習なども行います。

Q 実習の分野にはどのようなものがありますか？また、どのようにして履修するのか、教えてください。

A 放送学科は2020年度から実習の分野を「テレビ制作」「ラジオ制作」「映像技術」「音響技術」「CM」「脚本」「アナウンス」の7つとし、入学後にこの中から1つを選び、1年次後期、2・3年次と段階制で履修します。原則として、登録を行えば誰でも希望する実習を履修することができます。

Q 声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を目指しているのですが、放送学科ではそのための勉強はできますか？

A 声を使った職業は多岐にわたりますが、放送学科は放送局（テレビ・ラジオ）のアナウンサーを志望する者の育成をめざしています。人と話しかけることが好きで、自分の言葉で人に何かを伝えることに強い志を持つ者を求めます。声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を育成するための授業は設けていません。

デザイン学科

57ページをご覧ください。

美術学科

Q 美術学科の特徴を教えてください。

(A) 絵画コース絵画専攻では、絵画の基礎および普遍性を重んじ、西欧近代以降の色、形、コンポジションそして絵画空間の考え方を主軸としたカリキュラムにより、4年間じっくりと腰を据えて「絵画」を学び「絵」を描くことができます。また、版画専攻では、「感性を刺激する」ために、イメージ描写やドローイング、基礎的な素材や色彩にこだわり「紙」と「版表現」の可能性を探ります。そして、「表現を広げる」ために、活版による絵本制作やペンによるイラスト、ポートフォリオ、アートブックなどで、表現を深めていきます。

彫刻コースは、彫刻専攻に加え新たに地域芸術専攻が加わりました。彫刻専攻では、造形芸術における形の問題を、昨今忘却がちな基礎の反復と研究によって追求し、自らの表現に繋げていきます。また地域芸術専攻では、社会が抱える問題をアートの力を使って、直接社会と繋がりながら、人の心を豊かにするための実践力を身につけます。両専攻とも外部での発表を積極的に行っており、社会との接点を多数設けています。

Q 絵画コースに日本画の授業はありますか？

(A) 本学科では日本画の授業は開講していません。

Q 彫刻コース地域芸術専攻の受験を考えているのですが、彫刻にかかる実技経験は必要ですか？

(A) 1年次のカリキュラムの中で、「デッサン基礎」や「造形基礎」などの初步的な技術指導がありますので、受験段階での実技経験の有無は問いません。

Q 過去の一般入学試験（A方式）の実技課題と評価ポイントについて教えてください。

(A) 2020年度（昨年度）の実技課題については、第1期は11ページ、第2期は19ページを参照してください。

絵画コース絵画専攻については、画面構成を総合的に審査します。各モチーフの形体や関係性を的確に捉えているか、また構図への気の配り方なども評価のポイントです。絵画コース版画専攻については、基礎的なデッサン力を総合的に審査します。モノの関係性や質の違いなどが描写出来ているか、また静物モチーフが画面上に的確に入れられているかどうかも評価のポイントです。（1・2期同様）彫刻コースについては、物が空間に置かれている様子をしっかりと捉え、よく見て観察する力、空間を把握する力を捉えられる力を見ることが出題のポイントでした。

2020年度一般入学試験（A方式）の実技課題及び出題のポイントは、以下をご覧ください。

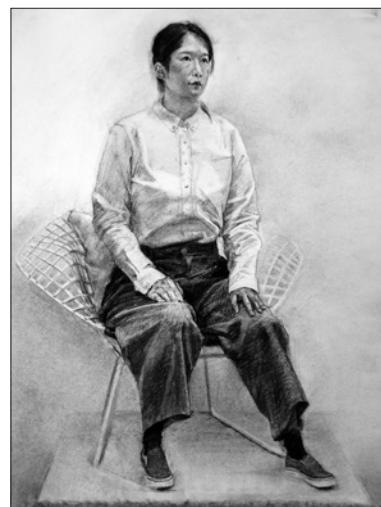
・絵画コース絵画専攻

（第1期〔2月4日・5日試験〕）「油彩・アクリル、木炭、鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く」（6時間）

人物（コスチューム）

コスチューム：シャツ、パンツ、スリッポン

出題のポイント：人物モデルを四角い画面に安定した構図でおさめることができているか。また、着衣ですが、人物モデルの構造を意識しているか。そして各種素材の特性を活かせて描けているかを見ます。

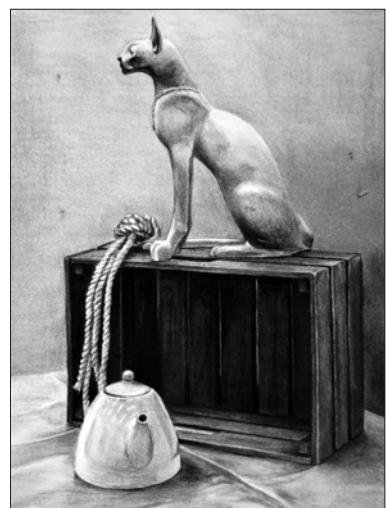


絵画専攻第1期(2月4・5日試験)参考作品

(第2期) 「油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く」(6時間)

猫 (石膏)	× 1
木箱	× 1
ロープ	× 1
ポット	× 1
布 (ピンク)	× 1

出題のポイント：モチーフの質やものとの関係性を観察し、台の上に置かれた静物を通して、描写力、構成力、表現力を見るのがねらいです。



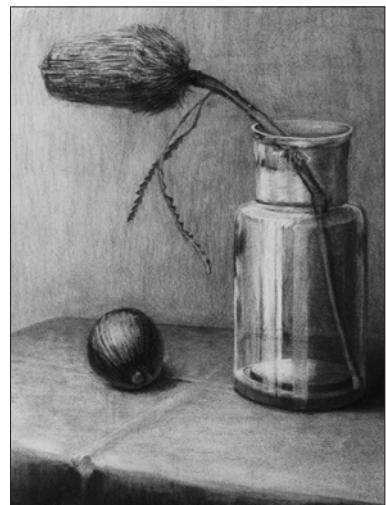
絵画専攻第2期参考作品

・絵画コース版画専攻

出題のポイント：台の上に置かれた静物を通して、観察力・表現力・描写力を見るのがねらいです。



版画専攻第1期参考作品



版画専攻第2期参考作品

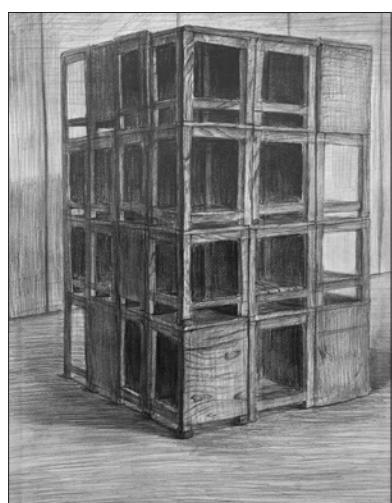
・彫刻コース彫刻専攻

「鉛筆、木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く」(いずれも6時間)

(第1期 [2月4日・5日試験]) 角椅子×48個

(第1期 [2月11日・12日試験]) ブルーシート×1

出題のポイント：アトリエの中に置かれたモチーフがつくる空間を把握し、画面上に構成することができるか。また、それぞれの素材を観察し、書き分けができているかというところを見ます。



彫刻専攻入学試験での参考作品

デザイン学科

Q デザイン学科の特徴を教えてください。

A 1年次では、必修授業を通してデザインの基礎知識と技術の習得に専念します。併せてグラフィック・メディア・インテラクション・プロダクト・インダストリアル・スペース・アーキテクチャー等の基礎演習や実習からその概念や意義を学びます。2年次以降は自らが選択した授業（専門領域）を核に、必要とする他の領域を自由に学びながらデザイン手法を修得し、多様な社会の要請に応えられるデザイン力を学ぶことが出来ます。

Q 面接の参考資料とするための自作作品が大型の場合どうすればいいでしょうか？また評価について教えてください。

A 持参できる大きさの物にしてください。または写真に撮って持参することも可とします。

なお、持参作品は面接時の参考資料とし、作品そのものは採点しません。

Q 過去的一般入学試験（A方式）の実技課題と評価ポイントについて教えてください。

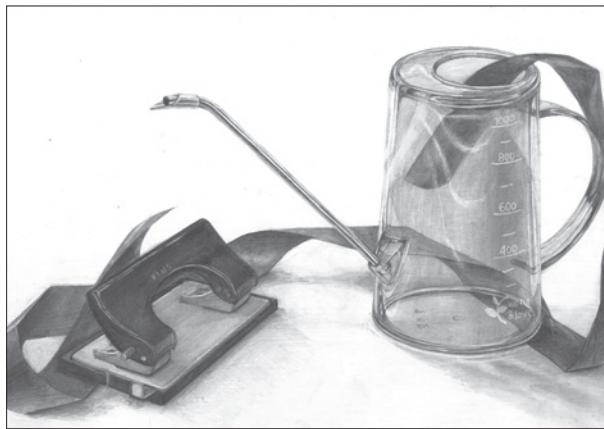
A 2020年度（昨年度）の実技課題については、第1期は13ページ、第2期は20ページを参照してください。

評価ポイントについては、以下を参照してください。

【鉛筆デッサン】

2020年度は、モチーフはセットで渡され、各自が自分の机の上でモチーフを組み、カルトンに画用紙をセットしてのデッサンでした。デザイン学科のデッサンは、対象物をよく観察し正確なプロポーションがとれているか質感の描きわけができるかを見ます。

最終的にはモチーフに対する観察力・表現力といった総合的なデッサン力を重視しているのが出題のポイントです。



【デザインプレゼンテーション】

出題文から問題を見つける「問題発見能力」、そしてそれをデザインで解決する「問題解決能力」、更にはその解決法が「独創性」に富んだものか、「想像力」は豊かか、その中には「発想力とアイデアの展開力（幅広くアイデアが出せるか）」という点も含まれます。

最終的には、それらをわかりやすく表現するための工夫がなされているかという「プレゼンテーション力」を見ることが出題のポイントです。また、1枚目の最終案だけではなく、もう1枚提出する「最終案に至るまでの経緯」も重視していますので、そちらには思いついた案をすべて書き記してください。



※他の合格者作品をご覧になりたい場合は、デザイン学科ホームページをご確認ください

(<http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/>)

授業等について

授業について

本学部の授業形態としては、先生から専門の知識を教わる講義科目（90分）、先生の指導のもとに研究活動を行う演習科目（90分～180分）、実際に機器の操作を行ったり、創作活動を行う実験・実習科目（135分～270分）といったものがあります。

本学部の特徴として、こうした演習や実験・実習科目が多く組まれていることが挙げられます。また、受講者20名以下の少人数の科目が半数近くを占めています。評価については通常のペーパーテストのほか、レポートや作品の提出、舞台発表や演奏等の審査によって行われています。

また、さまざまな芸術分野を網羅し、8学科から構成される本学部には、他学科の学生も受講できる「他学科公開科目」を設定し、所属学科以外の芸術分野についても、学生一人ひとりの興味や関心に合わせて履修することができるようになっています。

取得資格について

●学位 学士（芸術）

●教員免許状（教職課程）

各学科においては、右表の免許状を取得できます。

●学芸員資格（学芸員課程）

本学部では、学芸員（博物館、美術館等で資料の収集や保管、展示及び調査研究を行う専門職員）の資格を取得するための課程を設けています。

●司書教諭資格（司書教諭課程）

学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担う司書教諭の資格を取得するための課程です。司書教諭の資格を得るためにには、所定の科目を修得し、教育職員免許状（免許の種類・教科は問いません）の取得が必要となります。

●司書資格（司書課程）

都道府県や市町村の公立図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員の資格を取得するための課程です。

●一級建築士<デザイン学科>

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業し、卒業後2年以上の実務経験を経ることにより受験資格を得られます。

●二級建築士、木造建築士<デザイン学科>

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業することで、受験資格を得られます。

学 科	中学校一種	高等学校一種
美 術	美 術	美術、工芸
音 楽	音 楽	音 楽
文 芸	国 語	国 語
デザイン	美 術	美術、工芸

転科・転コースについて

学部内で所属学科を変更することを「転科」と呼びます。転科試験については11月頃に受験資格、手続き要領などを掲示板に掲示します。また、学科内で所属コースを変更する「転コース」については、転科に準じて認められることがあります。

しかしながら、転科・転コースはあまり望ましいことではありません。入学試験の出願にあたっては、自分が何を目的としているか、何を学びたいのかといった視点から志望学科・コースを決めるようしてください。

『2020年度転科試験実施状況』

転科希望学科	出願者数	受験者数	合格者数
写 真	0	0	0
映 画	1	1	0
美 術	0	0	0
音 楽	1	1	0
文 芸	0	0	0
演 劇	0	0	0
放 送	0	0	0
デザイン	1	1	1
合 計	3	3	1

入学金・授業料等納入金について [2020年度(昨年度)参考]

昨年度入学者納入金は下表のとおりでした。2021年度入学者納入金については、後日、各入学試験出願書類に同封の要項等でご確認ください。

なお、2年次以降卒業年次までの納入金の年額については、原則として、入学金を除く入学年度の納入金と同額になります。

また、入学後の学費等の納入期限は、前学期は4月末日まで、後学期は9月末日までとなります。

(単位：円)

学科・コース	納入区分	入学金 (入学時のみ)	授業料	施設設備 資金	実験 実習料	後援会費	校友会費 【準会員】	前学期 計	初年度 年額	2年次以降 年額
写 真	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,085,000	1,900,000	1,640,000
	後学期納入金	—	555,000	200,000	50,000	10,000	—	815,000		
映 画	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000
	後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000		
	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	75,000	10,000	10,000	1,125,000	1,980,000	1,720,000
	後学期納入金	—	570,000	200,000	75,000	10,000	—	855,000		
演 技	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	40,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000
	後学期納入金	—	570,000	200,000	40,000	10,000	—	820,000		
美 術	入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000
	後学期納入金	—	550,000	200,000	60,000	10,000	—	820,000		
音 楽	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,095,000	1,920,000	1,660,000
	後学期納入金	—	555,000	200,000	60,000	10,000	—	825,000		
文 芸	入学手続時(前学期)納入金	260,000	520,000	200,000	25,000	10,000	10,000	1,025,000	1,780,000	1,520,000
	後学期納入金	—	520,000	200,000	25,000	10,000	—	755,000		
演 劇	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	35,000	10,000	10,000	1,070,000	1,870,000	1,610,000
	後学期納入金	—	555,000	200,000	35,000	10,000	—	800,000		
放 送	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000
	後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000		
デザイン	入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	45,000	10,000	10,000	1,075,000	1,880,000	1,620,000
	後学期納入金	—	550,000	200,000	45,000	10,000	—	805,000		

※卒業予定年次後学期に、日本大学校友会正会員費初年度分として10,000円を代理徴収いたします。

2020年度 授業科目一覧

本学部においては、卒業するために必要な単位数を124単位以上と定めています。

科 目 区 分	必 要 单 位 数	備 考
全学共通教育科目	6 单位	「自主創造の基礎1」「自主創造の基礎2」「日本を考える」※全て2単位必修
(各学科共通授業科目) 芸術教養課程科目	芸術教養科目 14 单位以上	
	外国語科目 1ヶ国語4単位を含め8単位以上	ただし、1か国語4単位を含む8単位以上
	保健体育科目 3 单位以上	講義2単位、実技1単位は必修
所属学科授業科目・共通専門教育科目	58 单位以上	
その他	35 单位以上	日本大学相互履修科目、他学科公開科目などを含む
合 計	124 单位以上	

全学共通教育科目のうち、「自主創造の基礎1」「自主創造の基礎2」は、大学入学までの受動的な学習から転換を図り、「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力を養い、大学生としての能動的な学修を導くことを目的とした授業です。「日本を考える」は、異文化及び異分野の多様な価値を受容し、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を意識し、以後の学修目標の明確化やモチベーションの向上を目的とした授業です。

芸術教養科目は、大学の学生としてもつべき基本的教養、各芸術分野にまたがる総合的視野を身につけるために設置されている科目です。

外国語科目は、基礎的な語学力を身につけるとともに、国際人としての基本的な教養を学ぶために設置されている科目で、英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・中国語・日本語（留学生のみ）だけでなく、韓国語・スペイン語・ラテン語や、各外国语の応用・実践クラスを自由に履修することができます。

保健体育科目は、講義と実技に分かれています。講義では日常の健康法やスポーツの歴史などを学び、実技ではスポーツの技術を修得します。実技科目には、各種球技やフィットネストレーニング・ボクササイズなどのほか、スキー・スケートなどのシーズンスポーツが開設されています。

学科別授業科目とは、各学科の専門科目のことです。どの学科の専門科目も、A 理論・歴史 B 研究 C 表現技術の3部門により構成されています。A部門では、各分野の芸術について、基本から応用までの理論と歴史を学びます。B部門では、それぞれの芸術に特有のテーマについて、各先生の研究成果をもとに、より専門的な授業が行われます。C部門では表現の技術を実践的に身につけるための演習・実習授業が、コース別・専攻別に行われます。

学科別授業科目は、自分の所属する学科以外の科目でも履修することができます。ただし、これには条件があり、学科別授業科目のうち、「他学科公開科目」として定められている科目に限られています。

また、特別プログラムとして「芸術総合講座」が開設され、さまざまな芸術領域の最新情報や技術を、オムニバス形式の授業により学ぶことができます。一部の授業では実際の作品創りやワークショップなど、実践的、創造的な授業を展開しています。

共通専門教育科目は、芸術プロジェクトをベースにした実践型・参加型の学習形態科目となり、芸術活動に必要なコミュニケーション力や課題探求力、自己表現力など様々なスキルを身につけ、初年次に全学共通教育科目や各学科の基礎科目で培った能力をさらに養い発展させる事を目的とした授業です。

このほか、卒業単位には含まれませんが、教職課程、学芸員課程、司書教諭課程及び司書課程の科目も設置されています。

大学での学習に何を求めるか、学生一人ひとりが主体的に考え、さまざまな授業科目を組み合わせて「自分だけの時間割」を作るところに、大学での学びの面白さがあります。学科・コースにより必修科目、必修ではないが履修することが望ましい科目がありますし、科目によっては履修する学年が指定されている場合もありますが、それでも各自の目的の違いによって、大学には学生の数だけの時間割が存在するといって良いのです。

インターンシップについて

芸術学部では、学生が自らの専門分野や将来のキャリアに関連した〈実社会の現場〉で業務体験を行うことを通じて、各自の〈職業観〉を身につけることを目的に、「芸術学部インターンシップ制度」を設けています。

写真、映画、デザイン学科においては、選択科目として年間の正規の授業に組み入れられており、原則的に3年生の夏休みに集中的に行われます。教室での授業では得られない実社会の体験を通して、社会人としての自覚を意識できるチャンスであり、また自分に合った職業を見つめ直すチャンスもあります。

授業科目一覧の見方

- ①履修の細則については掲載しておりませんので、参考資料としてご覧ください。
 ②学科別授業科目には学科あるいはコースにより必修・選択必修指定の科目があり、また履修上いくつかの制約が設けられている科目もあります。
 学生は、毎年4月に行われる各学科ごとのガイダンスにより、詳細について指示を受けます。

全学共通教育科目

自主創造の基礎1	自主創造の基礎2	日本を考える		
----------	----------	--------	--	--

芸術教養課程科目（芸術教養科目）

知の探究Ⅰ	人間の心理Ⅰ	美学Ⅲ	シナリオ分析	芸術総合講座VI
知の探究Ⅱ	人間の心理Ⅱ	美学Ⅳ	メディア・リテラシーⅠ	芸術総合講座VII
ロゴスの探究Ⅰ	芸術と心理Ⅰ	芸術学Ⅰ	メディア・リテラシーⅡ	芸術総合講座VIII
ロゴスの探究Ⅱ	芸術と心理Ⅱ	芸術学Ⅱ	東アジア世界の考古学Ⅰ	芸術総合講座IX
エチカの探究Ⅰ	数学的思考の探究Ⅰ	芸術学Ⅲ	東アジア世界の考古学Ⅱ	芸術総合講座X
エチカの探究Ⅱ	数学的思考の探究Ⅱ	芸術学Ⅳ	形象文化論	芸術と身体
歴史と文化	情報Ⅰ	芸術の思想と表現Ⅰ	表演芸術論	芸術理論演習Ⅰ
文学の世界Ⅰ	情報Ⅱ	芸術の思想と表現Ⅱ	メディア芸術論	芸術理論演習Ⅱ
文学の世界Ⅱ	自然科学Ⅰ	音楽と情報	芸術理論研究	芸術批評演習Ⅰ
法と政治	自然科学Ⅱ	芸術文化と福祉	芸術特殊研究	芸術批評演習Ⅱ
日本国憲法	自然の探究Ⅰ	色彩の基礎	芸術総合講座Ⅰ	芸術リサーチ演習Ⅰ
社会現象の解説Ⅰ	自然の探究Ⅱ	モード論	芸術総合講座Ⅱ	芸術リサーチ演習Ⅱ
社会現象の解説Ⅱ	言葉のしくみ	日本の芸能史	芸術総合講座Ⅲ	Culture and Society
芸術文化の経済Ⅰ	美学Ⅰ	民俗芸能文化論	芸術総合講座Ⅳ	
芸術文化の経済Ⅱ	美学Ⅱ	アートと教育	芸術総合講座Ⅴ	

芸術教養課程科目（外国語科目）

英語Ⅰ	フランス語Ⅰ	中国語Ⅰ	応用英語Ⅰ	実践イタリア語Ⅰ
英語Ⅱ	フランス語Ⅱ	中国語Ⅱ	応用英語Ⅱ	実践イタリア語Ⅱ
英語Ⅲ	フランス語Ⅲ	中国語Ⅲ	応用英語Ⅲ	実践中国語Ⅰ
英語Ⅳ	フランス語Ⅳ	中国語Ⅳ	応用英語Ⅳ	実践中国語Ⅱ
英語Ⅴ	フランス語Ⅴ	中国語Ⅴ	応用英語Ⅴ	実践日本語Ⅰ
英語Ⅵ	フランス語Ⅵ	中国語Ⅵ	応用英語Ⅵ	実践日本語Ⅱ
英語Ⅶ	フランス語Ⅶ	中国語Ⅶ	応用英語Ⅶ	韓国語Ⅰ
英語Ⅷ	フランス語Ⅷ	中国語Ⅷ	応用英語Ⅷ	韓国語Ⅱ
ドイツ語Ⅰ	イタリア語Ⅰ	日本語Ⅰ	実践ドイツ語Ⅰ	スペイン語Ⅰ
ドイツ語Ⅱ	イタリア語Ⅱ	日本語Ⅱ	実践ドイツ語Ⅱ	スペイン語Ⅱ
ドイツ語Ⅲ	イタリア語Ⅲ	日本語Ⅲ	実践ドイツ語Ⅲ	ラテン語Ⅰ
ドイツ語Ⅳ	イタリア語Ⅳ	日本語Ⅳ	実践ドイツ語Ⅳ	ラテン語Ⅱ
ドイツ語Ⅴ	イタリア語Ⅴ	日本語Ⅴ	実践フランス語Ⅰ	海外語学研修Ⅰ
ドイツ語Ⅵ	イタリア語Ⅵ	日本語Ⅵ	実践フランス語Ⅱ	海外語学研修Ⅱ
ドイツ語Ⅶ	イタリア語Ⅶ	日本語Ⅶ	実践フランス語Ⅲ	海外語学研修Ⅲ
ドイツ語Ⅷ	イタリア語Ⅷ	日本語Ⅷ	実践フランス語Ⅳ	海外語学研修Ⅳ
				検定英語
				検定ドイツ語
				検定フランス語
				検定イタリア語
				検定中国語

芸術教養課程科目（保健体育科目）

保健体育科目	体育実技Ⅰ	体育実技Ⅲ	体育実技Ⅴ	
健康・スポーツ科学	体育実技Ⅱ	体育実技Ⅳ	体育実技Ⅵ	

写 真 学 科				
A 理論・歴史部門	B 研究部門	C 表現技術部門	D 教職教科部門	E 実習実践部門
写真芸術学 I	写真作家作品研究 I	写真表現研究 V	写真技術 I	写真表現 V
写真芸術学 II	写真作家作品研究 II	写真表現研究 VI	写真技術 II	写真表現 VI
写真史 I	写真作家作品研究 III	写真表現研究 VII	写真技術 III	インターナンシップ
写真史 II	写真作家作品研究 IV	写真表現研究 VIII	写真技術 IV	写真基礎演習 I
イメージングプロセス論 I	写真作家作品研究 V	写真特別講座 I	写真技術 V	写真基礎演習 II
イメージングプロセス論 II	写真作家作品研究 VI	写真特別講座 II	写真技術 VI	写真基礎演習 III
写真光学	写真表現研究 I		写真表現 I	ゼミナール
カメラメカニズム	写真表現研究 II		写真表現 II	論文・制作特殊研究
写真色彩学概論	写真表現研究 III		写真表現 III	卒業論文・制作
写真印刷	写真表現研究 IV		写真表現 IV	

映 画 学 科				
A 理論・歴史部門	B 研究部門	C 表現技術部門	D 教職教科部門	E 実習実践部門
映画芸術学 I	映画特講 II	映画演技論 II	映画演技実習 II	映画技術 IV
映画芸術学 II	映画特講 III	映画音楽 I	映画演技実習 III	映画技術 V
映画と諸芸術 I	映画特講 IV	映画音楽 II	映画演技実習 IV	映画技術 VI
映画と諸芸術 II	映画特講 V	映画技術論 I	発声 I	撮影研究 I
映像概論	映画特講 VI	映画技術論 II	発声 II	撮影研究 II
映像心理学 I	映画特講 VII	センシティーリー I	発声 III	映画編集
映像心理学 II	映画特講 VIII	センシティーリー II	発声 IV	録音研究 I
日本映画史 I	映画特講 IX	映画演技研究 I	発声 V	録音研究 II
日本映画史 II	映画特講 X	映画演技研究 II	発声 VI	映像技術基礎
外国映画史 I	映像企画発想論 I	音響基礎	音楽 I	映像メディア演習
外国映画史 II	映像企画発想論 II	電気基礎	音楽 II	映像メディア実習
外国映画史 III	映像メディア論 I	映画批評研究 I	音楽 III	アニメーション I
外国映画史 IV	映像メディア論 II	映画批評研究 II	音楽 IV	アニメーション II
映画理論基礎	映画ビジネス I	映画理論演習	音楽 V	アニメーション研究 I
前衛映画史 I	映画ビジネス II	シナリオ創作 I	音楽 VI	アニメーション研究 II
前衛映画史 II	映画ビジネス III	シナリオ創作 II	日舞 I	メディアアート概論
ドキュメンタリー映画史 I	映像特別講座 I	シナリオ基礎	日舞 II	メディアアート演習
ドキュメンタリー映画史 II	映像特別講座 II	シナリオ演習 I	日舞 III	CG I 演習 I
		映画演出 I	日舞 IV	CG I 演習 II
			日舞 V	制作演習 I
B 研究部門	C 表現技術部門	D 教職教科部門	E 実習実践部門	
シナリオ論 I	映像表現・理論 I	映画演出 II	日舞 VI	制作演習 II
シナリオ論 II	映像表現・理論 II	映画演出 III	洋舞 I	制作演習 III
映画作品研究 I	映像表現・理論 III	映画演出 IV	洋舞 II	制作演習 IV
映画作品研究 II	映像表現・理論 IV	映画演出 V	洋舞 III	総合制作演習 I
映画鑑賞批評 I	映像表現・理論 V	映画演出 VI	洋舞 IV	総合制作演習 II
映画鑑賞批評 II	映像表現・理論 VI	映画演出基礎 I	洋舞 V	映画技術演習
作品批評演習 I	映画基礎演習 I	映画演出基礎 II	洋舞 VI	映画撮影演習
作品批評演習 II	映画基礎演習 II	演技指導演習 I		卒業論文・制作・研究
映画文献研究 I	映画演出論 I	演技指導演習 II		
映画文献研究 II	映画演出論 II	映画演技基礎 I		
映画特講 I	映画演技論 I	映画演技基礎 II		
		映画演技実習 I		

美 術 学 科				
A 理論・歴史部門	B 研究部門	C 表現技術部門	D 教職教科部門	E 実習実践部門
美術学 I	美的構成研究 I	絵画 II	版画基礎	
美術学 II	美的構成研究 II	デッサン	彫塑	
解剖学	版画概論 I	絵画 III	卒業論文・制作	
美術史概論 I	版画概論 II	彫刻基礎 I	彫刻基礎 II	
美術史概論 II	美術作品研究 I	彫刻 I	絵画 VI	
美術史概論 III	美術作品研究 II	彫刻 II	絵画 VII	
美術史概論 IV	美術作品研究 III	彫刻 III	絵画 VIII	
西洋美術史 I	美術作品研究 IV	彫刻 IV	版画 I	
西洋美術史 II	美術特別講座 I	彫刻応用 I	版画 II	
日本美術史 I	美術特別講座 II	彫刻応用 II	版画 III	
日本美術史 II	古美術研究 I	地域芸術 I	版画 IV	
東洋美術史 I	古美術研究 II	地域芸術 II	版画 V	
東洋美術史 II	美術特別研究 I	地域芸術 III	版画 VI	
	美術特別研究 II	地域芸術 IV	版画 VII	
		絵画 I	版画 VIII	

音 楽 学 科				
A 理論・歴史部門	記譜法 音楽学 I 音楽学 II 音楽学 III 音楽学 IV 音楽概論 音楽形式学 I 音楽形式学 II 音楽教育学 I 音楽教育学 II 音声学 作曲論 演奏論 I 演奏論 II 音楽史 I 音楽史 II 音楽史 III 音楽史 IV 音楽史 V	副科ピアノ II 歌曲研究 I 歌曲研究 II ミュージカル概論 音楽マネージメント 吹奏楽研究 音楽文献原典講読 I 音楽文献原典講読 II 音楽キャリア論 古楽概論	弦楽器 III 弦楽器 IV 弦楽器 V 弦楽器 VI 弦楽器 VII 弦楽器 VIII 副科弦楽器 I 特殊鍵盤楽器 II 特殊鍵盤楽器 III 特殊鍵盤楽器 IV 副科弦楽器 I 伴奏法 II 伴奏法 III 伴奏法 IV 声楽 I 声楽 II 声楽 III 声楽 IV 声楽 V 声楽 VI 声楽 VII	室内楽 VI 室内楽 VII 室内楽 VIII ピアノデュオ I ピアノデュオ II ピアノデュオ III ピアノデュオ IV キーボード・ハーモニー I キーボード・ハーモニー II ボーカル・トレーニング I ボーカル・トレーニング II デジタルコンテンツ制作 I デジタルコンテンツ制作 II ソルフェージュ I ソルフェージュ II ソルフェージュ III ソルフェージュ IV ソルフェージュ V ソルフェージュ VI 指揮法演習 I 指揮法演習 II 音楽教材演習 I 音楽教材演習 II 教育用楽器等合奏法 I 教育用楽器等合奏法 II 音楽療法演習 I 音楽療法演習 II 音楽療法実習 I 音楽療法実習 II ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV 音楽共同制作 プロジェクト I プロジェクト II プロジェクト III プロジェクト IV 卒業論文・演奏・作品
B 研究部門	副科作曲 I 音楽教育研究 I 音楽教育研究 II 音楽教育研究 III 音楽教育研究 IV 音楽教育研究 V 音楽教育研究 VI 情報音楽基礎 I 情報音楽実践 I 情報音楽基礎 II 情報音楽実践 II 情報音楽基礎 III 情報音楽実践 III 情報音楽基礎 IV 情報音楽実践 IV 音楽療法研究 I 音楽療法研究 II 音楽作品研究 音楽作品分析 日本の伝統音楽研究 民族音楽研究 ジャズ研究 ポピュラー音楽研究	副科作曲 II 副科作曲 III 副科作曲 IV 和声 I 副科声楽 I 副科声楽 II 副科声楽 III 副科声楽 IV 副科声楽 V 副科声楽 VI 合唱 I 合唱 II 合唱 III 合唱 IV 合唱 V 合唱 VI 合唱 VII 合唱 VIII オペラ I オペラ II オペラ III オペラ IV オペラ V オペラ VI オペラ VII オペラ VIII 弦楽器 I 弦楽器 II	副科管打楽器 III 副科管打楽器 IV オーケストラ I オーケストラ II オーケストラ III オーケストラ IV オーケストラ V オーケストラ VI オーケストラ VII オーケストラ VIII 吹奏楽 I 吹奏楽 II 吹奏楽 III 吹奏楽 IV 吹奏楽 V 吹奏楽 VI 吹奏楽 VII 吹奏楽 VIII 室内楽 I 室内楽 II 室内楽 III 室内楽 IV 室内楽 V	DTP 演習 II DTP 演習 III DTP 演習 IV マンガ演習 I マンガ演習 II 卒業論文・作品
C 表現技術部門				

文 芸 学 科				
A 理論・歴史部門	小説論 II 文芸創作論 I 文芸創作論 II 文芸創作論 III 文芸創作論 IV 伝記論 I 伝記論 II 文芸批評論 I 文芸批評論 II エッセイ研究 I エッセイ研究 II 児童文学論 I 児童文学論 II 現代詩研究 I 現代詩研究 II 詩歌論 I 詩歌論 II シナリオ研究 I シナリオ研究 II	ミステリー小説論 口承文芸論 I 口承文芸論 II ノンフィクション論 I ノンフィクション論 II マンガ論 I マンガ論 II ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II メディア論 I メディア論 II 出版文化論 I 出版文化論 II 翻訳文学論 I 翻訳文学論 II 雑誌研究 I 雑誌研究 II 文芸特講 I 文芸特講 II	文芸特講 VI 文芸特講 VII 文芸特講 VIII 原典講読 I 原典講読 II 原典講読 III 原典講読 IV 文芸特別講座 I 文芸特別講座 II 文芸研究 I 文芸研究 II 文芸研究 III 文芸研究 IV 表現領域拡張講座 I 表現領域拡張講座 II 編集研究 I 編集研究 II 文芸情報処理演習 I 文芸情報処理演習 II DTP 演習 I	DTP 演習 II DTP 演習 III DTP 演習 IV マンガ演習 I マンガ演習 II 卒業論文・作品
B 研究部門				
C 表現技術部門				
D 教職教科部門				
作家作品論 I 作家作品論 II 小説論 I	幻想小説論 S F 小説論 I S F 小説論 II	文芸特講 III 文芸特講 IV 文芸特講 V	文芸情報処理演習 I 文芸情報処理演習 II DTP 演習 I	国語学 I 国語学 II 国文学 I 国文学 II 漢文学 I 漢文学 II 漢文学 III 漢文学 IV 漢文学史 II 書道 I 書道 II

演劇学科				
A 理論・歴史部門	B 研究部門	C 表現技術部門	演習	実習
演劇概論 I	応用演劇研究	演劇基礎演習	音響実習 I	演劇特殊実習 II
演劇概論 II	演劇批評研究	戯曲講読演習	音響実習 II	演劇特殊実習 III
演劇学	古典演劇研究 I	劇作演習	舞台監督実習 I	演劇特殊実習 IV
舞踊学	古典演劇研究 II	演出演習	舞台監督実習 II	舞踊特殊実習 I
劇場論 I	現代演劇研究 I	音響演習	企画制作実習 I	舞踊特殊実習 II
劇場論 II	現代演劇研究 II	舞台監督演習	企画制作実習 II	上演実習 I
戯曲論	作家作品研究 I	企画制作演習	演技実習 I	上演実習 II
演出論	作家作品研究 II	演技演習	演技実習 II	総合実習 I
演技論	舞台美術研究	舞台美術演習	演技実習 III	総合実習 II
舞踊論 I	舞台照明研究	舞台照明演習	舞台美術実習 I	劇場実習
舞踊論 II	舞台技術研究 I	日本舞踊演習	舞台美術実習 II	ゼミナール I
演劇教育論	舞台技術研究 II	西洋舞踊演習	舞台美術実習 III	ゼミナール II
演劇史 I	企画制作研究 I	演劇教育演習	舞台照明実習 I	ゼミナール III
演劇史 II	企画制作研究 II	舞台扮装演習	舞台照明実習 II	ゼミナール IV
演劇史 III	演劇特殊研究 I	応用演劇演習	舞台照明実習 III	ゼミナール V
演劇史 IV	演劇特殊研究 II	特殊演習 I	日本舞踊実習 I	ゼミナール VI
演劇史 V	演劇特殊研究 III	特殊演習 II	日本舞踊実習 II	卒業ゼミナール
舞踊史 I	演劇特殊研究 IV	特殊演習 III	日本舞踊実習 III	卒業研究
舞踊史 II	演劇特殊研究 V	特殊演習 IV	西洋舞踊実習 I	
	演劇特殊研究 VI	劇作実習 I	西洋舞踊実習 II	
	演劇特殊研究 VII	劇作実習 II	西洋舞踊実習 III	
	演劇特殊研究 VIII	演出実習 I	演劇特殊実習 I	

放送学科				
A 理論・歴史部門	B 研究部門	C 表現技術部門	映像技術論	実習
放送概論 I	テレビの編成	放送脚本論 I	映像制作演習	ラジオ制作 V
放送概論 II	ラジオの編成	放送脚本論 II	音響制作演習	映像技術 IV
ラジオ史 I	制作技術研究 I	ラジオ演出論 I	企画演習	映像技術 V
ラジオ史 II	制作技術研究 II	ラジオ演出論 II	テレビ制作 I	音響技術 IV
テレビ史 I	広告とマーケティング戦略 I	テレビ演出論 I	ラジオ制作 I	音響技術 V
テレビ史 II	広告とマーケティング戦略 II	テレビ演出論 II	映像技術 I	C M IV
放送制度論	放送作品研究 I	ドキュメンタリーの演出 I	音響技術 I	C M V
放送契約論	放送作品研究 II	ドキュメンタリーの演出 II	脚本 I	脚本 IV
メディア研究 I	放送作品研究 III	テレビドラマの表現 I	脚本 II	脚本 V
メディア研究 II	放送作品研究 IV	テレビドラマの表現 II	アナウンス I	アナウンス IV
メディア研究 III	放送作品研究 V	放送表現と人権 I	テレビ制作 II	アナウンス V
メディア研究 IV	放送作品研究 VI	放送表現と人権 II	テレビ制作 III	番組企画構成演習 I
メディア研究 V	放送作品研究 VII	放送美術論 I	ラジオ制作 II	番組企画構成演習 II
メディア研究 VI	放送作品研究 VIII	放送美術論 II	ラジオ制作 III	番組企画構成演習 III
メディア研究 VII	放送作品研究 IX	放送広告論 I	映像技術 II	番組企画構成演習 IV
電気概論 I	放送作品研究 X	放送広告論 II	映像技術 III	コピーライティング I
電気概論 II	放送作品研究 XI	放送報道論 I	音響技術 II	コピーライティング II
	放送作品研究 XII	放送報道論 II	音響技術 III	照明演習 I
	音響心理学 I	放送技術概論 I	CM II	照明演習 II
	音響心理学 II	放送技術概論 II	CM III	ニュース分析 I
	ゼミナール I	音響技術論 I	脚本 II	ニュース分析 II
	ゼミナール II	音響技術論 II	脚本 III	ニュース分析 III
		音響技術論 III	アナウンス II	ニュース分析 IV
		音響技術論 IV	アナウンス III	取材調査演習 I
		映像技術論 I	テレビ制作 IV	取材調査演習 II
		映像技術論 II	テレビ制作 V	卒業研究
		映像技術論 III	ラジオ制作 IV	

デザイン学科		
A 理論・歴史部門	C 表現技術部門	(プロダクトデザイン)
デザイン論Ⅰ	(ベーシックデザインⅠ)	プロダクトデザインⅠ
デザイン論Ⅱ	ドローイングⅠ	プロダクトデザインⅡ
美術学Ⅰ	ドローイングⅡ	プロダクトデザインⅢ
美術学Ⅱ	製図Ⅰ	プロダクトデザインⅣ
美術史概論	製図Ⅱ	プロダクトデザインⅤ
工芸概論	カラー&コンポジション	プロダクトデザインⅥ
日本建築史	スタイル&フォーム	プロダクトデザインⅦ
西洋建築史	マテリアル&コンストラクション	プロダクトデザインⅧ
デザイン史Ⅰ	デザインフィールドワークショップ	プロダクトデザインⅨ
デザイン史Ⅱ	ベーシックデザインワークショップ	
デザイン史Ⅲ	(ベーシックデザインⅡ)	(スペース・アーキテクチャーデザイン)
デザイン論Ⅲ	コンピュータ基礎	スペースデザインⅠ
デザイン論Ⅳ	ビジュアル基礎	スペースデザインⅡ
デザイン論Ⅴ	メディア基礎	スペースデザインⅢ
デザイン論Ⅵ	タイポグラフィックデザイン	スペースデザインⅣ
建築デザイン論	イラストレーション	アーキテクチャーデザインⅠ
B 研究部門	エディトリアルデザイン	アーキテクチャーデザインⅡ
タイポグラフィ論	ライフデザインⅠ	アーキテクチャーデザインⅢ
エルゴノミックデザイン論	ライフデザインⅡ	アーキテクチャーデザインⅣ
マテリアル	フォトグラフィ	アーキテクチャーデザインⅤ
メカトロニクス概論	アーキテクチャードローイング	アーキテクチャーデザインⅥ
デザインマネージメント論Ⅰ	プレゼンテーションテクニックⅠ	(ソーシャルデザイン)
デザインマネージメント論Ⅱ	プレゼンテーションテクニックⅡ	総合演習
環境論Ⅰ	CADⅠ	インターンシップ
環境論Ⅱ	CADⅡ	デザインゼミナール
プランニングⅠ	(ビジュアルコミュニケーションデザイン)	卒業論文・制作
プランニングⅡ	グラフィックデザインⅠ	
力学	グラフィックデザインⅡ	
ストラクチャーⅠ	グラフィックデザインⅢ	
ストラクチャーⅡ	グラフィックデザインⅣ	
構法概論	グラフィックデザインⅤ	
建築生産論	グラフィックデザインⅥ	
建築設備	グラフィックデザインⅦ	
建築法規	グラフィックデザインⅧ	
図学Ⅰ	コミュニケーションデザインⅠ	
図学Ⅱ	コミュニケーションデザインⅡ	
デザイン特別講座Ⅰ	コミュニケーションデザインⅢ	
デザイン特別講座Ⅱ	コミュニケーションデザインⅣ	
建築一般構造	コミュニケーションデザインⅤ	
	コミュニケーションデザインⅥ	
	コミュニケーションデザインⅦ	

共通専門教育科目		
連携型プロジェクトⅠ	連携型プロジェクトⅡ	連携型プロジェクトⅢ

日本大学相互履修科目について

日本大学は、あらゆる学問分野を網羅した16学部からなる総合大学です。芸術学部ではこうした特徴を生かした相互履修制度により、在学する学部以外の授業科目を履修し、単位を修得することができます。自分の専攻分野の隣接科目を中心に学ぶことはもちろん、自分の興味を生かし、勉学分野を広げるために積極的に活用することも可能です。

海外留学による単位の修得について

芸術学部主催によるマインツ美術大学（ドイツ）との交換留学や夏期休暇期間中に行うサマースクール、主として日本大学が提携するSAFによる6か国180大学への学生個人の留学を大学派遣の留学として認める認定留学制度を実施しています。また、日本大学では、正規課程に在学する全ての学生を対象に、大学本部主催による16ヶ国29大学との交換・派遣留学制度（日本大学交換・派遣留学生）や短期海外研修を実施しています。

上記留学中に修得した単位は、その履修科目の講義内容・時間数などを勘案した上で、卒業単位として認定することができます。これらの制度により認定する単位数の上限は、相互履修科目の単位を含め60単位となります。

卒業制作等、学生の作品発表を見るには…

芸術学部では、教育の成果として、年間にわたり学生の作品が発表されています。写真・絵画・彫刻・デザインなどの展示、映画・放送等の映像作品の上映、文芸誌ほか各学科研究誌の出版、音楽・演劇・舞踊の上演といったように、発表の形式・内容もバラエティに富んでおり、こうした作品の中には、学外の各種コンクールにおいて審査を受け、受賞するものも数多くあります。

学部では、各学科の実習内容を理解していただくためにも、これらの発表をぜひ見ていただきたいと願っています。

※ 2020年4月現在の予定について掲載しています。変更となる場合がありますので、詳細については、本学部または各学科ホームページをご確認ください。

学科	名 称	時 期	会 場	内 容
写 真	卒業・修了制作 優秀作品展	随時 (ホームページにてご確認ください)	学部校舎 写真ギャラリー	前年度の優秀作品（卒業制作・修了制作）の展示（無料）
	日藝祭写真展	11/ 2 ~ 4	学部校舎	学生の個人・グループによる作品展示（無料）
	卒業制作集「LOCUS」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	卒業制作・論文の抄録
	写真学科 2020 卒展	3月下旬（予定）	学部校舎（予定） (ホームページにて告知します)	学生作品の展示（無料） 2019年度卒業制作の一部を写真学科公式ホームページ内特設サイトに公開しています。
	問合せ先 ☎ 03-5995-8210（写真学科事務室）	写真学科公式ホームページ	https://www.nuaphoto.com/	
映 画	映画学科機関誌 「映像研究」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	各年度の卒業論文、シナリオ、エッセイや作品題目一覧等を掲載
	映像表現・理論コース2年ゼミ誌 「書くことから」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース2年 理論・批評専攻、シナリオ専攻によるゼミ誌。 理論・批評専攻は約5,000字の批評、シナリオは15分程度の短編
	映像表現・理論コース3年ゼミ誌 「言葉と映画のあいだに」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース3年 理論・批評専攻、シナリオ専攻によるゼミ誌。 理論・批評専攻は約10,000字の批評、シナリオは15分～30分程度の短編
	映像表現・理論コース 卒業論文・制作・研究発表会	3月中旬	学部校舎	理論・批評専攻による卒業論文、シナリオ専攻による卒業制作（シナリオ）、映像専攻による卒業研究の展示・上映（無料）
	フォーカスイン FOCUS IN	5～6月頃 (1週間程度)	学部校舎 他	前年度の「映画演出Ⅲ」「映画技術Ⅲ」「卒業制作」の作品上映（無料） ※詳細はホームページに掲載予定
	問合せ先 ☎ 03-5995-8220（映画学科事務室）	映画学科公式ホームページ	http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/cinema/	
美 術	個展、グループ展	随時	ホームページにて 告知します	学部・大学院生の個人・グループ展
	北野教育振興会 彫刻奨学生作品展	12/ 3～14	学部校舎芸術資料館	北野教育振興会彫刻奨学生受賞者による作品展（無料）
	全国大学版画展	12/ 5～20	町田町立国際版画美術館	版画教育を行っている全国の大学が参加する展覧会（無料）
	東京五美術大学連合 卒業・修了制作展	2/20～3/ 1	国立新美術館	本学部のほか、武蔵野美術大学、多摩美術大学、女子美術大学、東京造形大学が一堂に会する連合卒業制作展（無料）
	美術学科卒業制作展（卒博）	3月中旬（予定）	学部校舎芸術資料館 その他	絵画、版画、彫刻各分野の作品展示（無料）
	問合せ先 ☎ 03-5995-8230（美術学科事務室）	美術学科公式ホームページ	http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/finearts/	
音 楽	第 128 回定期演奏会	7 / 3	練馬文化センター 大ホール	学生によるオーケストラ公演。協奏曲・オペラアリア・作品発表の演奏会（無料）
	第 129 回定期演奏会	8 / 6	学部校舎音楽 小ホール	試演奏（公開実技試験）より選ばれた学生の独奏・独唱・作品発表の演奏会（無料）
	第 48 回ピアノコンサート	11/22	練馬文化センター 小ホール	試演奏（公開実技試験）にて選ばれたピアノコース専攻生による演奏会（無料）
	第 31 回ウインドオーケストラ定期演奏会	11/26	練馬文化センター 大ホール	吹奏楽定期演奏会（無料）
	第 50 回オペラ公演	12/17	練馬文化センター 小ホール	声楽コースの学生による公演（無料）
	第 130 回定期演奏会	12/19	品川区立総合区民会館 大ホール	オーケストラ定期演奏会（無料）
	第 40 回新作室内楽の会	12/24	学部校舎音楽 小ホール	「作曲・副科作曲」授業の学習・研究成果の発表（無料）
	卒業演奏会	3/15	練馬文化センター 小ホール	作曲、声楽、ピアノ、弦管打楽各コース卒業生より選ばれた学生による演奏会（無料）
	情報音楽フェス SWITCH2020	3/22	学部校舎音楽小ホール 他	情報音楽コースライブエレクトロニクスコンサート並びに音の展示作品発表（無料）
	問合せ先 ☎ 03-5995-8240（音楽学科事務室）	音楽学科公式ホームページ	http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/music/	

学科	名 称	時 期	会 場	内 容
文芸	ゼミ雑誌	12月頃発行	学部校舎にて配布 学部祭等でも配布	ゼミでの学生の創作・評論・詩等をまとめた文集（無料）
	「雑誌研究」機関誌	12月頃発行	学部校舎にて配布	「雑誌研究」にて編集された評論集（無料）
	「ジャーナリズム実習」「文芸創作実習」「文芸研究実習」実習誌	1月頃発行	学部校舎にて配布	各実習授業の成果をまとめた雑誌（無料）
	「編集演習」実習誌 『江古田春秋』	1月頃発行	学部校舎にて配布	「編集演習」の実習誌として、学生が取材・執筆・編集を行った実習雑誌（無料）
	文芸学科 「優秀卒業論文・作品集」	3月発行	学部校舎にて入手可	芸術学部長賞・奨励賞受賞作を収録した、優秀卒業論文・作品集
	『江古田文学』	年3回発行	全国の書店にて 入手可能	学生やOB、教員の作品を発表している文芸誌 (有料／1部750円)
問合せ先 ☎ 03-5995-8250 (文芸学科事務室) 文芸学科公式ホームページ http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/literature/				
演劇	総合実習ⅡB	6/28・29	学部校舎中ホール	3年生洋舞舞台発表
	総合実習ⅡA	7/11～13	学部校舎中ホール	3・4年生演劇舞台発表
	総合実習ⅠA-a b	8/10～12	学部校舎中ホール	2年生演劇舞台発表
	総合実習ⅢB	10/18・19	学部校舎中ホール	3年生洋舞舞台発表
	総合実習ⅡC	10/25・26	学部校舎中ホール	3年生創作舞踊（日舞）舞台発表
	総合実習ⅠB	11/15・16	学部校舎中ホール	2年生洋舞舞台発表
	総合実習ⅠC	11/23	学部校舎中ホール	2年生創作舞踊（日舞）舞台発表
	卒業制作（日舞）公演	11/30・12/1	学部校舎中ホール	4年生創作舞踊（日舞）舞台公演
	卒業制作（洋舞）公演	12/7・8	学部校舎中ホール	4年生洋舞舞台公演
	卒業制作（演劇）公演	12/20～22	学部校舎中ホール	4年生演劇舞台公演
	総合実習ⅢA	3/20～22	学部校舎中ホール	3年生演劇舞台発表
問合せ先 ☎ 03-5995-8260 (演劇学科事務室) 演劇学科公式ホームページ http://theatre.art.nihon-u.ac.jp/				
放送	卒業制作発表（朗読）	12月	学部校舎	卒業研究の朗読の発表会（無料）
	卒業制作発表と展示 (映像・音響・朗読・脚本など)	3月	学部校舎	卒業研究の映像作品の上映、音響作品と朗読の発表、脚本・アナウンス・論文の展示（無料）
	研究誌「放送と表現」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	放送学科教員の論文や学生の優秀卒業論文、卒業制作の台本、脚本等の発表の場として発刊された研究誌
	問合せ先 ☎ 03-5995-8270 (放送学科事務室) 放送学科公式ホームページ http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/broadcast/			
デザイン	全国大学・高専 卒業設計展示会	9月初旬（予定）	未定	学生作品の出品（4年生作品）（無料）
	デザイン学科助手展	9月下旬	学部校舎 A&D ギャラリー	デザイン学科助手による作品展示（無料）
	芸術祭 作品展	11/2～4	学部校舎	学生作品の展示（無料）
	大学院修了制作展	2月中旬～下旬	学部校舎 A&D ギャラリー	大学院生の修士課程修了制作展（無料）
	卒業制作選抜展	3月中旬～下旬	学部校舎	デザイン各分野卒業制作優秀作選抜展（無料）
	問合せ先 ☎ 03-5995-8690 (デザイン学科事務室) デザイン学科公式ホームページ http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/			

入学後のキャリア形成について ~卒業後の「職」を考える~

大学入学前の皆さんが卒業後のことを考えるのは難しいところもあります。今では多くの大学で「職業」に対する教育に入っています。本学部も芸術に関する専門的な教育はもちろんのこと、就職指導委員会と就職指導課を中心に学生の就職活動に対しても全面的にバックアップする態勢を整えています。

●キャリア形成に関するスケジュール [参考]

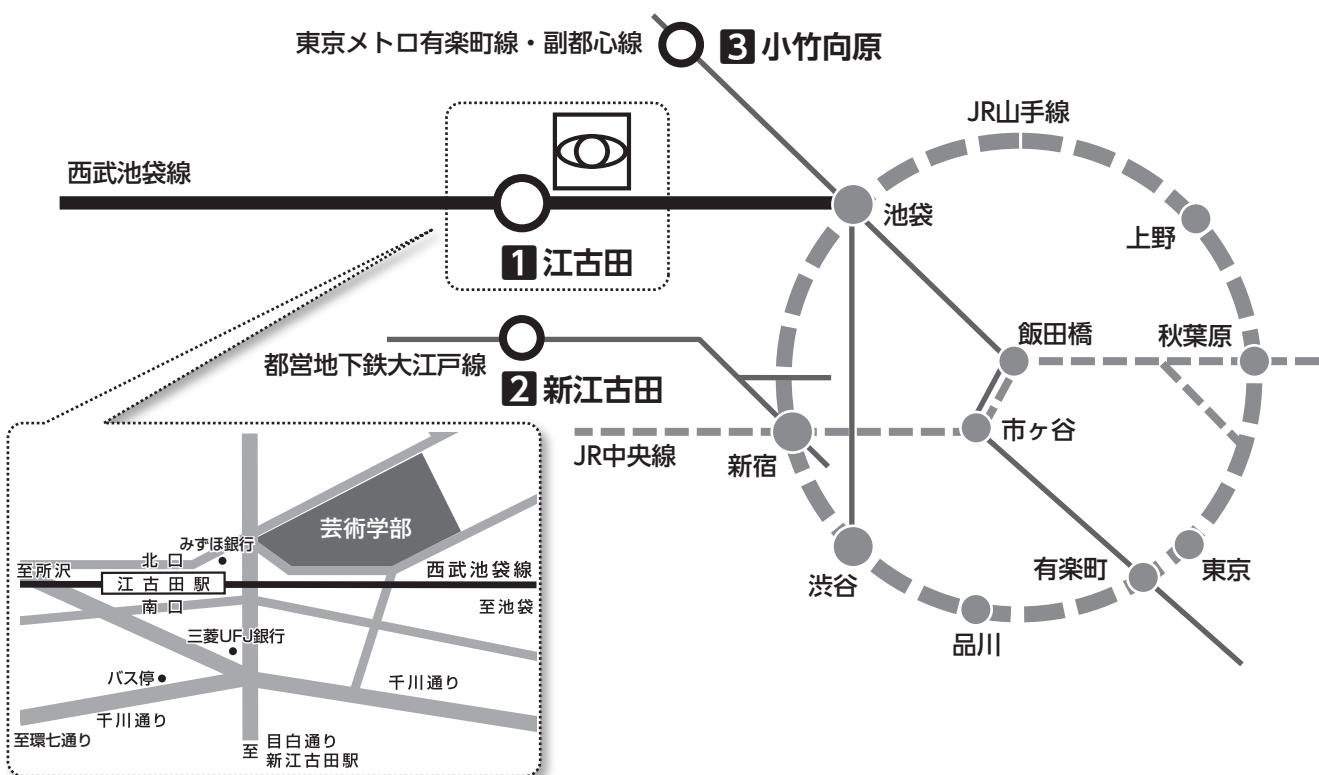
1年次生	2年次生	3年次生																	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月												
幅広い芸術領域の体験を通して、将来の進路を見据えます。 就職指導課が実施するキャリアガイダンスⅠ（内容：「芸術学部に身近な業界紹介」ほか）を活用して、早い段階から「職」に「就く」意識を持ちましょう。	進路を決めるにあたっては、どんなことをすればよいのでしょうか。 就職指導課が実施するキャリアガイダンスⅡ（内容：「自分のキャリアの作り方」「就職活動前の大変なポイント」ほか）を活用して、自分の適性や自分が就きたい「仕事」について考えておきましょう。																		
		就職指導講座	※下記一覧参照																
			自己分析、業界・企業研究、筆記試験対策																
							インターンシップ												
3年次生		4年次生																	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	採用	
就職指導講座		会社説明会・エントリー						採用試験						内定					

●就職指導講座（3年次生対象）の一部 [参考]

講 座 名	内 容
就職活動入門講座Ⅰ	就職活動のスケジュールや事前に準備しておくべきことなどを説明するとともに、併せて卒業生の主な就職先や業界を紹介する
就職活動入門講座Ⅱ	芸術学部周辺以外の多種多様な業界を幅広く紹介
インターンシップ講座	多種多様化するインターンシップの全体像を整理して説明するとともに、インターンシップに参加するために必要な書類選考や面接等の対策方法を具体的に解説
筆記試験対策講座Ⅰ【SPI編】	適性検査の代表格であるSPI3を中心に適性検査の出題傾向と対策を解説
筆記試験対策講座Ⅱ【一般常識編】	出題範囲が非常に広い一般常識テストの出題傾向と対策を解説
ポートフォリオの作り方講座	クリエイティブな職種希望者必須のポートフォリオ（作品集）の作成方法等のポイントを具体的に解説
コミュニケーション力UP講座	挨拶・会話・敬語の使い方など、社会人とスムーズに接するためのノウハウを学び、相手に好印象を与えるための話の聞き方・伝え方のポイントを学ぶ
マスコミ業界対策講座Ⅰ	本学部の学生が多く就職を希望するマスコミ業界のうち、音楽・出版・放送等の分野に焦点をあて、各回ごとにゲストを招いてその業界の実情や採用動向などを解説
マスコミ業界対策講座Ⅱ	
マスコミ業界対策講座Ⅲ	
履歴書・エントリーシートの書き方講座	就職活動で最も基本的かつ重要な書類である履歴書・エントリーシートの書き方を具体的に解説
面接基礎講座	面接を受ける際の必要な知識を学んだ後、さらに模擬面接を受けて現在の自分の準備状況を把握することで、実力アップを図る
面接直前対策講座【模擬面接】	
就職活動におけるマナー・身だしなみ講座	就職活動に効果的な服装や身だしなみ、マナーの基本を徹底的に解説
女子学生のためのメイク講座	就職活動に効果的なメイク・ヘアメイクの方法を実演しながら解説

上記以外にも、企業研究講座、自己分析方法講座、筆記試験対策勉強会、グループディスカッション直前対策講座、就職対策模擬テスト、教員採用試験対策講座など就職に関する各種講座等の就職関連行事を実施しています。

校舎案内



アクセス

1 江古田駅（西武池袋線）

池袋駅から各駅停車で約6分、北口から徒歩約1分

2 新江古田駅（都営地下鉄大江戸線）

新宿駅から約15分、A2出口から徒歩約10分

3 小竹向原駅（東京メトロ有楽町線・副都心線）

池袋駅から約6分、2番出口から徒歩約15分



キャンパス見学について

芸術学部では、以下の日時でキャンパス見学を行っています。見学には事前予約が必要となりますので、ご希望の方は本学部入試係までご連絡ください。

なお、修学旅行等の学校行事による見学希望については、学校単位での受付とさせていただきます。

1 見学可能日時 月曜日～金曜日／9：00～16：00、土曜日／9：00～12：00

※夏期期間（8月～9月中旬）については、月曜日～金曜日の10：00～15：00となります

※日曜日・祝祭日及び学部事務休止日は、見学を休止しております

※芸術学部の諸行事や授業等の事情により、上記日時であっても見学いただけない場合、または見学内容を制限させていただく場合がございますのでご了承ください。

2 見学の内容

学部紹介ビデオの視聴、学科担当者による学科施設案内及び説明（見学内容は学科により異なります）

※上記の他に映画学科（演技コース）及び演劇学科（演技・舞踊〔日舞・洋舞〕の各コース）の実技試験参考ビデオの視聴も可能です。視聴希望の方は、見学予約の際にお申し出ください。

進学相談会について

芸術学部は、下記のとおり入試広報行事を開催する予定です。ただし、開催日程が変更となる場合がありますので、参加の前に芸術学部ホームページをご確認ください。

実施場所 芸術学部江古田校舎

企画名	日時
オープンキャンパス	未定（芸術学部ホームページにてご確認ください）
入試相談会	2020年11月1日（日）、3日（火・祝）各日10：00～16：00
入試博覧会	2021年3月21日（日）13：00～17：00

この他、全国で開催される芸術系進学相談会に参加する予定です。

実施については随時芸術学部ホームページに公開します。



NU
ART
AUDITION.



NU
ART
AUDITION.